

ゆうでんかい、YUDENKAI

The Alumni Association of Osaka Electro-Communication University

大阪電気通信大学友電会

大阪電気通信大学同窓会組織

No.115

2012/5

特集

大阪電気通信大学

大阪電気通信大学高等学校

学部・学科紹介

大阪電気通信大学 入学式

4/4
wed.



大阪電気通信大学・大学院 学位授与式

3/24
sat.



都倉学長から代表の学生に学位記が授与された。式の最後には大学歌を合唱した。



四條畷キャンパスは、友達や保護者らと記念写真を取り合い卒業を喜び合う姿が、見られた。

2011年度 大阪電気通信大学 退職者送別会

3/8
thu.



春爛漫の3月に退職する職員らに「皆さんのいなくなる学園は寂しい春になります」と感謝と惜別の言葉を贈る福田理事長



感謝の気持ちと第2の人生を祝って花束を贈られ、笑顔を見せる退職者たち



200人が参加した退職者送別会。酒を酌み交わしどのテーブルも歓談の輪が尽きることがなかった。

この日、出席した7人に退職にあたっての一言を聞きました

河村 嘉顯 教授 ▶ 「学生気質が変わってきて大学も(対応に)大変だと思う。もう少し大学に残るので自分も頑張る」

中村 初夫 教授 ▶ 「45年間の想いを一言ではいえない。今はありがとうという想いだけだ」

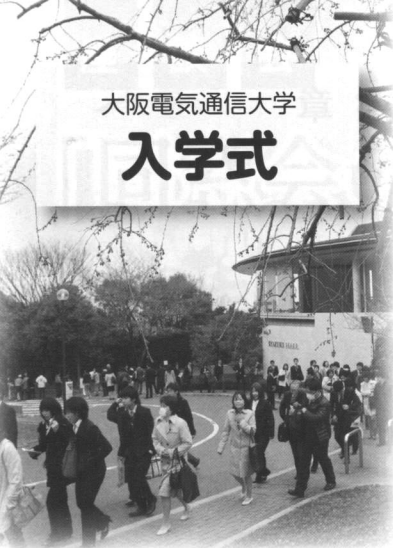
西原 一嘉 教授 ▶ 「まだまだ元気。もう少し大学で研究を続けて貢献したい」

川地亜弥子 准教授 ▶ 「こんなに盛大な会を開いていただいて感激しています」

日下部健治 嘱託職員 ▶ 「5年間の勤務でしたが、いろいろ勉強させていただきました」

菅澤 憲一 嘱託職員 ▶ 「9年間お世話になりました。これからは好きな植木の剪定をします」

入学式



実学で個性の花開かせて 花冷えの2012年度入学式

暴走低気圧一過の4月4日(水)、大阪電気通信大学の2012年度入学式が花冷えの四條畷キャンパスコナミホールで行われ、工学部など5学部の新入生約1,200人と大学院生104人がキャンパスライフのスタートを切りました。

午前10時から情報通信、医療福祉両工学部で式典が行われ、橘 邦英・新学長は「自立した大人になることが求められている。実学をベースに人間力を養って」とあいさつ。福田國彌理事長も「我が校は実学の大学。(卒業までに)個性を生かした才能を開かせて下さい」と充実した学生生活を送るよう励ました。

金融経済学部では、中国・科技大学の留学生3人に付き添って来学した教諭2人が紹介されました。



学位授与式



晴れやかな表情で 1123名巣立つ

大阪電気通信大学の2011年度学位授与式(卒業式)が3月24日、四條畷キャンパスコナミホールで行われ、工学部など4学部15学科の計990人が巣立ちました。時折、雨の降る天候でしたが、理事長やOB、保護者らに祝福された卒業生は晴れやかな表情で母校を後にしました。大学院修士課程の133人にも学位が授与されました。

式は午前10時からの工学部を筆頭に情報通信、医療福祉、総合情報学部の順。開式が宣言された後、都倉信樹学長から各学科の代表に学位記が授与された後、都倉学長は「先行きの分からないこれからの世の中、工学部で学んだこと(知識)はいろんな問題を解決するのに重要。自分はどうしたいのか心に持って(その)達成のために常にチャンスを持って下さい」と激励しました。福田國彌理事長は「健康に留意、勉学に精励、皆様の力で日本の社会を支えて頂きたい」と、卒業生に言葉を贈りました。



大阪電気通信大学 退職者送別会

～大学への貢献に感謝しねぎらう会 200人が別れ惜しむ～



退職者を代表して
あいさつする瀧川教授

今春、大阪電気通信大学を定年・退職する職員ら12人をねぎらう送別会が8日、大阪市のホテルニューオータニ大阪「鳳凰の間」で開かれました。来賓の福田國彌・大阪電通大理事長や大学職員ら約200人が出席、大学への貢献と退職者らのこれからの人生を祝福しました。

会は、退職予定の12人のうち参加した男女7人の主賓が、会場入り口から拍手に迎えられて入場、演壇に用意された席に着いてスタートしました。

退職者が1人ずつ紹介された後、自らも定年を迎えた都倉信樹学長が送る側として壇上に立ち送別の言葉を贈りました。「これからは、自分のために充実した時間を過ごして下さい。自分がやりたかったこと、自己と向き合う時期を精一杯楽しんで下さい」。福田理事長からは、「ご健康で(これからも)我々の発展を見守って下さい」と惜別の言葉を贈りました。

退職者からは、工学部電気電子工学科の瀧川靖雄教授が代表してあいさつしました。

乾杯の後の歓談では、退職者らは見知った後輩や知人のいるテーブルを回って大学での思い出話を楽しんでいました。福田理事長のテーブルには退職者らが集まり、在任中の思い出やこれからの人生について歓談していました。



華やかな会を前に主賓を迎える
受付にはぎわった



会場のテーブルを回って談笑する
退職者ら

【平成23年度退職者名簿】

氏名	所属・役職	氏名	所属・役職
都倉 信樹	大阪電気通信大学・学長	小澤 健二	法人事務局総務部
瀧川 靖雄	工学部電気電子工学科・教授	東本 佳子	法人事務局財務部経理課
河村 嘉顕	工学部電気電子工学科・教授	伊吹 清子	四條畷事務部庶務会計課
中村 初夫	工学部応用化学科・教授	菅澤 憲一	実験センター実験サポート課・嘱託職員
西原 一嘉	工学部機械工学科・教授	日下部健治	実験センター実験サポート課・嘱託職員
川地亜弥子	工学部人間科学研究センター・准教授	鉄尾実與資	エレクトロニクス基礎研究所事務室・嘱託職員
秋田 素子	工学部基礎理工学科・准教授		



学園への貢献と新たな人生を祝福して
花束が贈られた



ゆうでんかい

大阪電気通信大学・同窓会組織 友電会会誌

大学学章・スクールカラー紹介	04
編集室より／友電会ホームページに掲示板新設	
座談会	05
「同窓会の果たすべき役割」	
平成24年度 大阪電気通信大学 友電会 通常総会開催	08
大阪電気通信大学 友電会 定款	
平成24年度 大阪電気通信大学 募集案内	19
入試日程／卒業生・在学生の親族優遇入学制度 入学試験成績優秀者奨学制度について／学部・学科紹介	
平成24年度 大阪電気通信大学高等学校 学科・コース紹介	38
「大阪電気通信大学 クラブ同窓会」平成24年度 通常総会 議案	43
大阪電気通信大学 クラブ同窓会 組織図・会則	
高校同窓会 緑樹会議案／大阪電気通信大学高等学校同窓会会則	46
支部だより	46
●支部活動	
■友電会奈良支部総会・懇親会が開催されました	
■友電会京都支部総会・懇親会が開催されました	
◆「九州支部総会・研修会」のご案内	
TOPIX トピックス	48
■都倉学長最終講義 教職員ら80人が聴講	
◆安研究室送別会・安研各期代表者会議開催のご案内	
■ワングル部OB総会 創立50周年に56人が集いました	
◆「名門・池田潤平会」同窓の集いのご案内	
■大阪電気通信大学高等学校 新旧校長歓送迎会に100人集う	
◆今夏、丹後半島舞台にチャリティーラリーのご案内	
海外研修結団式／第32回 海外教育研修報告	52・53
北から南から	54
「息の長い復旧・復興への支援が必要だ」	56
～母校から岩手県宮古漁協への和船 命名・贈呈式に参加して！～	
豊壤の海へ船出（宮古OECU丸の命名・贈呈式）	57
東日本大震災支援の歩み／母校の支援活動	58

■ 会誌への投稿や事務局への連絡等は E-mail か FAX で
友電会事務局 FAX: 072-824-1197
E-mail: yudenkai@yudenkai.org

2012年5月10日 第115号

発行所／大阪電気通信大学友電会（大阪電気通信大学同窓会組織）

YUDENKAI The Alumni Association of
Osaka Electro-Communication University

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町 18 番 8 号
18- 8 Hatsu-Machi Neyagawa-City Osaka Japan 572-8530
(友電会直通) TEL: 072-824-3111 FAX: 072-824-1197
(大学代表) TEL: 072-824-1131 内線 3266
郵便振替番号 00990-5-49361

発行責任／友電会会長 猿渡 洋

編集責任／友電会広報部会長 田中 稻夫

編集／川口 明良、藤田 英治、藤本 明、井野川 一

資料提供／学校法人大阪電気通信大学

大阪電気通信大学事務局他

寄贈先／大阪電気通信大学関係先をはじめ他大学同窓会

並びに国立国会図書館遂次刊行物部、その他

購読料／1年間 500円

(卒業後3年間は無料配布、総会通知号は全会員に)

印刷／ダイコロ株式会社

★表紙ディレクション：光のアート「PiKAPIKA」主宰
ナガタ タケシ大阪電気通信大学准教授

大学学章

電子工学・通信工学を中心とする大学の象徴として、原子内電子軌道を図案化したものをバックに、「大学」を白抜き文字で配してある。この純白は、清廉・潔白な人材の育成と、祈りと、希いがこめられてつくられた。



スクールカラー

「モスグリーン」。若き学徒の青春の息吹をイメージしたもので「若葉が映えて、深い緑に成長する」との意味を持つ。

編集室より

一向に上向かない景気、重くのしかかる税金、先行き不安な年金・介護…。悲観的なフレーズばかりを耳にする今日この頃です。年々、悪くなる少子化もあります。

そんな中で今回発行の会誌は、大学OB組織・友電会と大学職員らのOB組織・緑樹会、大学のクラブ同窓会、それに高校同窓会が学園発展のためにスクラムを組もうという思いから、大学と高校の入試案内を大胆に組み込みました。東日本震災以降、『絆』が、さかんに言われてきました。我々電通人に今必要なことは『心をひとつに』することです。総会懇親会には高校同窓会にも参加を呼びかけ、初めての4団体共催で実施することになりました。「卒業すれば終わり」ではなく、「卒業してからが始まり」です。ともに力を合わせて新入生の1人でも多い確保と後輩たちの就職支援に取り組みましょう。こんな時代だからこそ、自分たちの意義が問われているのではないのでしょうか。

会誌の表紙にも注目下さい。光のアート「PiKAPIKA」のボランティアで被災地の子供たちに元気をプレゼントし続けている我が大阪電通大総合情報学部、ナガタタケシ准教授らが、光の文字で「こころはひとつ」と書き上げてくれました。咲き誇るサクラと大学名を記した学舎をバックにした表紙は見事です。



友電会ホームページに掲示板新設

友電会のホームページに「友電会掲示板」のコーナーを新設しました。会員の皆さんからの自由な意見を掲載、同窓の集いの広場になればと思っています。母校発展に寄与する建設的なアイデア、提案も歓迎です。卒業以来、母校から遠ざかっている会員の方は、是非、近況報告も兼ねた意見をお寄せ下さい。

「同窓会の果たすべき役割」

友電会は大学と企業を繋ぐ媒体
OB企業家、大学関係者招き懇談会実施へ
継続的な定期協議を



出席者

高校同窓会会長・法人評議員

森

強

友電会監事・元法人理事

北 森 弘 樹

高校同窓会副会長・法人理事

新 宅

友電会評議員・法人評議委員会常任議長

観野福太郎

友電会会長

猿 渡

法人理事・法人評議員

大 平 富 義

友電会事務局長

安

弘

「心はひとつ」をテーマに開催の友電会総会を記念する座談会「同窓会の果たすべき役割」が4月14日(土)、猿渡 洋・友電会会長や大阪電気通信大高校の森 強・同窓会会長らが出席して寝屋川キャンパスウイング会議室で行われました。出席者は学園の発展を支援する熱い討議を展開、友電会は大学と企業の媒介役としての支援が肝要とし、友電会会員のOB企業家と大学関係者を集めた「OB企業家懇談会」の開催方針を決めました。懇談会は総会前にも開かれる予定です。

でしょう。

【観野法人評議員】大学、後援会、法人と学園全体の取り組みは決して十分とは思いません。関係諸団体による協力体制の構築、定期協議機関の設置と連携強化が急務です。

【大平法人理事】今回実施したOB経営者企業へのアンケートの狙いはまさしくそれなので。経営者を集めたクラブ創設の考えは数年前から持っていました。まず、アンケートについて説明しますと、目的は3つあります。ひとつは就職支援、次いで大学と企業が連携する産学連携、3つ目が企業間交流です。大小含め、OB企業は把握しているだけで400社余りあり、実際はこの倍近くあると思っています。今回はその中から約140社にアンケート用紙を郵送しました。約3割の企業から回答を得ました。



友電会評議員
法人評議委員会常任議長
観野福太郎

■ 経営者クラブ設立、アンケートの目的の一つ

【猿渡会長】友電会には卒業生が約4万5千人います。こうした人たちの力をベースに海外留学制度や奨学金制度など、日々活動しています。さらに、母校の発展に寄与するためにはどんな取り組みが有効なの

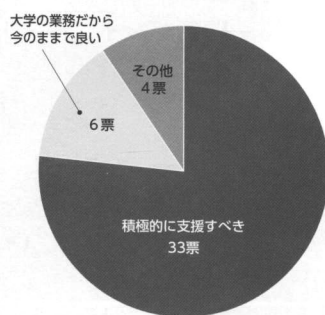


友電会会長
猿渡 洋

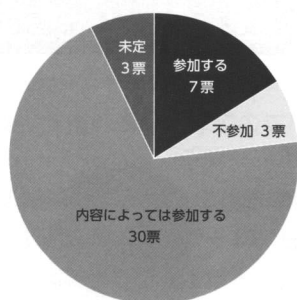


■ OB企業家懇談会

Q. 同窓会組織「友電会」の就職支援活動について協力していただけるでしょうか？



Q. 近い将来に、経営者やリーダーの会合を開催することを計画中ですが、参加していただけるでしょうか？



【大平法人理事】回答のあった企業に打診してみます。少なくとも10数社の参加は見込めます。懇談会には法人理事と大学の学長、それに就職部には出席してもらいたいです。



■ 友電会は産学の媒体になる

【安事務局長】電通大には他校に先駆けて合同企業説明会を開催した実績があります。バブルの頃で大勢の学生が利用しました。そういう意味でもOB企業家

【観野法人評議員】母校愛を持っているOBがたくさんいることに驚きました。うれしかった。春先にでもOB企業家懇談会を実施したらいいのではないのでしょうか。

【大平法人理事】アンケートで質問した『近い将来、経営者やリーダーの会への参画の有無』では内容によっては参加するという回答を含めて40社もあります。そうした回答を寄せてくれたOB企業家と大学関係者を集めた懇談会は可能だと思います。

【観野法人評議員】早く実行することが肝心です。6月に開催される総会の前にやったらどうでしょう。

を招いての懇談会は、企業説明会を再開する呼び水になります。

【観野法人評議員】電通大半世紀の中で素晴らしい人材を輩出しています。8期卒業のOBは大手電機メーカーで役員まで務めた人物で、今は関東方面の自治体でアドバイザーをやっています。そうした隠れたOB人材を掘り起こして大学のセミナーなどに橋渡しをしていくことが必要ですね。

■ 学生の意識変革が必要

【猿渡会長】アンケートの求人票提出の有無では『近い将来提出する』も含めると23社が提出の意思を示しました。これについてはどうなのでしょう。

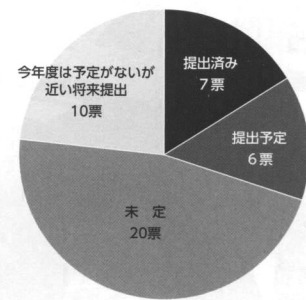
【安事務局長】大学には就職希望の学生約800人に対し、5千社以上から求人票がきていま

す。それでも就職が決まらないのは学力の問題もありますが、就職に対する意識、熱意が低い学生や教員がいることです。それらの意識を変えないと求人票を増やしても就職率はアップしないと思います。

【北森監事】世の中、変わってきています。従来の延長線上でやってもだめではないのでしょうか。視点を変えた取り組みが必要です。支援は大別しますと3つあります。大学に入れ、卒業生を出す、そして大学に寄付をすることです。特に卒業生の就職支援は、同窓会に課せられた最大の問題です。



Q. 大学に求人票（2013年3月卒業）を提出していただけるでしょうか？



【新宅法人理事】就職率が大学全体として低下している現状を把握していただきたい。求人があっても、学生が判断する企業情報不足と企業研究不足で応募しないことが多く、また、就職活動を積極的に取組まない学生が多くなっています。これまでは、指導

教員がきちっと指導して高い就職率を維持してきたと思うのですが。

【猿渡会長】就職率も良くするには、どうすればいいのでしょうか。

【安事務局長】大事なのは学力とキャリア教育です。さらに学生に就職のチャンスをあげることです。企業の情報網を作って学生に情報を提供することでしょう。

■ コミュニケーション能力アップが就職のカギ



【北森監事】企業面接で重要視されるものにコミュニケーションが76%、次いで行動力の56%、熱意41%、人柄32%というデータがあります。必ずしも成績が良くなくても企業に入れるのではないですか。

【猿渡会長】コミュニケーション能力アップにはクラブ活動の存在が欠かせないでしょう。こうした活動が減っていることが就職率ダウンに影響していると思います。先輩が後輩に就職は任せておけ、というぐらいのクラブがあればいいのですが。

【観野法人評議員】先ごろ、花見の場所取りをしている若者を見かけて声をかけると、上智大学のバドミントン同好会の学生でした。いまや体育会、文化会といった固定の概念でなく緩い集まりの同好会がコミュニケーションの場になっているのを知り、クラブ活動の在り方も変化していると感じました。

■ 学生、生徒募集に奨学金・減免制度有効

【猿渡会長】今日は高校同窓会の会長と副会長も参加されています。電通大への進学、いわゆる入口問題についてお聞きしたいのですが。



【森会長】高校同窓会はOBの懇親をメインに活動してきました。在校生の進学については手つかずの状態でした。これからは後援会との連携を含めてやっていかなければと考えています。

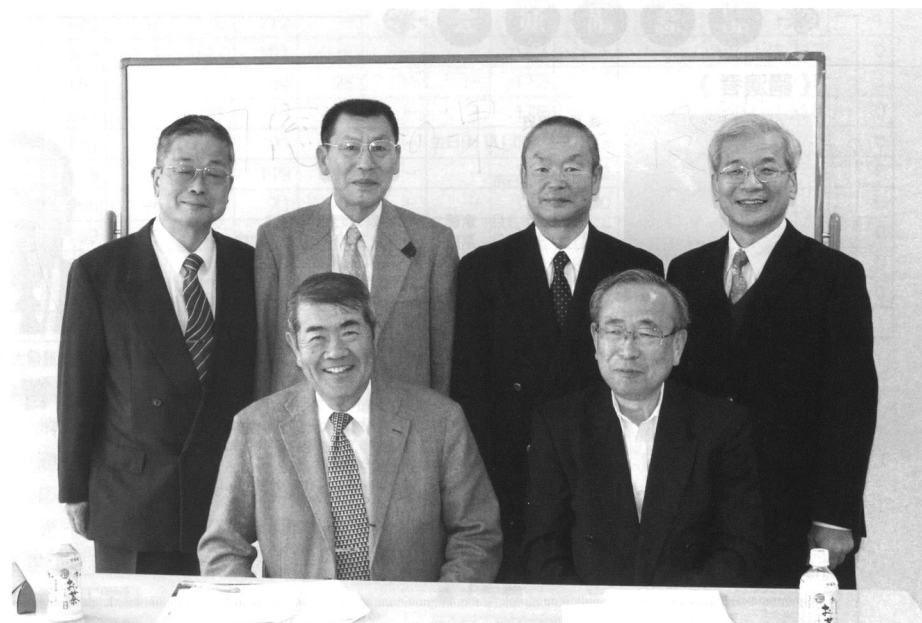
【新宅法人理事】高校入学の生徒募集は3年前から同窓会としてやっています。入学対象の子供さんらのいるOBに案内を出し、奨学金や減免制度のPR。着実に入学希望者は増加しています。



■ 学園の「心はひとつ」で就職に強い電通大復活を

【観野法人評議員】今回の座談会は素晴らしいタイミングだったと思います。入学、就職は重要です。高校と大学の連携はもちろん、同窓会、後援会、学園などが、『心はひとつ』にすることが大事です。そうした意味でも緑樹会、高校同窓会、クラブ同窓会、そして友電会の4団体共催の総会・合同懇親会は意義あるものだと思います。

【大平法人理事】かつて友電会が21世紀記念事業を行った際、委員長をされていた湯崎直養氏は企業家を集めた『経営者サロン』、教育者を集めた『教育者サロン』、そして支部活動の活性化を唱えられました。同窓会と大学との連携はこれらに尽きます。力を合わせ、一つひとつ実現していきたいと思っています。



経営者アンケート

同窓会組織「友電会」が後輩の就職支援をより積極的に推進するため企業経営のOBに協力を求めて実施しました。アンケート用紙送付は143通で返信は45通(有効返信43通)でした。設問と回答はグラフ(別掲)の通りです。

平成24年度 大阪電気通信大学

友電会 通常総会開催

平成24年6月23日(土) 11:40～

平成24年度友電会
通常総会議案

- 第1号議案 平成23年度事業報告
 第2号議案 平成23年度収支決算報告
 第3号議案 平成23年度一般会計剰余金処分案
 第4号議案 平成24年度事業計画案
 第5号議案 平成24年度収支予算案
 第6号議案 平成24年度役員案
 第7号議案 平成24年度評議員案

会友お誘いのうえ、ご家族でのご出席をお待ちしています。
 詳細は裏表紙等をご覧ください。

開催概要

◆ 緑樹会、高校同窓会、クラブ同窓会と共催

- ・テーマ：「学園の将来を語る～心はひとつ～」
 ・日時：平成24年6月23日(土) 10:00～15:30
 友電会総会 11:40～
 ・会場：JR大阪駅前 ホテルグランヴィア大阪
 ・合同懇親会：緑樹会、高校同窓会、クラブ同窓会、友電会4団体共催
 ・会費：6,000円
 同伴者、学生、緑樹会員は無料

津波の語り部、岩手県立宮古工業高生徒を招待
総会で大阪電通高生と交流『津波の怖さ紹介』

友電会総会には、東日本大震災で被災した岩手県立宮古工業高校の生徒と教諭を招待します。立体模型を使った津波再現実験を通じ、津波防災に繋げる活動を行っている同校の「津波模型班」の生徒で、総会当日はパネル展示や映像で活動を紹介してもらう予定です。

大阪電気通信大学高校の生徒とも、同じ工業系の学校として交流を図ります。交流、親睦を深め、被災地の復旧・復興に息の長い支援を続けていきます。

◆ 6月23日(土)のタイムスケジュール

・友電会通常総会受付 11:00～

	会場の室名		
	名 庭	孔 雀	クリスタル
10:00 11:00	クラブ同窓会目標表明式 クラブ同窓会総会		
11:10 11:30		第2回理事会	11:30-12:30
11:40 12:20		友電会総会 (第3回理事会)	緑樹会総会 高校同窓会総会
12:30 13:20		記念講演会	
13:30 15:30	合同懇親会		

記 念 講 演 会

《 講演者 》



大阪電気通信大学
橘 邦英 学長

- 生年月日 1945年11月19日生
 ● 出身 兵庫県明石市
 ● 略歴
 1968年3月 京都大学工学部機械工学科卒業
 1973年3月 京都大学大学院工学研究科博士課程
 機械工学第二専攻 単位修得退学
 工学博士(京都大学)
 1974年7月 東京芝浦電気株式会社総合研究所入社
 1973年4月 京都工芸繊維大学工学部電子情報工学科 教授
 1987年8月 京都大学大学院工学研究科電子物性工学専攻 教授
 1995年4月 京都大学教育研究評議員・工学研究科副研究科長兼任
 2006年4月 同上 定年退職(京都大学名誉教授)
 2009年3月 愛媛大学理工学研究科電子情報工学専攻
 教授(プラズマ・光科学研究推進室長)
 2009年4月 大阪電気通信大学工学部電気電子工学科 教授
 2011年4月 大阪電気通信大学学長に就任
 2012年4月 (任期2012年4月1日～2016年3月31日の4年間)
 ● 専門分野 プラズマ科学、プラズマ応用技術、光応用技術
 ● 受賞歴 応用物理学会賞(論文賞)1995など



大阪電気通信大学高等学校
藤田智一 校長

- 生年月日 昭和21年10月25日生
 ● 経歴 近畿大学商経学部卒業
 大阪電気通信大学学生部 16年間学生部に在籍し、一貫して学生の就職指導、幹旋等就職業務を担当。その後7年間は、教務、入試、大学事務局での業務を担当、平成5年度から法人に異動、主として総務、人事、労務を担当。
 平成24年度から大阪電気通信大学高等学校校長に就任。
 昭和63年3月から法人評議員
 平成6年3月から法人理事
 趣味は、ゴルフ、季節ごとの食材を使った創作料理等

大阪電気通信学園は今年度創立71年目に、大阪電気通信大学は51年目に入ります。節目を祝うように大学、高校では今春、新しい学長と校長が就任、学園発展の新たなステージを迎えることになりました。総会懇親会も今回は、大学OB組織と高校同窓会に緑樹会、クラブ同窓会も含めた4団体共催としました。学園を取り巻く環境は将来に向けて決して平穏ではありません。「心はひとつ」。実学の教育理念の下、高校、大学の現場と支援組織がいかに連携をとって立ちをはだかる壁を突破するのか。新学長、新校長に大いに語り合ってください。



期／学科	E	G	H	I	J	N	Z	P	F	K	RV	L	Y	S	Q	W	T	MD	計	物故
1 (S.40)	93	—	—	—	—	—	—	—	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	124	6
2 (S.41)	193	—	—	—	—	—	—	—	88	—	—	—	—	—	—	—	—	—	281	14
3 (S.42)	221	—	—	—	—	—	—	—	125	—	—	—	—	—	—	—	—	—	346	14
4 (S.43)	125	—	—	—	—	—	—	—	138	—	—	—	—	—	—	—	—	—	263	7
5 (S.44)	84	49	49	53	—	—	—	—	115	—	—	—	—	—	—	—	—	—	350	7
6 (S.45)	138	92	138	71	—	—	—	—	161	—	—	—	—	—	—	—	—	—	600	25
7 (S.46)	190	85	136	89	—	—	—	—	180	—	—	—	—	—	—	—	—	—	680	10
8 (S.47)	175	101	211	108	—	—	—	—	183	—	—	—	—	—	—	—	—	—	778	12
9 (S.48)	216	190	210	196	—	—	—	—	219	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,031	17
10 (S.49)	161	188	181	151	—	—	—	—	194	—	—	—	—	—	—	—	—	—	875	14
11 (S.50)	178	178	165	194	—	—	—	—	196	—	—	—	—	—	—	—	—	—	911	14
12 (S.51)	172	141	167	180	—	—	—	—	189	—	—	—	—	—	—	—	—	—	849	17
13 (S.52)	200	187	209	164	—	—	—	—	210	—	—	—	—	—	—	—	—	—	970	18
14 (S.53)	162	161	163	162	—	—	—	—	148	—	—	—	—	—	—	—	—	—	796	16
15 (S.54)	160	159	186	201	121	—	—	—	170	123	—	—	—	—	—	—	—	—	1,120	9
16 (S.55)	144	132	141	164	140	—	—	—	141	143	—	—	—	—	—	—	—	—	1,005	12
17 (S.56)	123	133	144	161	128	—	—	—	118	141	—	—	—	—	—	—	—	—	948	19
18 (S.57)	132	128	139	130	127	—	—	—	159	140	—	—	—	—	—	—	—	—	955	8
19 (S.58)	124	130	113	121	110	—	—	—	151	134	—	—	—	—	—	—	—	—	883	8
20 (S.59)	110	97	120	118	139	—	—	—	123	115	—	—	—	—	—	—	—	—	822	4
21 (S.60)	120	151	130	123	118	—	—	—	131	132	—	—	—	—	—	—	—	—	905	8
22 (S.61)	142	134	131	147	130	—	—	—	129	122	—	—	—	—	—	—	—	—	935	9
23 (S.62)	124	133	149	127	130	—	—	—	162	141	—	—	—	—	—	—	—	—	966	6
24 (S.63)	96	142	121	116	146	—	—	—	136	133	—	—	—	—	—	—	—	—	890	4
25 (H.元)	137	113	126	150	135	—	—	—	124	130	—	—	—	—	—	—	—	—	915	5
26 (H.2)	124	107	124	108	113	—	—	—	110	110	—	—	—	—	—	—	—	—	796	3
27 (H.3)	102	140	116	138	130	—	—	—	128	116	—	—	—	—	—	—	—	—	870	3
28 (H.4)	99	139	150	144	144	—	—	—	152	143	—	—	—	—	—	—	—	5	976	3
29 (H.5)	136	133	109	131	126	—	—	—	128	138	—	—	—	—	—	—	—	30	931	4
30 (H.6)	125	134	117	143	146	—	—	—	133	132	—	—	—	—	—	—	—	42	972	1
31 (H.7)	145	160	139	149	131	—	—	—	148	151	—	—	—	—	—	—	—	63	1,086	1
32 (H.8)	162	148	157	156	154	—	—	—	139	139	—	—	—	—	—	—	—	69	1,124	0
33 (H.9)	137	136	148	157	153	—	—	—	161	150	—	—	—	—	—	—	—	76	1,118	4
34 (H.10)	106	150	123	151	132	—	—	—	126	137	—	—	—	—	—	—	—	67	992	3
35 (H.11)	129	120	120	9	132	—	—	192	127	132	—	—	—	—	—	—	—	60	1,021	1
36 (H.12)	125	125	117	—	140	—	—	176	132	119	—	—	—	—	—	—	—	50	984	0
37 (H.13)	113	142	121	—	126	—	—	217	139	137	—	—	—	—	—	—	—	80	1,075	0
38 (H.14)	137	119	116	—	131	—	—	228	122	131	68	—	—	—	—	—	—	92	1,144	1
39 (H.15)	99	121	99	—	132	—	—	199	138	110	112	—	—	—	—	—	—	95	1,105	1
40 (H.16)	95	105	109	—	116	—	—	209	111	117	101	—	—	—	189	—	—	95	1,247	0
41 (H.17)	117	80	120	—	91	—	—	183	116	74	84	95	—	—	172	—	—	99	1,231	3
42 (H.18)	119	81	115	—	99	—	—	201	114	81	113	100	—	—	178	—	—	109	1,310	0
43 (H.19)	99	80	103	—	102	—	—	183	118	72	91	95	—	—	157	123	—	118	1,341	0
44 (H.20)	107	75	86	—	109	—	—	168	93	81	119	100	—	—	136	106	—	100	1,280	0
45 (H.21)	96	75	101	—	97	—	—	165	96	86	71	149	—	—	140	130	80	104	1,390	0
46 (H.22)	80	74	100	—	90	—	65	169	69	57	2	120	33	—	124	127	60	101	1,271	0
47 (H.23)	82	44	87	—	89	20	42	146	66	29	1	118	45	—	91	130	80	133	1,203	0
48 (H.24)	67	45	91	—	97	27	39	117	57	5	—	87	23	64	91	117	63	137	1,127	0
合計	6,321	5,357	5,797	4,212	4,204	47	146	2,553	6,444	3,901	762	864	101	64	1,278	733	283	1,725	44,792	311

●工学部

- E 電子工学科
- G 電子物性工学科、電子材料工学科、
応用化学科
- H 電子機械工学科
- I 経営工学科
- J 精密工学科、知能機械工学科、
機械工学科
- N 基礎理工学科
- Z 環境技術学科

●情報通信工学部

- P 情報工学科
- F 通信工学科
- K 応用電子工学科、光システム工学科、
光・エレクトロニクス学科

●工学部2部

- R 電子工学科
- V 機械工学科

●医療福祉工学部

- L 医療福祉工学科
- Y 理学療法学科

S 健康スポーツ科学科

●総合情報学部

- Q メディア情報文化学科、
デジタルアート・アニメーション学科
- W デジタルゲーム学科
- T メディアコンピュータシステム学科

●大学院

- M 前期課程
- D 後期課程

※総合計は、学部卒業生で大学院修了生は重複します。

第1号議案 平成23年度事業報告

- 平成23年度、母校は大学創立50周年を迎え、また寝屋川市駅前学舎が竣工するなど記念すべき年となったが、友電会は竣工記念品として「自動証明書発行機(パピルスV)」を寄贈し、また10月1日の記念式典にも多くの会員が参加して祝い、さらに記念植樹を約束して大学に協力した。
- 猿渡会長体制1期2年目を迎えて「同窓の力を結集して母校に貢献」を基本方針に活動したが、会費を2万円/1人と減額したので収入総額は前年比約46%まで縮小したため各事業を見直し、緊縮財政を基本方針として活動した。
- なかでも「会議・交通費」がここ数年急速に膨らんだため、その対応策を検討した。しかし、次期役員選考や法人理事・評議員選出のため臨時の会議があり予算を超過した。それでも、次期友電会役員選出において、できるだけ近距離居住者を多くする地域性を考慮した選考を行い、次年度での改善を図った。
- 法人理事・評議員の任期満了に伴い、理事1名、評議員5名を選出した。
- 会誌は「総会通知号」(5月発行)と「新卒生・新入生特集号」(3月発行)の2回刊としたが、6月に開催した総会での決議事項などの早期告知、および東日本大震災復興のための母校学生による支援ボランティア隊の活動報告のために、10月に113号を臨時増刊号として発刊した。
- ホームページは、友電会支部活動や会員個々の活動はもとより、特に母校学生によるボランティア活動の情報を随時掲載した。
- 友電会の地域貢献の一環として、駅前キャンパスにおいて友電会主催ロボット講習会「ロボットづくり、基礎から学ぼう少年・少女体験講座」を3月までに4回開催した。

■平成23年度事業報告(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

■第5条第1項 研究発表会、講習会、座談会などの開催

- 研究発表会
 - ・大学祭時に「エレクトロニクス展」後援、機会あるごとに研究発表会等に支援。
- 講演会・座談会等
 - ・平成23年度総会で金融経済学部アセット・マネジメントの寺田教授による記念講演を開催した。
 - ・母校の正規授業の「工学入門」「キャリア支援講座」へのOB講師の派遣と支援を母校の求めに対応した。

■第5条第2項 機関誌、その他の刊行

- ・会誌「ゆうでんかい」112号を5月に、113号を増刊号として10月に、さらに114号を3月に卒業生・新入生向けとして発刊した。

■第5条第3項 大阪電気通信大学発展のための事業

- 母校発展のための事業
 - ・平成23年、大学創立50周年、学校法人として60周年、学園開学70周年を迎えるにあたり、母校の記念式典に全面的に協力。
 - ・寝屋川市駅前キャンパスの新学舎竣工記念品として、学生にとって大事な各種証明書を自動発行する「自動証明書発行機(パピルスV)」を寄贈。
 - ・法人理事と法人評議員を送り、母校の経営に参画、発展に協力。
 - ・卒業生の謝恩パーティーに協力・援助(2、3月)。
 - ・「第32次海外教育研修団」を2月(約1カ月間)、カナダのUBC(カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学)に派遣。
 - ・「後援会・友電会貸与奨学金制度」に出資し拡充、「在学生短期貸付制度」を継続。
 - ・「第35回卒研室対抗ソフトボール大会」を9月に開催。
- クラブなど学生団体の活性化と発展のための事業を推進。
 - ・クラブ同窓会とともに文化会・体育会の「リーダースキャンプ」に、OBの講師を派遣するなど、クラブ活動の活性化と発展に寄与。
- 母校の環境整備の一環として緑化推進
 - ・その他、母校発展のための事業を推進。

◆(平成24年4月～6月)・上記事業の継続と充実

■第5条第4項 会員相互の親睦と連絡

- 「友電会ネットワーク」
 - ・会員諸氏への情報提供の一環としてホームページを充実する。特に友電会はもとより母校の情報を掲載。
- 親睦と連絡関係の事業
 - ・平成23年度総会を6月25日(土)に母校寝屋川市駅前キャンパスで開催。また、懇親会を寝屋川キャンパスJ号館で「緑樹会」、「クラブ同窓会」と共催、親睦を深めた。
 - ・母校・学園、その関連団体等と情報交換を通じ相互理解を図る。
 - ・各支部に助成、現支部の活性化とともに支部の新設推進を図る。
 - ・大学祭時に「友電会サロン」を設置し、来学した会員の休憩・懇親の場を提供するとともに「友電会サロンパーティー」を開催し会員相互の親睦を図った。

◆(平成24年4月～6月)機会あるごとに会員相互の親睦と連絡を密にする。

■第5条第5項 その他、目的を達成するための事業

- 会議
 - ・平成23年度総会を6月に開催した。
 - ・理事会定例6回、臨時2回を、また評議員会定例3回、臨時1回を開催し、会の運営、事業・活動を推進した。
 - ・三役会、各支部、各委員会を機会あるごとに開催し、会の運営と事業・活動を行った。
 - ・全国支部長会を2回開催し、支部活性化と新設を推進した。
- その他
 - ・支部との情報交換、母校など関係団体等との交流を通じて、会活動の充実と円滑な運営を推進する。

◆(平成24年4月～6月)上記会議等を機会あるごとに開催し、会の運営を図る。

第2号議案

平成23年度収支決算報告

■平成23年度収支決算

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)
(単位: 円)

◆収入の部

3月末 決算

科 目	平成23年度 予算(A)	決 算(B)	増減(B-A)
運用財産収入	300,000	115,187	-184,813
会費収入	26,000,000	25,540,000	-460,000
寄付・広告収入	50,000	22,000	-28,000
総会収入(懇親会)	100,000	141,000	41,000
会誌講読収入	0	81,000	81,000
新校舎記念品引当金取崩収入	7,500,000	7,500,000	0
雑収入	1,000	7,010	6,010
前年度からの繰越金	3,682,000	3,682,192	192
合 計	37,633,000	37,088,389	-544,611

◆支出の部

科 目	平成23年度 予算(A)	決 算(B)	増減(B-A)
事務局費	9,250,000	10,496,675	-1,246,675
給料諸手当	4,000,000	3,055,306	944,694
事務費	1,500,000	1,739,308	-239,308
諸雑費	50,000	53,711	-3,711
会議費・交通費	3,000,000	4,114,190	-1,114,190
三役・法人評議員活動費	400,000	907,450	-507,450
部会・委員会活動費	300,000	626,710	-326,710
事業費	12,600,000	13,790,039	-1,190,039
総会費	1,300,000	1,469,862	-169,862
名簿制作費(台帳)	300,000	458,007	-158,007
機関誌製作費	3,800,000	5,053,526	-1,253,526
学史編集調査費	200,000	202,250	-2,250
通信費	2,800,000	2,620,088	179,912
厚生費	600,000	628,126	-28,126
(大学事業・関連事業)	300,000	245,500	54,500
(慶弔費)	300,000	382,626	-82,626
支部運営助成費	1,600,000	1,240,000	360,000
(支部長会議費)	100,000	50,000	50,000
(支部開拓費)	200,000	0	200,000
(支部費)	1,300,000	1,190,000	110,000
クラブ同窓会運営助成費	1,400,000	1,400,000	0
クラブ援助金	300,000	300,000	0
HP関係費	300,000	418,180	-118,180
	0	0	0
教育・研究助成費	2,400,000	1,582,597	817,403
母校発展促進費	200,000	0	200,000
教育・研究促進費	200,000	73,330	126,670
学内講演(研究)費	200,000	9,460	190,540
準会員助成費	1,800,000	1,499,807	300,193
基本財産繰入金	2,000,000	2,000,000	0
在学生奨学金	2,000,000	2,000,000	0
法人化積立金	0	0	0
法人化繰入金	0	0	0
友電会積立金(仮称)	0	0	0
新校舎記念品費用	7,500,000	6,042,855	1,457,145
東日本大震災援助金 ※		968,610	-968,610
予備費	3,883,000	0	3,883,000
次年度繰越金	0	2,207,613	-2,207,613
合 計	37,633,000	37,088,389	544,611

予算につきましては、年間の予定額でありますので、千円単位で計上しております。

従いまして、千円未満の端数が予想されるときは、収入は切り捨て、支出は切り上げて算定しています。

※東日本大震災援助金 パソコン代、被災学生援助、学生ボランティア援助

- 平成23年度から会費を3.5万円/1人から2万円としたため収入が例年より大幅にダウンした。そのため、平成23年度の予算は可能な限り節約する超緊縮財政予算としていた。
- 平成23年度の入学生は1,300名と予想し会費収入を26,000,000円としたが、実際に20数名少なくなつて25,540,000円となった。ただし、総予算規模は前年度からの繰越金3,682,192円と新学舎記念品引当金、他を加えた計37,088,389円となった。
- 前年度の会議・交通費の増大に対して、理事会や評議員会など会議のあり方について検討し、見直すことを前提にし、前年度より交通費を含めた会議費の削減に努めた。
- 事務局費のうち給与手当費は削減できたが、特に会議費・交通費、三役・法人評議員活動費、部会・委員会活動費においては、改選期にあたり友電会役員の選考や法人理事、評議員の選出のために臨時の会議を開催したので、195万円ほど超過した。
- これを反省材料として、今年度実施した次期役員の選考において、できるだけ近距離居住者を選ぶように地域性を考慮した選考を示唆するなど、次年度予算に生かされた。
- 事業費としては機関誌制作費が125万円ほど超過したが、これは6月開催した友電会総会内容を早く報告するためと、さらに東日本大震災復興のため母校と学生有志が8月行ったボランティア活動を報告するため必要として、10月に臨時号として会誌113号を発刊したためである。
- さらに、東日本大震災援助金として、ボランティアへの支援など含めて968,610円を出費した。
- 駅前新学舎の竣工記念品代として前年度からの繰越金として7,500,000円準備したが、実際の購入費用は6,042,855円となって、1,457,145円が残った。

第3号議案

平成23年度 一般会計剰余金処分案

- 平成23年度の一般会計の剰余金は2,207,613円となった。剰余金は「平成24年度への繰越金」として、平成24年度の事業・活動資金とする。

特別会計

■平成23年度海外教育研修 特別会計収支決算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)
(単位：円)

◆収入の部

前年度からの繰越金	10,063,017
研修同行費	57,113
利息・配当金	3,694
合 計	10,123,824

◆支出の部

事務費	1,995
研修同行費	237,405
会議費	8,900
歓送迎会費	106,721
研修立替金	155,100
次年度繰越金	9,613,703
合 計	10,123,824

■平成23年度英会話研修 特別会計収支決算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)
(単位：円)

◆収入の部

前年度からの繰越金	2,062,650
研修申し込み手数料	0
合 計	2,062,650

◆支出の部

事務費等	0
次年度繰越金	2,062,650
合 計	2,062,650

■平成23年度 海外教育研修・英会話研修 特別会計貸借対照表

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)
(単位：円)

◆収入の部

現金	12,396
普通預金	716,964
定期預金	10,946,993
合 計	11,676,353

◆負債・基本財産の部

海外教育研修積立金	9,613,703
英会話研修積立金	2,062,650
未払金	0
合 計	11,676,353

研修のための立替金155,100円がある。

■平成23年度貸借対照表総括

(平成24年3月31日 単位：円)

資産の部		負債・純資産の部	
勘定科目		勘定科目	
現金	588,360	法人化準備預り金	5,670,000
普通預金	145,638,782	預り金	1,320,000
定期預金	210,946,993		
郵便貯金	932,815	基本金	119,067,984
在学生短期奨学金	2,000,000	法人化積立金	284,665,000
在学生奨学基金	64,500,000	海外教育研修積立金	9,613,703
		英会話研修積立金	2,062,650
		剰余金	2,207,613
合 計	424,606,950	合 計	424,606,950

■平成23年度一般会計貸借対照表

(平成24年3月31日 単位：円)

資産の部		負債・純資産の部	
勘定科目		勘定科目	
現金	575,964	法人化準備預り金	5,670,000
普通預金	144,921,818	預り金	1,320,000
定期預金	200,000,000		
郵便貯金	932,815	基本金	119,067,984
在学生短期奨学金	2,000,000	法人化積立金	284,665,000
在学生奨学基金	64,500,000	剰余金	2,207,613
合 計	412,930,597	合 計	412,930,597

■平成23年度一般会計財産目録

(平成24年3月31日 単位：円)

資産の部		負債の部	
1. 現金	575,964	1. 法人化準備預り金	5,670,000
事務局手元有り高		2. 預り金	1,320,000
2. 郵便貯金	932,815		
寝屋川郵便局			
3. 普通預金	144,921,818		
三井住友銀行／寝屋川	(47,629,578)		
京都信用金庫／寝屋川	(57,121,772)		
三菱東京UFJ銀行／守口	(40,170,468)		
4. 定期預金	200,000,000		
三井住友銀行／寝屋川	(190,000,000)		
京都信用金庫／寝屋川	(10,000,000)		
5. 在学生短期奨学金	2,000,000		
大学学生課に預け入れ			
6. 在学生奨学基金	64,500,000		
奨学金委員会に預け入れ			
資産合計	412,930,597	負債合計	6,990,000
正味財産			405,940,597

監査報告

平成24年4月21日

平成23年度事業報告書および平成23年度収支決算書を監査した結果、適正に執行されていることを認めます。

監事 吉田 栄 治 (印)
北 森 弘 樹 (印)
大 音 博 司 (印)

第4号議案

平成24年度事業計画案

- 大学創設から半世紀を過ぎた母校の発展に寄与するため、平成24年度は猿渡会長体制の2期目を担う新役員で臨むスタートの年度となる。
- 「同窓の力を結集して母校に貢献し同窓の親睦を図る」を基本方針に推進し、本部・各支部の総会・懇親会を通じて会員相互の親睦はもとより、母校と会員の絆を深めていく。
- 少子化による大学入口の入試、また景気低迷による出口の就職において厳しさが増している。こうした厳しい状況下で、会員諸氏の「母校に対する想い」が最も大切になってくる。
- そのために、会員相互・母校と会員との絆を深めて、母校への志願者の増加を推し進めるために、友電会の「広報体制」を駆使して母校のPRを図るとともに、就職面ではOBの尽力を必要とされているなか、就職支援活動を積極的に進めていかなければならない。会員諸氏の協力を呼びかけていきたい。
- 会費が2万円／1人と大幅減額になってから2年目、さらに前年比で収入総額が縮小しているなか、各事業を精査して見直さなければならない。
- 平成24年度からの繰越金が多く取れない状態となれば、平成25年度以降の財政はより逼迫する危機的な状況となるため、今年度の事業の厳しい仕上げをせざるを得ない。
- 「会議・交通費」がここ数年、急速に膨らんだ。その対応策として交通費の総枠から10%減を実施し、個々会員にはこれまで通りの支給はせずに応分の負担を課すことになった。
- 会誌は「総会通知号」（5月発行）と「新卒生・新入生特集号」（3月発行）、および総会後の報告を主とする内容で10月も発刊する年3回刊行体制とする。「総会通知号」は全員に送付する。
- そのために、「新卒生・新入生特集号」については卒業式と入学式会場で配布して、卒業後1年目の会員にのみ送付する。
- つまり、会誌そのものをPDF化しホームページに掲載して郵送費の削減を図る。会員諸氏にはホームページで会誌を読んでもらうことになる。
- 以上、大きな経費を必要とする「機関誌制作費」であるが、特に大学のPRへ

■平成24年度事業計画案(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

■第5条第1項 研究発表会、講習会、座談会などの開催

●研究発表会

- 大学祭時に「エレクトロニクス展」後援、機会あるごとに研究発表会等に支援。

●講演会・座談会等

- 機会あるごとに座談会を開催する。
- 記念講演会をはじめ、機会あるごとに講演会を開催する。
- 母校の正規授業の「工学入門」「キャリア支援講座」へのOB講師の派遣。OB講演者の登録制度化し、母校の求めに対応していく。

◆(平成25年4月～6月)・上記事業を機会あるごとに実施

■第5条第2項 機関誌、その他の刊行

- 会誌「ゆうでんかい」を発刊。
- 「学史編さん室」-母校、友電会の「歴史」を綴っていく。

◆(平成25年4月～6月)・会誌を5月に

■第5条第3項 大阪電気通信大学発展のための事業

●母校発展のための事業

- 法人理事と法人評議員を送り、母校の経営に参画、発展に協力。
- 卒業生の謝恩パーティーに協力・援助(2、3月)。
- 「第33次海外教育研修団」を2月(約1カ月間)、カナダのUBC(カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学)に派遣。
- 「後援会・友電会貸与奨学金制度」に出資し拡充、「在学生短期貸付制度」を継続。
- 「第36回卒研室対抗ソフトボール大会」を9月ごろに開催する。

●クラブなど学生団体の活性化と発展のための事業を推進。

- クラブ同窓会とともに文化会・体育会の「リーダーズキャンプ」にOBの講師を派遣するなど、クラブ活動の活性化と発展に寄与。

●母校の環境整備の一環として緑化推進

- その他、母校発展のための事業を推進。

◆(平成25年4月～6月)・上記事業の継続と充実

■第5条第4項 会員相互の親睦と連絡

●「友電会ネットワーク」

- 会員諸氏への情報提供の一環としてホームページを充実する。特に友電会はもとより母校の情報を掲載していく。

●親睦と連絡関係の事業

- 平成24年度総会を6月に。懇親会を「高校同窓会」、「緑樹会」、「クラブ同窓会」と共催、親睦を深める。
- 母校・学園、その関連団体等と情報交換を通じ相互理解を図る。
- 各支部に助成、現支部の活性化とともに支部の新設推進を図る。
- 大学祭時に「友電会サロン」を設置し、来学した会員の休憩・懇親の場を提供するとともに「友電会サロンパーティー」を開催し、会員相互の親睦を図る。

◆(平成25年4月～6月)機会あるごとに会員相互の親睦と連絡を密にする。

■第5条第5項 その他、目的を達成するための事業

●会議

- 平成24年度総会を6月に開催する。
- 理事会定例6回、評議員会定例3回開催し、会の運営、事業・活動を推進する。
- 三役会、各支部、各委員会を機会あるごとに開催し、会の運営と事業・活動を行う。
- 全国支部長会を開催し、支部活性化と新設を推進する。

●その他

- 支部との情報交換、母校など関係団体等との交流を通じて、会活動の充実と円滑な運営を推進する。

◆(平成25年4月～6月)上記会議等を機会あるごとに開催し、会の運営を図る

協力と、友電会活動のPRに欠かせない媒体として活用したい。厳しい予算編成のなかではあるが、年3回発刊する体制で臨み、ホームページについても重視して充実を図りたい。

また、母校の正規授業の「工学入門」「キャリア支援講座」へのOB講師の派遣等を充実し、学生にとって最も身近なOBの講師を増やし、厳しい就職戦線にさらされた母校と在学生の求めに対応して支援協力体制を維持していく。

- 会の法人化については、一般社団・財団法人制度の創設によって、同窓会組織でも法人化が可能になった。委員会を設けて検討した結果「時期尚早」としたが、今後も引き続き検討していくことにしている。
- 同窓会組織の基盤である支部の活性化と新設を進める。本部・各支部の総会・懇親会で会員相互の親睦はもとより、母校と会員の絆をこれまで以上に深めていく。

第5号議案

平成24年度収支予算案

- 会費を一人あたり3万5千円から2万円に減額してから2年目となるが、平成24年度の入学者は前年度より少ない1,200名弱程度とみられ、収入は昨年比約6%減の2,400万円弱程度となる見込みである。
- この減少は平成25年度以降も続く可能性があり、従来通りの予算を立てると赤字予算となり、厳しいというよりは友電会としては、かつてない逼迫した状況となることを踏まえて、抜本的な事業見直しを考慮して予算編成に取り組む必要がある。
- 平成24年度の予備費と繰越金が多く取れない状態となれば、平成25年度以降の財政がより逼迫する危機的な状況となるため、事業の厳しい仕分けと支出の削減を厳しくした予算を取らざるを得ない。
- そこで、まず平成24年度予算は奨学金や教育・研究助成金を除き一律10%減の予算を立てた。平成23年度の繰越金を入れて予備費約96万7千円しか確保できなかった。この予備費の額では不意の支出に対応できないというかつてない厳しい予算となり、また次年度への繰越金も見込めなくなるので、18歳人口がさらに5%減と見込まれる平成25年度においては、さらに逼迫した予算となる見込みとなる。
- 近年急速に膨らんだ「会議・交通費」に対する対応を早急に図る必要がある。そこで、会議・交通費については、平成24年度の新役員構成案を見て遠方者の役員が少なくなった状況で試算し、理事会年6回プラス臨時1回の7回と評議員会3回とすれば前年より削減できると見込んだ予算とした。
- 会誌制作費は年3回発刊する事業計画案通りの予算とした。
- 名簿製作費は同総会活動での絶対必要経費であるが、例年の実勢通りの40万円の予算とした。
- 教育・研究助成費は大学と在学生への支援のためのもので一部ルーチン化しており、母校に積極的に協力し、協調・共同活動を歩むためには欠かせない経費のため、今回減額はしない。

■平成24年度収支予算

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)
(単位：円)

◆収入の部

科目	平成23年度 予算(A)	平成24年度 予算	平成25年 4～6月
運用財産収入	300,000	100,000	10,000
会費収入	26,000,000	23,600,000	23,600,000
寄付・広告収入	50,000	10,000	0
総会収入(懇親会)	100,000	500,000	0
会誌講読収入	0	30,000	0
新校舎記念品引当金取崩収入	7,500,000	0	0
雑収入	1,000	0	0
前年度からの繰越金	3,682,000	2,207,000	0
合 計	37,633,000	26,447,000	23,610,000

◆支出の部

科目	平成23年度 予算(A)	平成24年度 予算	平成25年 4～6月
事務局費	9,250,000	7,740,000	2,710,000
給料諸手当	4,000,000	3,000,000	1,000,000
事務費	1,500,000	1,500,000	500,000
諸雑費	50,000	50,000	10,000
会議費・交通費	3,000,000	2,620,000	1,000,000
三役・法人評議員活動費	400,000	300,000	100,000
部会・委員会活動費	300,000	270,000	100,000
事業費	12,600,000	13,340,000	7,600,000
総会費	1,300,000	1,500,000	1,300,000
名簿制作費(台帳)	300,000	400,000	100,000
機関誌製作費	3,800,000	4,500,000	2,500,000
学史編集調査費	200,000	180,000	100,000
通信費	2,800,000	2,800,000	2,000,000
厚生費	600,000	540,000	300,000
(大学事業・関連事業)	300,000	270,000	150,000
(慶弔費)	300,000	270,000	150,000
支部運営助成費	1,600,000	1,440,000	1,000,000
(支部長会議費)	100,000	90,000	50,000
(支部開拓費)	200,000	180,000	50,000
(支部費)	1,300,000	1,170,000	900,000
クラブ同窓会運営助成費	1,400,000	1,260,000	0
クラブ援助金(褒賞金)	300,000	270,000	0
HP関係費	300,000	300,000	300,000
自動車部ラリー助成費	0	150,000	0
教育・研究助成費	2,400,000	2,400,000	800,000
母校発展促進費	200,000	200,000	100,000
教育・研究促進費	200,000	200,000	100,000
学内講演(研究)費	200,000	200,000	100,000
準会員助成費	1,800,000	1,800,000	500,000
基本財産繰入金	2,000,000	2,000,000	0
在学生奨学金	2,000,000	2,000,000	0
法人化積立金	0	0	0
法人化繰入金	0	0	0
友電会積立金(仮称)	0	0	0
新校舎記念品費用	7,500,000	0	0
予備費	3,883,000	967,000	0
合 計	37,633,000	26,447,000	11,110,000

予算につきましては、年間の予定額でありますので、千円単位で計上しております。

従いまして、千円未満の端数が予想されるときは、収入は切り捨て、支出は切り上げて算定しています。

第6号議案 平成24年度役員案

●理事・・・21名

- ・安 弘 (F01) 現
- ・池本 善一 (E02) 現 神戸支部長
- ・猿渡 洋 (F02) 現
- ・福田 武 (E02) 現 九州支部長
- ・村瀬 収吾 (E03) 現 京都支部長
- ・川口 明良 (F04) 現 法人評議員
- ・北森 弘樹 (E04) 新任(元)
- ・田中 稻夫 (F06) 現
- ・藤本 明 (I06) 現 法人評議員
- ・稲原 廣法 (E07) 新任 法人評議員
- ・志村 哲樹 (F07) 新任 東海総支部長
- ・野田 鐘一 (F07) 現
- ・山口 文男 (H07) 新任(元)

- ・尼丁 正寄 (F08) 新任
- ・大平 富義 (H08) 新任(元) 法人理事
- ・水谷 元也 (E08) 現
- ・山崎 洋一郎 (H10) 現
- ・岡本 清孝 (H11) 現
- ・辻 佳彦 (H13) 現
- ・藤田 英治 (E22) 現
- ・柴垣 佳明 (D33) 現

●監事・・・3名

- ・上杉 靖男 (E02) ・藤原 公彦 (E04)
- ・西尾 博道 (F26)

●顧問・・・4名

- ・臼井 宏 (E01) ・宮本 公明 (F03)
- ・中西 義一 (E04) ・中山 修 (F06)

●法人評議員・・・2名

- ・観野 福太郎 (E04) ・廣谷 明 (F12)

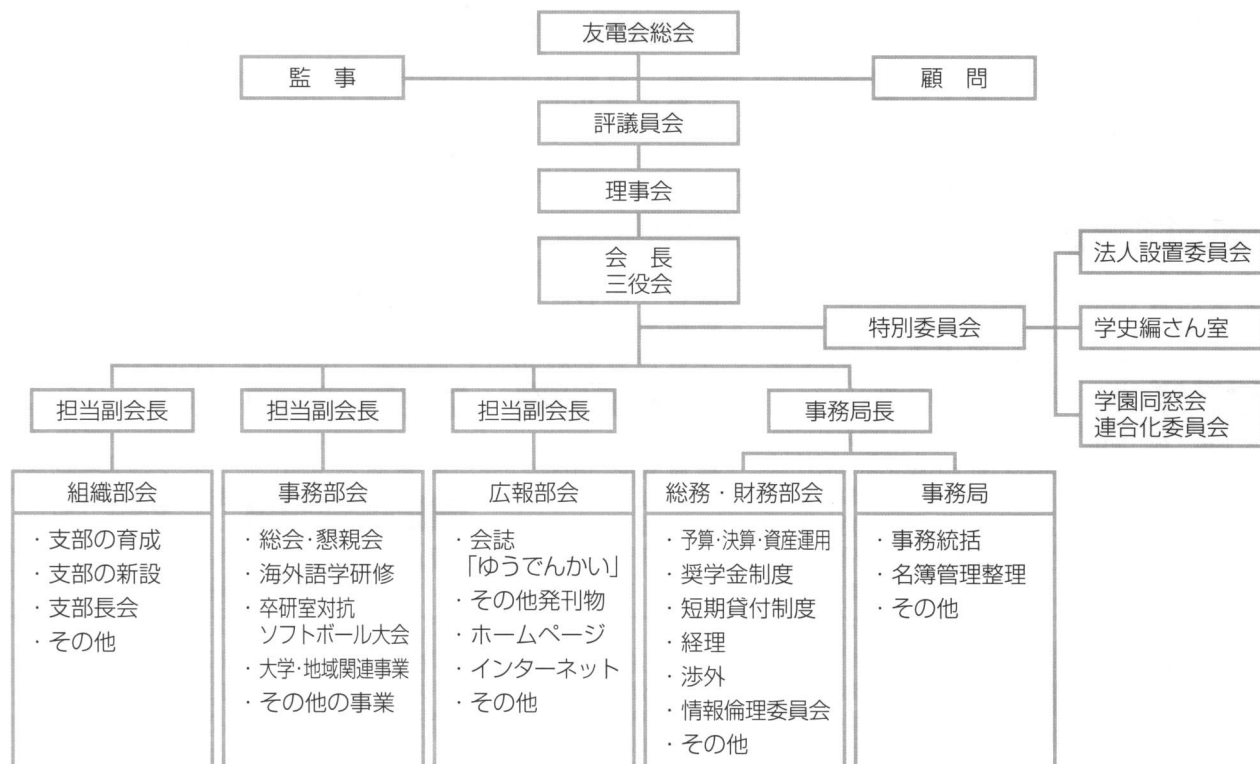
■友電会支部と支部長

支部名 支部長・卒業学科・期

関東総支部 佐藤 渉一 (I10)	東海総支部 志村 哲樹 (F07)	神戸支部 池本 善一 (E02)
北関東支部 山口 文男 (H07)	静岡県支部 久保田陽一 (F05)	三田支部(代行) 神楽岡 功 (F02)
茨城支部 木村 功一 (F09)	びわこ支部 一谷 醇 (H07)	石川支部 辻 久也 (I13)
千葉支部 佐藤 渉一 (I10)	京都支部 村瀬 収吾 (E03)	九州支部 福田 武 (E02)
神奈川支部 榎田 俊彦 (F14)	奈良支部 松井 俊樹 (I13)	北米支部 高岸 英人 (F17)

各支部の情報は友電会ホームページで <http://www.yudenkai.org/>

大阪電気通信大学友電会 組織図



第7号議案 平成24年度評議員案

平成24年度友電会評議員は、5名が新任、1名が退任し、総数は208名です。

氏名の後ろに△がある評議員は新任です。 (敬称略)

平成24年2月8日現在

〔第1期生〕

青木政治 (E01)
大角武紘 (E01)
大塚敏兼 (E01)
白岩義則 (E01)
高妻泰作 (E01)
西原正明 (E01)
羽淵完俊 (E01)
藤崎紘久 (E01)
堀中英昭 (E01)
宮崎孝 (E01)
臼井宏 (E01)
安弘 (F01)
國次茂 (F01)
野村康明 (F01)

〔第2期生〕

桜木親房 (E02)
池本善一 (E02)
上杉靖男 (E02)
江守勉 (E02)
谷口一雄 (E02)
福田武 (E02)
藤野雅也 (E02)
猿渡洋 (F02)
本田頌次 (F02)
吉田栄治 (F02)

〔第3期生〕

稲垣肇 (E03)
富田淳一 (E03)
村瀬収吾 (E03)
石本時堯 (E03)
井上徹 (E03)
高木晴雄 (E03)
竹本信之 (E03)
成子一誠 (E03)
原一夫 (E03)
中島俊一 (E03)
野田哲治 (F03)
菅野和夫 (F03)
辻喜代克 (F03)
広沢洋 (F03) △
三橋長夫 (F03)
宮本公明 (F03)

〔第4期生〕

辻勝久 (E04)
北森弘樹 (E04)
中西義一 (E04)
浅川和久 (E04)
観野福太郎 (E04)
藤原公彦 (E04)
大下真二郎 (F04)
川口明良 (F04)
中島良造 (F04)
野村恵章 (F04)
藤田順彦 (F04)

〔第5期生〕

木村正彦 (E05)
中尾稔 (E05)
中野正三 (E05)
守上芳士 (E05)
岩本吉男 (F05)
大野一廣 (F05)
尾方康祐 (F05)
久保田陽一 (F05)
山口朝弘 (F05)
安田一明 (F05)
御崎正吾 (G05)
木村幸治 (G05)
香西順治 (G05)
坂上晃一 (G05)
高岡亨 (G05)
玉置寛 (G05)
堀内定夫 (G05)
堀井浩 (G05)
薮野美律 (G05)
池田清 (I05)
吉川博史 (I05)

〔第6期生〕

奥村義美 (E06)
吉岡睦 (E06)
段安義彦 (F06)
吉田祐三 (F06)
金谷武美 (F06)
小松周治 (F06) △
田中稻夫 (F06)
中山修 (F06)
湯場崎直養 (F06)
大下正二郎 (G06) △
北川昇 (H06)
大川恒一 (H06)
阪本和夫 (H06)
中田康夫 (H06)
松伏正隆 (H06)
横道一雄 (H06)
前田實 (I06)
荒木秋男 (I06)
国松敬三 (I06)
藤本明 (I06)

〔第7期生〕

稲原廣法 (E07)
五條純一 (E07)
宿谷幸男 (E07)
宮本常德 (E07)
畝本正一 (E07)
志村哲樹 (F07)
寺田豊 (F07)
西村一 (F07)
野田鐘一 (F07)
長谷川洋 (F07)
吉田博由 (F07)
中口武 (G07)

松本好史 (G07)
一谷醇 (H07)
丹羽弘己 (H07)
山口文男 (H07)
井平佳秀 (I07)
平岡臨 (I07)

〔第8期生〕

相羽政信 (E08)
石川智之 (E08)
水谷元也 (E08)
尼丁正寄 (F08)
藤井修逸 (F08)
里内登 (F08)
大平富義 (H08)
鎌谷英一 (H08)
新垣忠克 (H08)
横木久治 (H08)
中出知伸 (I08)
宇野茂嗣 (I08)

〔第9期生〕

木村功一 (F09)
宮崎一幸 (F09)
栗栖敏朗 (F09)
大音博司 (G09)
岡川正寛 (H09)
森和明 (H09)
工藤英男 (I09)
平林一夫 (I09)

〔第10期生〕

井野川一 (E10)
北地憲治 (E10)
山崎貞彦 (E10)
赤木俊雄 (G10)
山崎洋一郎 (H10)
佐藤涉一 (I10)

〔第11期生〕

松田啓 (F11)
佐脇弘泰 (G11)
鬼原治紀 (G11)
小舟定行 (G11)
岡本清孝 (H11)

〔第12期生〕

内野正道 (F12)
廣谷明 (F12)
秋田良八 (H12)
恩智博司 (H12)

〔第13期生〕

朝田健嗣 (E13)
榊原秀之 (H13) △
辻佳彦 (H13)
松井俊樹 (I13)
辻久也 (I13)

〔第14期生〕

榎田俊彦 (F14)
高田憲幸 (F14)
山崎敏之 (F14)
倉中宏 (G14)
堀江健二郎 (H14)
細川雅巳 (I14)
田中二郎 (I14)

〔第15期生〕

森蔭剛久 (E15)
小寺澤隆司 (E15)
江畑栄二 (F15)
宮條研次 (F15)
沖洋一 (I15)
團正則 (J15)
山下友彦 (J15)

〔第16期生〕

岡本宣正 (E16)
渡辺員行 (E16)
幸村常一 (H16)
島田慎太郎 (H16)

〔第17期生〕

高岸英人 (F17)
園田和之 (F17)
國友志保 (F17)
澤居比佐夫 (H17)
元花修 (H17)
松江宏 (I17)

〔第18期生〕

田中庸介 (E18)
生駒京子 (I18)
加藤常員 (I18)
海野徹 (K18)

〔第20期生〕

阪井誠 (H20)
中川雅弘 (H20)
奥田裕 (H20)

〔第22期生〕

藤田英治 (E22)
竹中章 (J22)

〔第23期生〕

竹内和生 (I23)
三砂博一 (K23)

〔第24期生〕

澤井剣 (G24)
廣瀬修一 (G24)

〔第25期生〕

渡部孝 (G25)

松浦信夫 (H25)
井口兼彦 (H25)

〔第26期生〕

西尾博道 (F26)

〔第27期生〕

奥泉大輔 (H27)

〔第28期生〕

早野秀樹 (E28)

〔第29期生〕

伏本和人 (I29)
井内友昭 (M29)
森和義 (M29)
松尾賢一 (M29)

〔第30期生〕

大野守 (M30)

〔第31期生〕

新川拓也 (M31)

〔第32期生〕

中田亮生 (D32)
櫻木嘉典 (E32)

〔第33期生〕

柴垣佳明 (D33)

〔第35期生〕

山村友律 (J35)

〔第36期生〕

金野洋明 (M36)

〔第39期生〕

澤田正雄 (P39)

〔第41期生〕

西川達也 (M41) △

〔第44期生〕

村上豊裕 (G44)

〔第45期生〕

竹中浩之 (F45)

●新任 5名

小松周治 (F06)
榊原秀之 (H13)
広沢洋 (F03)
西川達也 (M41)
大下正二郎 (G06)

●退任 1名

松下亮 (G10)

亡くなられた
会員の方々です

平成23年度中に友電会事務局に
届出のあった方々です。
ご冥福をお祈りいたします。

渡邊篤典 (I18)
安仁屋豊 (F23)
中野武志 (J34)
内藤和宏 (F21)
藤井武 (I11)

西岡正広 (I15)
太田信光 (G08)
平野憲治 (I14)
岡本武夫 (H05)
表谷準三 (F05)

多田和誠 (H31)
平井兵造 (E04)
田邊保男 (I07)
藤田雅夫 (H08)
黒田敏恭 (H08)

松井香保里 (E39)
田中英逸 (E06)
後藤伸司 (F12)
根来正俊 (G10)

以上19名

大阪電気通信大学 友電会定款

第1章 総 則

- 第1条 本会は大阪電気通信大学友電会と称する。
- 第2条 本会は事務所を大阪府寝屋川市初町18番8号大阪電気通信大学内に置く。
- 第3条 本会は理事会の議決を経て支部を設けることが出来る。支部設置規則は、この定款の細則として別に定める。支部には支部長を置く。

第2章 目的および事業

- 第4条 本会は大阪電気通信大学と緊密に連繋を保持し、その発展に協力し会員相互の親睦と研修を図ると共に教育、学術、文化の発展に寄与することを目的とする。
- 第5条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
- ①研究発表会、講習会、座談会等の開催
 - ②機関誌、その他の刊行
 - ③大阪電気通信大学発展のための事業
 - ④会員相互の親睦と連絡
 - ⑤その他、目的を達成するための事業

第3章 会 員

- 第6条 本会の会員は次の通りとする。
- ①正会員
学校法人大阪電気通信大学が設置した大学の学部、大学院を卒業、または修了した者で、卒業時あるいは修了時まで所定の入会金および会費を納めた者
 - ②準会員
学校法人大阪電気通信大学が設置する大学の学部、大学院に在籍している学生で、所定の入会金を納めた者
 - ③特別会員
学校法人大阪電気通信大学が設置する大学の学部、大学院に専従する教職員である者
 - ④賛助会員
本会の目的に賛同し、その事業を援助する者で、理事会の承認を得た個人または団体
 - ⑤名誉会員
本会の目的達成に多くの貢献をした者で理事会の決議を経て推薦された個人
- 第7条 会員は総会を組織し、総会の議決に加わる。
- 2、会員は本会の目的事業の遂行に積極的に協力するとともに、本会の会員としてふさわしくない行為をしてはならない。
 - 3、会員は本会の行う事業に対し、優先的にその利益を受けることが出来る。
- 第8条 会員は次の理由によりその資格を喪失する。
- ①脱 退
 - ②死亡および失跡宣言
 - ③除 名
- 第9条 会員が次の各号の一に該当するときは総会の議決を経て、会長がこれを除名することが出来る。
- ①本会の会員としての義務に違反したとき
 - ②本会の名誉を傷つけ、または本会の目的に反する行為があったとき
- 第10条 既納の入会金および会費等はいかなる理由があっても、これを返還しない。

第4章 役員、評議員、顧問および職員

- 第11条 本会には次の役員を置く。
- 理事10名以上21名以内(うち会長1名、副会長3名、事務局長1名を含む)。
- 監事3名。
- 理事および監事は評議員会で選出し総会で承認を得る。理事は互選で会長1名、副会長3名、事務局長1名を決める。理事は会長の指名により財務担当をはじめとする会務を分担する。
- 監事は理事を兼任出来ない。
- 第12条 会長は本会の業務を総理し本会を代表する。
- 2、副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、または欠けたときは会長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。
- 第13条 理事は理事会を組織し、この定款に定めるもののほか、総会より委任せしめられた事項は議決し、執行する。
- 第14条 監事は民法第59条の職務を行う。
- 第15条 本会の役員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。
- 2、補欠による役員の任期は前任者の残任期間とする。
 - 3、役員はその任期満了後も後任者が就任するまではその職務を行う。
 - 4、役員は本会の役員としてふさわしくない行為があった場合、または特別の事情があった場合には、その任期中であっても理事会の議を経て評議員会の議決により、会長がこれを解任することが出来る。
- 第16条 役員は有給とすることが出来る。
- 第17条 本会には評議員を若干名置く。
- 2、評議員は評議員会を組織し、この定款に定めるもののほか、総会より委任せしめられた事項を議決する。また理事会の諮問に応ずる。
 - 3、評議員の任期は2年とする。ただし再任は妨げない。
- 第18条 本会の評議員は次の通りとする。
- ①正会員のうちから卒業年度別に総会または理事会で選出された者
 - ②支部長
- 第19条 本会には理事会の議決により顧問を若干名置くことが出来る。
- 2、顧問は会長がこれを委嘱する。
 - 3、顧問は会長の相談に応ずる。
- 第20条 本会の事務を処理するため、事務局を設け職員を置くことが出来る。
- 2、職員は会長が任免する。
 - 3、職員は有給とする。

第5章 会 議

(理事会)

- 第21条 理事会は毎年6回会長が招集する。ただし、会長が必要と認めた場合または理事現在総数の3分の1以上、あるいは監事から会議の目的たる事項を示して請求のあったときは、ただちに会長は臨時理事会を招集しなければならない。
- 2、理事会の議長は会長とする。
- 第22条 理事会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、理事現在総数の2分の1以上出席し、その出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 2、理事は理事会を欠席する場合、あらかじめ書面をもって意見を表明しなければならない。
 - 3、理事の委任状は出席者とみなされない。ただし、支部長が理事を兼ねた場合に限り、当該支部の役員で、理事でない者が委任状を持参のうえ、代理として出席し、

議決と執行に加わることが出来る。

(評議員会)

第23条 評議員会は毎年3回会長が招集する。ただし会長または監事が必要と認めたとき、または評議員現在総数の2分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求のあったときは、会長はその請求のあった日から20日以内に評議員会を招集しなければならない。

第24条 評議員会の議長は会議のつど評議員の互選で決める。

第25条 評議員会の招集は、すくなくとも10日以前にその会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面をもって通知する。

第26条 次に掲げる事項については、理事会においてあらかじめ評議員の意見を聞かなければならない。

①事業計画および収支予算案、ならびに事業報告および収支決算についての事項

②不動産の買入れ、または基本財産の処分についての事項

③その他、本会の業務に関する重要事項で会長において必要と認めた事項

第27条 評議員会は評議員現在数の5分の1以上出席しなければ、その議事を開き議決することは出来ない。ただし、当該議事につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者は、出席者とみなす。

第28条 評議員会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(総会)

第29条 通常総会は毎年1回、会計年度終了後90日以内に会長が招集する。

2、臨時総会は理事会または監事が必要と認めたとき、ただちに会長がこれを招集しなければならない。

第30条 会長は会員現在総数の10分の1以上から会議に付議すべき事項を示して、総会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から20日以内に臨時総会を招集しなければならない。

第31条 総会は、すくなくとも10日以前にその会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面をもって通知する。

第32条 次の事項は通常総会に提出して、その承認を受けなければならない。

①事業報告および収支決算ならびに事業計画および収支予算

②財産目録および貸借対照表

③その他理事会において必要と認めた事項

第33条 総会は、会員現在総数の100分の1以上出席しなければ、その議事を開き議決をすることが出来ない。ただし、当該事項につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者は出席者とみなす。

第34条 総会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第35条 総会の議事の要項および議決した事項は会員に通知する。

第36条 総会、理事会および評議員会の議事録は議長が作成し、議長および出席代表2名以上が署名捺印のうえ、これを保存する。

第6章 資産および会計

第37条 本会の収入は次の通りとする。

①入会金および会費

②事業に伴う収入

③資産から生じる果実

④寄付金品

⑤その他の収入

第38条 本会の資産を分けて、基本財産および運用財産の2種類とする。

2、基本財産は、別紙財産目録のうち、基本財産の部に記載する資産および将来基本財産に編入される資産で構成する。

3、運用財産は、基本財産以外の資産とする。ただし、寄付金品であって、寄付者の指定するものはその指定に従う。

第39条 本会の資産は、理事会の決議によって会長が保管する。

2、基本財産のうち、現金は理事会の決議によって確実な有価証券を購入するか、または定額郵便貯金とし、もしくは確実な銀行に信託するか、あるいは定額預金として会長が保管する。

第40条 基本財産は処分し、または担保に供してはならない。ただし本会の事業遂行上、やむを得ない理由があるときは、理事会および総会の議決を得、その一部に限り処分し、担保に供することが出来る。

第41条 本会の事業遂行に要する費用は入会金、会費事業に伴う収入および資産が生ずる果実等の運用財産をもって支弁する。

第42条 本会の事業計画およびこれに伴う収入予算は毎年会計年度開始前に会長が編成し理事会の議決および総会の承認を受けなければならない。なお、事業計画およびこれに伴う収支予算を変更した場合も同様とする。

第43条 本会の決算は、会計年度終了後3ヵ月以内に会長が作成し、財産目録、貸借対照表、事業報告書および会員の異動状況書とともに監事の意見をつけて理事会および通常総会の承認を受けなければならない。

2、本会の決算に剰余金があるとき、理事会の議決および総会の承認を受けて、その一部もしくは全部を基本財産に編入し、または翌年に繰越すものとする。

第44条 収支予算で定めるものを除くほか、新たに義務の負担をし、または権利の放棄をしようとするときは、理事会および総会の議決を経なければならない。

第45条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第7章 定款の変更ならびに解散

第46条 この定款は、理事会および総会のおおの5分の3以上の議決を経なければ変更することが出来ない。

第47条 本会の解散は、理事会および総会のおおの4分の3以上の議決を経なければならない。

第48条 本会の解散に伴う残余財産の処分は理事会および総会のおおの4分の3以上の議決を経てから大阪電気通信大学学長の許可を受けて、本会の目的に類似の目的を有する公益事業に寄付するものとする。

第8章 補 則

第49条 この定款施行についての細則は、理事会および評議員会の議決を得て別に定める。

第50条 昭和48年11月1日施行

昭和52年5月29日改正

昭和55年6月29日改正

昭和57年6月27日改正

平成3年6月30日改正

平成5年6月27日改正

平成7年6月25日改正

平成13年6月23日改正

平成16年6月26日改正



本学は2011年に開学50周年を迎えました。

平成24年度

O.E.C.U. Osaka Electro-Communication University

大阪電気通信大学 募集案内

資料請求・お問い合わせ：入試部

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8 TEL.072-824-1131(代)

e-mail:nyushi@isc.osakac.ac.jp <http://www.osakac.ac.jp>

入試日程

試験種別			学 部	出願期間	試験日	試験会場	可否発表日	入学手続期限
AO入学試験			工学部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部 金融経済学部	郵送出願: 2012年9月24日(月) ～10月3日(水)消印有効	10月13日(土)	本学(寝屋川キャンパス) 本学(四條畷キャンパス)	10月20日(土)	一括:11月2日(金)
クリエイター適性 入学試験			総合情報学部 (Q・W)	【デッサン・作品評価タイプ】 郵送出願: 2012年9月24日(月) ～10月3日(水)消印有効		本学(四條畷キャンパス)		
専門学科・総合学科 特別推薦入学試験			工学部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部 金融経済学部	郵送出願: 2012年10月1日(月) ～10月11日(木)消印有効	10月21日(日)	本学(寝屋川キャンパス)	10月27日(土)	1次:11月9日(金) 2次:11月30日(金)
得意科目セレクト 入学試験			工学部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部 金融経済学部					
公募推薦入学試験 A・B日程			工学部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部 金融経済学部	郵送出願: 2012年10月22日(月) ～10月31日(水)消印有効 窓口出願:11月1日(木)	A日程: 11月10日(土) B日程: 11月11日(日)	A・B 日程 本学(寝屋川キャンパス) 京都・神戸・姫路 和歌山 A日程 広島・高松 B日程 岡山・徳島	11月21日(水)	1次:12月3日(月) 2次:1月11日(金)
一般入学試験	前期	A・B 日程	工学部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部 金融経済学部	郵送出願: 2013年1月10日(木) ～1月21日(月)消印有効 窓口出願:1月22日(火)	A日程: 1月31日(木) B日程: 2月1日(金)	A・B 日程 本学(寝屋川キャンパス) 京都・神戸 和歌山 A日程 東京・金沢・姫路 広島・高松 B日程 名古屋・岡山 徳島・福岡	2月13日(水)	1次:2月22日(金) 2次:3月1日(金)
		センター 方式		郵送出願: 2013年1月10日(木) ～2月1日(金)必着	—	—	2月15日(金)	
	後期		工学部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部 金融経済学部	郵送出願: 2013年2月12日(火) ～2月21日(木)消印有効 窓口出願:2月22日(金)	3月1日(金)	本学(寝屋川キャンパス) 京都・神戸	3月9日(土)	一括:3月14日(木) 必着
		センター 方式		郵送出願: 2013年2月12日(火) ～3月1日(金)必着	—	—		
その他	帰国生徒 (A・B日程)		工学部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部 金融経済学部	郵送出願: 2012年10月22日(月) ～10月31日(水)消印有効 窓口出願:11月1日(木)	A日程: 11月10日(土) B日程: 11月11日(日)	本学(寝屋川キャンパス)	11月21日(水)	1次:12月3日(月) 2次:1月11日(金)
	外国人留学生※ (Ⅰ期A・B日程)		工学部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部 金融経済学部	郵送出願: 2013年1月10日(木) ～1月21日(月)消印有効 窓口出願:1月22日(火)	A日程: 1月31日(木) B日程: 2月1日(金)	本学(寝屋川キャンパス)	2月13日(水)	1次:2月22日(金) 2次:3月1日(金)
	外国人留学生※ (Ⅱ期A・B日程)		工学部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部 金融経済学部	郵送出願: 2013年1月10日(木) ～1月21日(月)消印有効 窓口出願:1月22日(火)	A日程: 1月31日(木) B日程: 2月1日(金)	本学(寝屋川キャンパス)	2月13日(水)	1次:2月22日(金) 2次:3月1日(金)
	社会人 (A・B日程)		工学部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部 金融経済学部	郵送出願: 2013年1月10日(木) ～1月21日(月)消印有効 窓口出願:1月22日(火)	A日程: 1月31日(木) B日程: 2月1日(金)	本学(寝屋川キャンパス)	2月13日(水)	1次:2月22日(金) 2次:3月1日(金)

※「外国人留学生」は窓口出願のみとする。

挑む力

Failure teaches success

叶える力

自分にあったフィールドを見つけよう

大阪電気通信大学には、5学部14学科の挑戦できるフィールドがあります。
あなたに合ったフィールドへ、ナビゲートします。

卒業生・在学生の親族優遇入学制度

大阪電気通信大学(大阪電気通信大学短期大学部)を卒業した方の親族(2親等以内)、または現在在籍する学生の親族(2親等以内)が大阪電気通信大学に入学された場合、入学金相当額の特別奨学金を給付する制度を実施しています。

入学試験成績優秀者奨学制度について

また、大学進学への支援を目的として、奨学入試制度を設けています。この制度は、入学試験成績優秀者奨学制度といい、一般入試【前期A・B日程】および【センター方式前期】において、下記の判定基準を満たす受験生を対象に、入学後4年間、学費を免除するものです。

一般入試：【前期A・B日程】

判定基準：各学科の第1志望合格者の上位5%、
ただし、得点率70%以上の者

対象数：上記基準に基づく総数50名

形態：学費(授業料・維持拡充費・実験/実習料)の全額免除
※入学金・諸会費・教材費は必要となります

期間：入学後4年間(継続審査あり)

継続審査：在籍年度までの総合GPAが所属学科の上位10%以内であること
(ただし、留年とした場合は除く)

一般入試：【センター方式前期】

判定基準：各学科の第1志望合格者で、得点率60%以上の者

対象数：最大40名
(センター方式前期の募集人数と同数)

形態：学費(授業料・維持拡充費・実験/実習料)の半額免除
※入学金・諸会費・教材費は必要となります

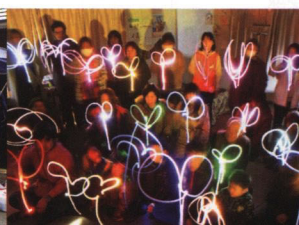
期間：入学後4年間(継続審査あり)

継続審査：在籍年度までの総合GPAが所属学科の上位20%以内であること
(ただし、留年とした場合は除く)

※GPA：大学での学生の成績評価の方法

大阪電気通信大学の 5つの力

●最新のテクノロジーに挑む力 ●夢の実現を支える力 ●ECOにチャレンジする力 ●地域を元気にする力 ●努力する学生を応援する力



YOUR FIELD 01

Faculty of Engineering

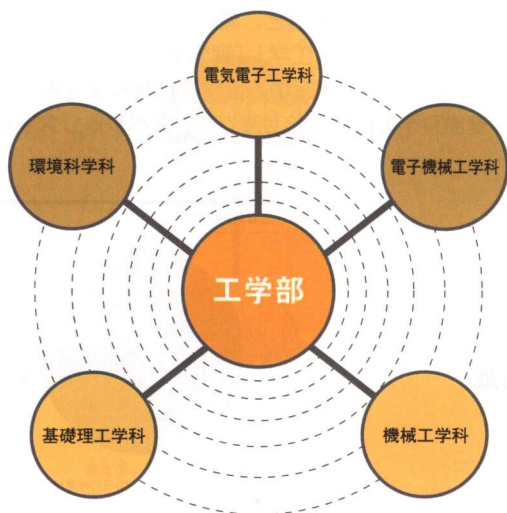
工学部

学びの特長

基礎学力を培い、世界の第一線で活躍できるエンジニアを育てる

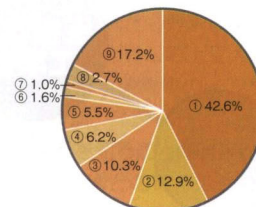


「電気電子工学」「電子機械工学」「機械工学」「基礎理工学」「環境科学」の5系統の学科からなる工学部には、それぞれの関心に応じた学びを選択できる環境があります。どの分野も、基礎学力を培いながら工学の基礎技術から最先端技術まで、向学心を持って学べるカリキュラムで、世界の第一線で活躍できるエンジニアを養成します。



他学科の授業を履修することが可能。
だから最高の技術者をめざすことができるんです。

主な進路 (内訳)



(2007年度～2012年2月末 現在)

YOUR FIELD 02

Faculty of Information and Communication Engineering

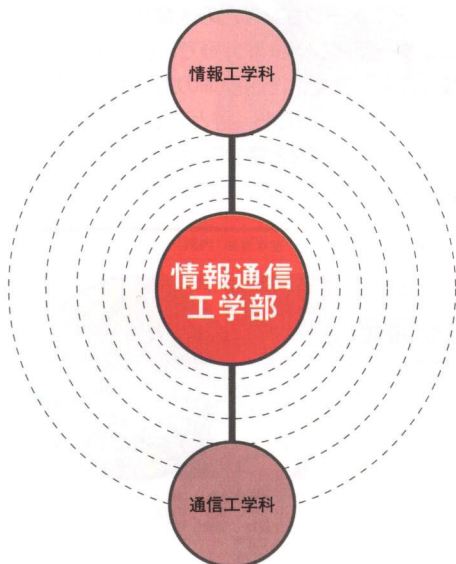
情報通信工学部

学びの特長

新しい「情報と知」の世界を開拓し
ユビキタス社会を切り拓く

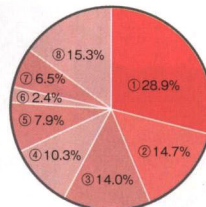


情報工学は、新しい「情報と知」の世界を開拓する最先端領域。ネットワークやソフトウェア開発など幅広い知識を学び、豊かな情報社会に寄与できる人材を育成します。一方、通信工学では、光通信やADSL回線などのブロードバンドの世界を支える通信工学技術を実践的に学び、ユビキタス社会を切り拓くトップリーダーの育成をめざします。



情報工学と通信工学を学んで、
新しいインターネット・システム、
携帯デバイスを作ってみよう。

主な進路 (内訳)



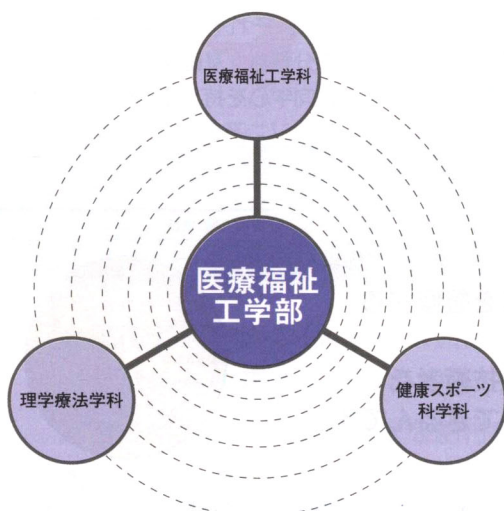
(2008年度～2012年2月末 現在)

Faculty of Biomedical Engineering

医療福祉工学部

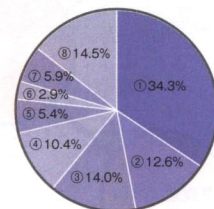
学びの特長

臨床工学技士をはじめ、高い技術力と豊かな人間性のスペシャリストを養成



高度な先端医療技術を用いる医療福祉の現場、リハビリテーションや予防医学、さらには健康科学の分野など、高い専門知識と技術が必要とされる分野を対象に、「医療福祉工学」「理学療法学科」「健康スポーツ科学」の3つの学科を設置。臨床医学、工学、情報科学を複合的に学び、医療福祉や健康科学の最前線で活躍できるスペシャリストを育成します。

主な進路(内訳)



① 医療・福祉	191人	⑥ 公務	16人
② 製造業	70人	⑦ その他業種	33人
③ 卸売・小売業	78人	⑧ 進学	81人
④ サービス業	58人		
⑤ 情報通信業	30人		

(2007年度～2012年2月末 現在)

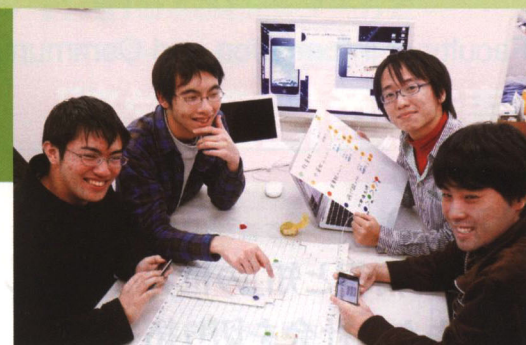
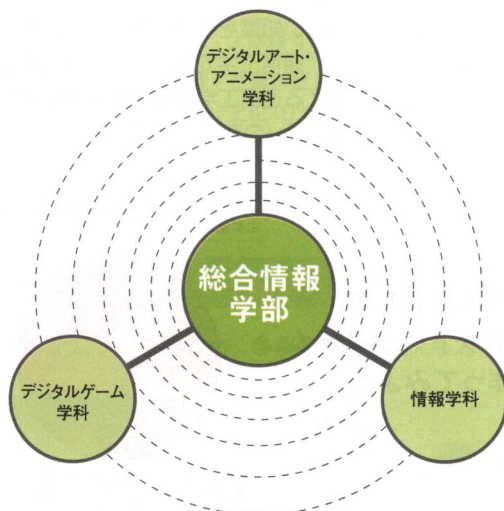
関西5大学連携による「テクノロジーに強い医療人」の育成

Faculty of Information Science and Arts

総合情報学部

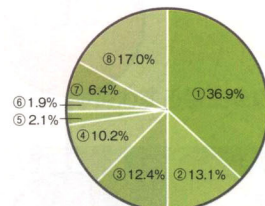
学びの特長

豊かな発想とマネジメント能力を培い、新たなエンターテインメントの創造を



日本が世界をリードするCGアニメーションなどの映像や音楽、デジタルゲームなどのデジタルエンターテインメント分野で、次世代を担う独創的なクリエイターを養成します。また、国際標準のカリキュラムに基づいた実践的な教育で、「いつでも、どこでも、誰とでも」のコビキタス社会に通用する最先端のコンピュータ技術を持つエンジニアを育成します。

主な進路(内訳)



① 情報通信業	365人	⑥ 飲食店・宿泊業	19人
② サービス業	130人	⑦ その他業種	63人
③ 卸売・小売業	123人	⑧ 進学	168人
④ サービス業	101人		
⑤ 建設業	21人		

(2007年度～2012年2月末 現在)

iPhone用ゲームを開発、オンラインストアで世界へ配信中！

Faculty of Financial Economy

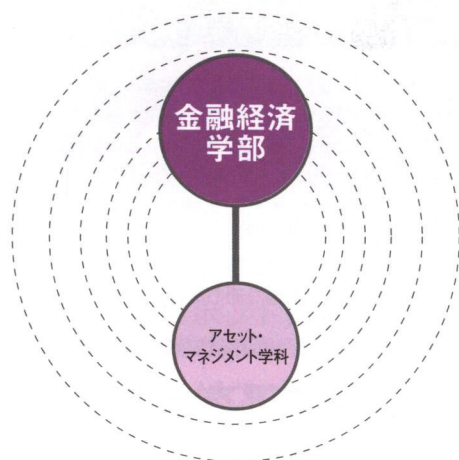
金融経済学部

学びの特長

グローバルな経済社会で活躍できる
資産運用などのプロフェッショナルへ



資産(アセット)を管理・運用するアセット・マネジメント。金融サービスとしてのアセット・マネジメントはその重要性を増してきています。本学部では、金融のグローバル企業と提携し、これまでの経済学では学べなかった“実践型”思考、ITスキルを養いながら、世界経済で活躍できる資産運用などのプロフェッショナルを育成します。

**インターンシップ・プログラム ー実践で何が大切か？ー**

「実践のための学問を！」が本学部の最大の特徴。自分の将来に関連のある就業体験を得る『インターンシップ』は、カリキュラムの上で大きなウエイトを占めています。野村證券を始めとする金融機関のインターンシップ・プログラムに、延べ10人の学生が参加。インターンシップは、新入社員研修そのもの。体験を通して生の現場を知ることが目的なので、現役学生でも「甘え」は許されません。本物の顧客との電話のやりとり、実際の仕事に使用される情報端末の操作など、学生は相当に緊張したはず。体験中、人間関係の構築の重要性に気づいた参加者も多く、これからの大学生活と就職活動に大きな意味をなすでしょう。

大阪電気通信大学の挑戦を支える環境


エデュケーションセンター



図書館



臨床工学実習室



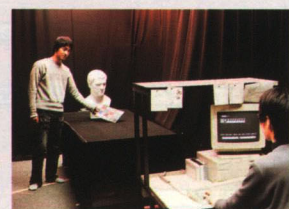
実験センター



物理学実験室



JIAMS 音像編集スタジオ



情報学研究施設



衛星通信研究施設



JIAMS 映像編集スタジオ



JIAMS モーションキャプチャスタジオ



メディアコミュニケーションセンター



コナミホール



全天候型陸上競技場(第2グラウンド)

電気電子工学科

Department of Electrical and Electronic Engineering

* 家電からエネルギーまで
電気と電子の最先端へ

研究室紹介

松浦 秀治 教授
工学博士

「なぜ?を追求するのが勉強・研究の楽しみです」と松浦先生。だから、学生には「実験結果が教科書と違っていても頭から否定しないよう」指導しています。そんな実験結果にこそ大発見が隠れているかもしれないから。



携帯電話もパソコンも分解してみると、半導体のかたまりです。半導体がないと電子機器も家電も自動車も産業機械もつくれません。そんな重要な役割をする半導体の研究や応用を追っているのが松浦研究室です。「熱にも放射線にも強いSiC(シリコンカーバイド)を使った、次世代型半導体電子デバイスの研究に取り組んでいます」と松浦先生。また研究室では、SiCの特性を生かした素子を新たに開発し「蛍光X線検出装置」の実現にも取り組むなど、意欲的な雰囲気が満ちています。

熱にも放射線にも強い、次世代半導体デバイスにチャレンジ。

電子・電気技術の幅広いフィールドで活躍するエンジニアを全力で育成。

電気現象のもとになるのが電子。この極めて小さな電子の性質を理解し、その動きを自由自在に利用するのが電気・電子工学です。

この技術はコンピュータを生み、ロボット制御分野にも応用されています。本学科では[電子・光デバイス][電気・電子回路][計測・制御][情報][電気エネルギー]の5つの分野を配置し、未来を拓く人材を育成します。

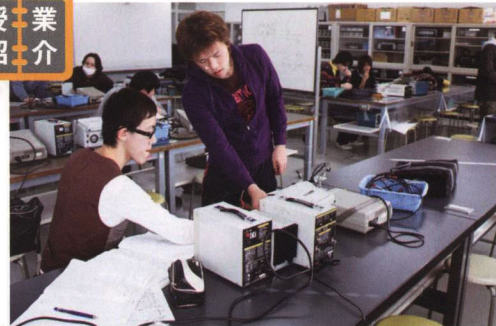
学びのポイント

- 01 有力企業と協力した連携講座によって、産業界で活躍できる技術者を育成し、即戦力となる人材を社会に送り出します。
- 02 5つの専門分野をバランスよく学べるように工夫。カリキュラムに豊富な実験と演習を取り入れて系統的に知識を身につけます。
- 03 ハードウェア(製品)とソフトウェア(コンピュータ)の両方の専門知識を、互いに関連づけ複合的に理解できる学びを追求しています。

将来につながる4年間の実学

1st year >>>> 1年次	2nd year >>>> 2年次	3rd year >>>> 3年次	4th year 4年次	将来の活躍のフィールド
電気数学	固体電子工学	半導体デバイス	卒業研究	○電気・電子技術者 ○情報処理技術者 ○システムエンジニア ○教職
	半導体工学	送配電工学	電気法規と施設管理	
		新エネルギー工学		
		パワーエレクトロニクス		
		パワーエレクトロニクス応用		
基礎電磁気学	電気電子工学実験			
	電気機器	電気電子設計製図		
工学基礎実験	制御工学	ロボット制御		
電気電子工学入門		LSI設計工学		
	デジタル電子回路	デジタル信号処理		
		ハードウェア設計演習		
	画像・映像工学	コンピュータソフトウェア演習		
		知的財産権		
	情報工学・プログラミング演習			
	電気・電子回路			

授業紹介



電気電子工学実験

講義で習得した知識を実験で直接体験し、理解を深めます。実験用装置の取り扱い方法から測定結果の処理まで一連の作業を学び、“ものづくり”の楽しさを体感します。

取得できる資格

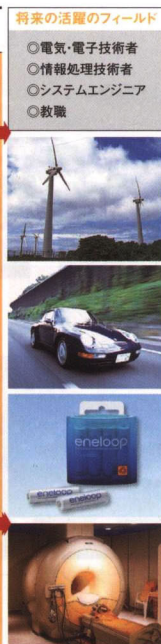
高等学校教諭一種免許状(数学・工業・情報)
中学校教諭一種免許状(数学)

試験科目の免除がある資格

第二種電気工事士

取得をめざす資格

電気主任技術者・基本情報技術者



電子機械工学科

Department of Electro-Mechanical Engineering

* 社会や人に役立つ
ロボットをつくる

研究室紹介

入部 正継 准教授
工学博士

日本を代表するメーカーでロボット研究に携わったあと現職に就く。「志のある学問研究」がモットー。ディスカッションの中から、学生のやりたいことを引き出し、めざすべきゴールを共有する。とにかくやる気いっぱいの先生。

「研究室では、モータがなくても人のように、なめらかに歩くことができる“受動的動歩行ロボット”の開発に挑戦しています。また、この省エネルギーなロボットにモータと太陽電池をのせて、光ある限り歩き続けるロボットもテーマの一つです。」と入部先生。また、入部研究室では歩く人に合わせて自在について来るキャリーバッグ型ロボットの研究・開発も進めています。バッグに携帯用酸素ボンベを載せるなど、医療福祉分野にも貢献できるロボットとして期待されています。

メカトロニクスを学べば、夢を実現するロボットだってつくれます。

メカニクス(機械)とエレクトロニクス(電気・電子)との融合[メカトロニクス]によって生み出された究極のマシン。それがロボットです。

本学科では[電気・電子][機械][計測・制御][情報・コンピュータ]の各分野をバランスよく配置。

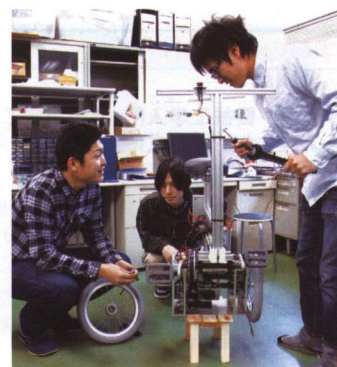
ハードウェアとソフトウェアの両方の専門知識と技術を実践に4年間で身につけ、企業が求める技術者を育成します。

学びのポイント

- 01 4つの工学ジャンルを製図・実験などを通じて専門的に学ぶことで、幅広い産業界での活躍が期待できます。
- 02 専門分野を幅広く学ぶことも、また一つ of 分野を深く掘り下げた学びもできる柔軟なカリキュラムです。
- 03 自分が設計したロボットが思い通りに動く。そんな喜びと、新たな発見を見つけることができる学科です。

将来につながる4年間の実学

1st year >>>> 1年次	2nd year >>>> 2年次	3rd year >>>> 3年次	4th year 4年次
基礎工学 物理学実験	熱工学 材料力学 材料力学演習	プレゼミナール 流体力学 機械モデル論 設計製図 メカトロニクス設計工学 材料工学 電子回路演習 デジタル回路 パワーエレクトロニクス 制御基礎論 システム制御工学	卒業研究 CAD-CAM工学 電子機械情報システム
機械運動学	図学及び製図 工学基礎製図 工作法 電子回路		
電気回路	電気回路演習	メカトロニクス	
	光工学 センシング論	ロボット工学	
	電気実験	電子機械実験	



プレゼミナール

「ロボット製作を通じてエンジニアの資質を伸ばす」

プレゼミとは、4年次に行う『卒業研究』のジャンプ台になる科目で、先生はもちろん4年生の先輩から、3年生に研究の進め方を伝授しています。その一つがロボット製作で、本学では、人を傷つけることなく様々な日常生活をサポートするパワーアシストマニピュレータ、パーソナルモビリティ等、安全で機能性の高い人支援ロボットシステムの研究開発を行っています。プレゼミでは、講義で学んだことを思い出ししながら、手と頭をフルに動かして、設計・電子回路・動作制御・行動プログラミング等が凝縮された高度なロボット製作の基本を学びます。

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(数学・工業)
中学校教諭一種免許状(数学)

取得をめざす資格

機械設計技術者・CAD利用技術者・電気主任技術者
陸上無線技術士・基本情報技術者・ITパスポート

機械工学科

Department of Mechanical Engineering

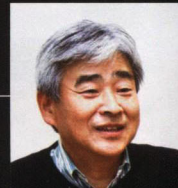
* メカ的设计・開発・製造の
すべてを学ぶ

研究室紹介

宇田 豊 教授

工学博士

光学機器メーカー勤務時代は、超精密機を作る工作機の加工に携わり、H-IIロケットで打ち上げられた望遠鏡のミラーも加工。「ものづくりは人間が楽をするための工夫から始まる」が持論で、その欲望を果たすのが機械工学科だと話す。



研究のテーマを簡単に言うと、面がいかにかまっすぐか、丸いかを測ること。「たとえば、液晶テレビの大型化で一気に需要が高まった液晶パネルをクリアに見るには、表面に凹凸がないことが条件です。そのため、長さ1m以上の画面の真直度(ものがいかにまっすぐであるかを表す指標)を0.1μm以下で測定することが必要ですが、現状では難しいので新しい測定方法の開発に取り組んでいます」と宇田先生。実現を待ち望む企業や大学、公共の研究機関は多いようです。

ものづくりの基礎は計測から！
誇りを持って研究に取り組む。

ものをつくる、その核となるメカを幅広くそして深く学びます。

機械のない工場って想像できますか？ いつの時代でも、機械は産業を支えるもっとも大切な技術です。

つまり、機械工学こそエンジニアリングの基盤であり王者なのです。本学科には機械工学の各分野の優秀な専門家が集結し、基本から高度な応用技術まで、学生一人ひとりに教授しています。

学びのポイント

- 01 機械工学入門、機械創成工学演習、インターンシップなどで構成される「創成体験系」を導入し、学生の学修意欲を高めています。
- 02 設計生産・環境・エネルギー・固体力学・制御情報の各系の専門科目を充実させ、機械設計やCADの資格取得サポートも万全です。
- 03 最先端技術を追究する研究室が多く、スケールの大きなテーマや、学会でもトップクラスの研究に触れる機会に恵まれます。

将来につながる4年間の実学

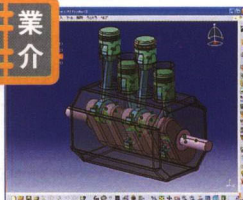
1st year >>>> 1年次	2nd year >>>> 2年次	3rd year >>>> 3年次	4th year 4年次
機械工学入門	CAD実習		
工学基礎製図	機械要素設計		卒業研究
	機械材料科学		工学倫理
工業力学及び演習		機械創成工学演習	流体機械
図学及び製図	材料力学	機械工学実験	エンジン工学
力学・演習	材料力学演習	機械設計製図演習	交通機械工学
基礎電気回路	機械運動学	デジタルイラストレーション	ロボット工学
電気電子工学	機械運動学演習	機械要素設計演習	メカトロニクス
	流体力学		
	流体力学演習	計測工学	
	熱工学		
	熱工学演習		
	制御工学		
	制御工学演習	加工工学	
	電気機器学	機械力学	
		機械力学演習	

将来の活躍のフィールド

- ◎製造業
- ◎ロボット・電車
- ◎自動車・オートバイ関係
- ◎熱学・ナノテクノロジー関係

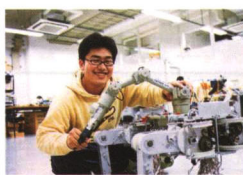


授業紹介



CAD実習

ハイエンド3次元CADシステム「CATIA®」を使い、単にコンピュータ上で設計を行うだけではなく、さまざまなシミュレーションやその解析、多彩な3次元表示によるプレゼンテーション機能、プロダクトサイクル管理、製造現場とダイレクトにデータの共有などを実践。設計から製造までをつなぐエンジニアリングを実現するシステムとして、3次元CADを学びます。



機械工学入門

機械工学科での4年間の学びの流れを理解するために、ロボットや自動車関係の実習を用意。最後にエアホッケーの原理である静圧パッドの実習を行います。さまざまな機械の構造を理解し、それらを動かす醍醐味を知ること、は、これからの学びの動機づけになります。



機械創成工学演習

例えば、「ボールを投げる機械」を課題に、少人数グループで基礎的な力学を応用したメカニズムの企画、設計・製図、部品の調達、製作までを行い、一年の締めくくりとして作品のプレゼンテーションを実施。「ものづくり」の入口である「発想」から出口の「製品の評価」までを一貫して体験します。

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(数学・工業)
中学校教諭一種免許状(数学・技術)

取得をめざす資格

機械設計技術者・CAD利用技術者・ITパスポート

基礎理工学科

Department of Engineering Science

* 自然科学を深く知って
物事を根源から考える生命の元になる元素が宇宙のどこで
生成されたかを解明

研究室紹介

福田 共和 教授
理学博士

さすがは科学者。理論や学説やデータは、そのまま鵜呑みにはせず、必ず自力で納得するまで検証する。「実験で、事前の予想や想像とは違う結果が得られ、そこから新しい物理学の進展が始まるんです」と福田先生。

科学はこれまで、めまぐるしい進化を遂げ、宇宙誕生の仕組みから原子の構造に至るまで、あらゆる不思議を解明してきました。福田研究室では、「原子核物理」という分野に取り組んでいます。研究テーマは、生命の元となる元素や最近携帯電話などに使われて注目を集めているレアメタルや金などの貴金属が、宇宙のどこでどうやって生成されたかという壮大なもの。「原子核物理の知識は、いまやガン治療やPET診断などの高度医療には不可欠なものとなっています」と福田先生。

科学のすごさ、深さ、楽しさを体験して、科学的思考力を養います。

人類の知的財産である[自然科学]を基礎からしっかり学びます。

物理学、数学、化学などの専門知識を獲得すると同時に、それらを生かす理論や技法(モデリングやシミュレーション)を身につけます。

ものごと＝自然現象を“根っこ”から追究・分析する力を養い、産業や教育などの幅広いフィールドで活躍できる人材を育てます。

学びのポイント

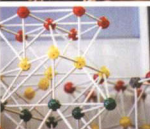
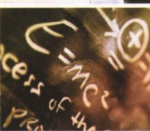
- 01 科学リテラシーを獲得します。科学的な思考をするうえで大切な基本知識を学び“科学の読む・聞く・書く・計算”を身につけます。
- 02 問題発見と解決能力の向上をめざします。獲得した知識を他者に分かりやすく伝えるコミュニケーションとプレゼン能力を磨きます。
- 03 “楽しく学ぶ”を大切にし科学のおもしろさを存分に伝えられる能力を養います。特に数学・理科の教員免許取得を強力にサポートします。

将来につながる4年間の実学

1st year >>>> 1年次	2nd year >>>> 2年次	3rd year >>>> 3年次	4th year 4年次
微分積分・演習	微分方程式	応用フーリエ解析	数理解析
線形代数	離散数学	応用代数学/応用幾何学	
複素数の数学	確率・統計	シミュレーション数学	
物理学1・演習/物理学2	電気回路/電磁気学	計測・データ処理	物性科学
物理学実験	量子物理・化学	光計測工学	量子力学
一般力学	現代物理学入門	シミュレーション物理学	
化学1	化学と生活	分析化学	電気化学
化学2	有機化学	機器分析	
	無機化学	シミュレーション化学	
基礎理工学入門	サイエンス実験/化学実験/応用数学演習	基礎理工学特別講義	
	基礎理工学ゼミナール	卒業研究	

将来の活躍のフィールド

- 数学・理科の教員
- 大学院進学・開発者・研究者
- 科学的思考力を持つプロジェクトリーダー
- 教育・情報産業のクリエイター



授業紹介



確率・統計

さいころ、ポーカー、宝くじのナンバーズ®など、親しみやすいテーマで確率の考え方や計算法を身につけ、それを応用してテレビ視聴率推定の謎などを解きながら、確率的思考法を学びます。



<http://www.kisoriko.jp>
詳しい紹介をご覧になれます。

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(数学・理科)
中学校教諭一種免許状(数学・理科)

環境科学科

Department of Environmental Science

* 機械技術と化学を統合し
環境問題に挑む

研究室紹介

齊藤 安貴子 准教授

博士(学術)



小学校のときにテレビで地球の砂漠化を知り、食い止めたいと農学部へ。「するとバイオテクノロジー、化学生命学の分野へと興味が続いてきました。環境について気になれば迷わず、この世界へ飛び込めば学びはどんどん広がります」

齊藤先生が担当する化学生物学は、食を通じて人間の内部から環境を考えています。研究室では、昔から健康に良いと食されてきた食品に注目。「ポリフェノールなどの自然界の食べ物に存在する化合物から、病気を予防し、副作用の少ないマイルドな医薬品の開発を進めています」と齊藤先生は瞳を輝かせます。また、齊藤先生は日本農芸化学会の農芸化学奨励賞を受賞。今回の受賞には、学生の卒業研究における実験結果が重要な位置をしめ、学生にとっても嬉しい受賞となりました。

自然界の食べ物から病気を予防し
副作用の少ない医薬品を。

ボーダレスな学びで環境科学に挑戦。広いフィールドで活躍する人材を育成。

本学科では、地球と人類が直面する様々な環境問題についての正しい理解と認識を高めるとともに、環境に優しい化学物質の開発とエネルギーの有効利用技術およびバイオマテリアルの探求に関する3コースを軸とした実践的教育を行います。

環境意識が高く、幅広いフィールドで活躍できる人材の育成をめざします。

学びのポイント

- エコ化学コース**
新型二次電池や環境浄化に使われる光触媒などについて、それらを構成する物質を開発できる知識と技術を学びます。
- バイオ化学コース**
植物の生産する物質を使った新しいバイオマテリアルの開発や健康食品の開発などに関わる知識や技術を学びます。
- エネルギー・機械コース**
自然エネルギーを電気に変える発電技術と得られたエネルギーの有効利用技術などに着目し、それを実現する各種機械のシステムについて学びます。

将来につながる4年間の実学

1st year >>> 1年次	2nd year >>> 2年次	3rd year >>> 3年次	4th year 4年次	将来の活躍のフィールド
地球環境の物理 地球環境の化学	共通 水と大気環境学 環境科学実験	リサイクル論 気象観測	卒業研究	○機械・電気機器製造 ○エネルギー産業 ○化学・化粧品 ○医薬品メーカー ○食品関係
環境社会学 物理学 化学 生物	エコ化学コース 有機・無機化学 化学実験 機器分析 電気化学	環境と電池 エネルギー化学 エコ化学実験	ナノ化学	
物理学実験 生活化学実験 コンピューターグラフィックス プログラミング演習	バイオ化学コース 有機・無機化学 高分子化学 生化学 化学実験	化学生物学 食品化学 バイオマス利用学 バイオ化学実験	数理生物学	
外国語	エネルギー・機械コース 流体力学 熱力学 電気実験 機械製図・CAD	エネルギー変換工学 エネルギー機械実験 機械力学	設計工学	

授業紹介



環境科学実験

環境に関連する広範囲な分野の実験・実習を受講し、2年後期のコース選択に繋げる必修科目です。2011年にオープンした環境科学科の「エコラボ」の各種設備を使用し、マンガン乾電池の製作やアミノ酸分析など化学系の実験から、太陽電池や燃料電池などの発電機器に関する電気系の実験、さらには旋盤やフライス盤などの工作機械を使用した機械系の実習も行います。

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(理科・工業)
中学校教諭一種免許状(理科・技術)

取得をめざす資格

公害防止管理者(水質関係第一種)
エネルギー管理士・気象予報士
eco検定(環境社会検定)・CAD利用技術者

情報工学科

Department of Engineering Informatics

* コンピュータを使って
情報を社会に活かす人間には見えないものを
見る“テクノロジーの目”の研究に挑む。

研究室紹介

来海 暁 教授
工学博士

「情報を、いかにうまく仕組みを作って、どう取り出すか、これがセンシングの面白さですね」。研究室の学生には「時間と努力を使ってコツコツやりなさい」とつねにアドバイス。つまり、楽をするために努力をしましょう！

もし、これは本物のブランド品、これは偽物とすぐに見分けられる装置があれば、とても役立ちます。もし、野菜や果物の熟れぐあいを、正確にスピーディに判断できる装置があれば、とても便利です。来海研究室では、人間の目では見えないものを見る“テクノロジーの目”の研究に取り組んでいます。「物の外から情報を獲得する素子・センサの構造や、使い方を研究しています。目標は物の立体、色、動き、材質といった情報を高精度でしかもすばやく取り出すことです。」と来海先生。

武器はコンピュータ。キーワードは情報。しなやかな専門性を磨きます。

コンピュータという素晴らしい道具を使いこなし、人間の知的活動のために[情報]を“発生・伝達・収集・蓄積・処理する”先進の理論と技術を追究する場、それが情報工学科です。

したがって、人工知能、パターン認識、視覚情報学、認知科学、インターネット、データベース、コンピュータグラフィックスなど、学びの対象は実に多種多様です。

学びのポイント

- 01 1年・2年次で核となる情報工学入門、コンピュータ工学、基礎電気回路などをしっかり学び、情報工学に関する意識を高めます。
- 02 豊富に開講されている専門科目群から自由に選べます。自分の興味や将来のキャリアを考えて、自分でつくるカリキュラムです。
- 03 将来の進路に対応した[情報基盤技術系分野][情報メディア系分野][人間科学系分野]の複数の履修モデルを用意。

将来につながる4年間の実学

1st year >>>> 1年次	2nd year >>>> 2年次	3rd year >>>> 3年次	4th year 4年次	将来の活躍のフィールド
情報工学入門	Cプログラミング	アルゴリズム設計論	卒業研究	○ソフトウェア開発
情報工学概論	Cプログラミング演習	信号処理学	オートマトンと計算論	○システム・ネットワーク開発
Cプログラミング入門	コンピュータ応用演習	画像工学	情報特許論	○グラフィックス・マルチメディア
Cプログラミング入門演習	論理回路	認知科学	コンピュータグラフィックス	○情報教育
コンピュータ基礎演習	基礎電子回路	人間工学	バイオ情報学	
コンピュータ工学	電子基礎実験	情報工学実験	オペレーションズリサーチ	
基礎電気回路	オペレーティングシステム	ソフトウェア工学	データマイニング	
	コンピュータハードウェア	組み込みシステム論	光情報処理	
	プログラミング言語学	情報セキュリティ工学		
	アルゴリズム基礎論	パターン情報処理		
	コンパイラ基礎論	音声・言語情報処理		
	情報科学英語	人工知能		
		品質管理		
	ネットワーク工学			
	コンピュータアーキテクチャ			

! 資格取得
License

基本情報技術者

応用情報技術者



井保 貴之さん

情報工学科 4年
[滋賀県 高島高校 出身]
株式会社日本総研情報サービス 内定就職
内定

IT関係の企業をめざし、システム運用、開発に欠かせない両資格を取得。合格の秘訣はレベルの高い先生の授業が受けられたこと。次は情報セキュリティスペシャリスト試験(国家試験)に挑戦します。

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(数学・工業・情報)
中学校教諭一種免許状(数学)

関連する資格

応用情報技術者・基本情報技術者・CGエンジニア検定

通信工学科

Department of Telecommunications and Computer Networks

* 次世代のネットワークを
になう本物のプロになる

「あと3年以内に、すべての通信を光で」を目標に
研究に拍車がかかる。

研究室紹介

村上 泰司 教授
工学博士

光通信技術のパイオニアの一人。海のものとも山の
ものとも分らない頃から「光の時代がくる」と確信。
学生には「エンジニアになりたい!」と気概を持ってど
激励。



「電波のままなのは携帯電話ぐらいで、あとはすべて光通信に
置き換わるかもしれません」と村上先生。大量の情報を高速で
安定的に通信ができる光通信は、電波通信よりも格段に優れ
ています。しかし、すべて光だけで通信するためには、いくつ
かの難しい技術的な課題も残されています。「電波と同じく光
も遠くにいけばいくほど弱くなる。そこで、光を光のまま世界
中に届けるための研究として学生たちと、光パケット交換器や
光増幅器の研究に取り組んでいるわけです」。

ネットワーク通信の未来を築く次世代エンジニアを育成します。

世界はネットワークで結ばれる。そして時代はいつでも・どこでも・誰とでも“つながる”ユビキタス・ネットワークへ。

21世紀の通信技術の発展と普及にチャレンジする技術者を育成する通信工学科で[ブロードバンド系][インターネット系][マルチメディア系]
の3分野から“やりたい事・なりた自分”を見つけてください。

学びのポイント

- 01 携帯電話、インターネットに代表される情報伝達技術やコンピュータを中心とする情報処理技術を系統的に修得できます。
- 02 光通信、移動体通信、衛星通信などブロードバンド情報通信に関する講義が充実。将来に備え国家資格取得も万全サポートします。
- 03 インターネットサーバ、ルータ経路制御技術、認証・暗号化通信実験、画像処理、マルチメディア工学など多彩なカリキュラムを用意。

将来につながる4年間の実学

1st year >>>> 1年次	2nd year >>>> 2年次	3rd year >>>> 3年次	4th year 4年次	将来の活躍のフィールド
情報通信工学入門	計測工学	伝送線路工学	卒業研究	無線技術者 電気通信技術者 システムエンジニア ネットワークエンジニア
基礎電磁気学	電子回路	パルス回路	電波法規	
基礎電気回路	電磁気学	電磁波工学		
		LSI工学		
	固体電子工学			
電気回路	情報伝送工学			
	情報通信理論	ネットワーク工学		
	基礎計算機工学	情報交換工学		
	計算機工学			
	ソフトウェア工学	光通信工学		
プログラミング基礎演習	コンピュータ演習	コンピュータ応用演習		
工学基礎実験	情報通信工学実験			
		マルチメディア工学		
		情報セキュリティ		
		光エレクトロニクス		
		移動通信工学		

! 資格取得
License

第一級陸上無線技術士(国家資格)

無線従事者免許の最高峰の資格。有資格者は官公庁や放送局、携帯電話会社など無線を使用するすべての業種において、非常にニーズの高い専門職が狙えます。通信工学科の所定の授業単位を修得することで、4科目の試験科目のうち1科目が免除されます。また、専門の教授が対策講座を開講し、資格取得をめざします。

電気通信主任技術者(国家資格)

電気通信ネットワークの維持・管理、工事を行う専門職。例えばNTTなど通信関連分野を支える専門職に必要とされる資格です。通信工学科の所定の授業単位を修得することで、4科目の試験科目のうち1科目が免除されます。

第一級陸上特殊無線技術士(国家資格)

携帯電話基地局や衛星通信などの無線通信設備の技術操作や保守などに従事する際に必要となる資格です。通信工学科の所定の授業単位を修得するだけで、卒業時にこの資格が得られます。

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(数学・工業・情報)
中学校教諭一種免許状(数学)・陸上特殊無線技術士(第一級)
海上特殊無線技術士(第三級)

試験科目の免除がある資格

陸上無線技術士(第一級)・電気通信主任技術者

関連する資格

工事担任者・基本情報技術者・ITパスポート

医療福祉工学科

Department of Biomedical Engineering

* ハイテク医療・福祉機器
の開発や医療現場で
活躍するエキスパート



環境にやさしく、殺菌や消毒に威力を発揮する
機能水の研究に挑む。

研究室紹介

海本 浩一 教授
工学博士・臨床工学技士・薬剤師



専門は透析療法、医療過誤などの臨床工学。「でも学生の人気は機能水に集中」と、先生少々浮かぬ顔？学生たちとのコミュニケーションは良好で研究室内は明るい。先生の部屋にはなぜかワインセラーが完備。

海本研究室では、医療現場だけでなく家庭の衛生に大いに役立つ「機能水」の研究に取り組んでいます。「水道水を弱い直流電圧で電解処理をすると、強力な殺菌力をもつ機能水に変化します。しかも元の普通の水にも戻すことができるので環境にもやさしい。目標は、家庭でも使えるコンパクトな装置を製品化し、世界の洗浄・殺菌・消毒の現状に革命を起こすことです」と海本先生。また、細菌培養と殺菌効果を遺伝子レベルで解析する研究にも着手し、さらに高度な応用を狙っています。

生命を救い、人をケアする臨床医工学・生命情報・健康福祉を学ぶ！

ハイテク医療・福祉機器の開発現場から医療機関や福祉現場で活躍できる高度な人材を育成する学科です。

医療機関ならびに医療機器産業は景気に左右されない超安定分野。

今後、超高齢社会での予防医療や医療機器・福祉機器のニーズは高まると予想されています。

学びのポイント

01 医療・福祉機器の開発の基礎となる医学、工学、“ものづくり”を体験。基礎医学実習、プログラミング基礎演習、マイコンロボット製作を実施。

02 未来の医療を見据え臨床工学・情報学が学べる“ぜいたくなカリキュラム”ハイテクに強い医療人(臨床工学技士)、医学知識を持つエンジニアを育成。

03 いつでもどこでもマイペースで学習ができる「e-learningシステム」。資格取得にも効果絶大。臨床工学技士国家試験の合格率は過去7年間で95.3%。



資格取得
License

2005年度・2006年度・2008年度
臨床工学士
合格率 100%
学科開設以来連続
臨床工学士
進路決定率 100%

臨床工学技士(国家資格)、医療・福祉ロボット開発をめざす3つのステップ

Step 1 モチベーションを喚起！臨床医工学の基礎をやさしく学ぶ初頭教育科目

1年次に先端医療・福祉機器の紹介、教授陣が一人ひとり専門分野を紹介。在学中に何を学び、どのように役立つかを経験に基づき講義。また、数学、物理学、化学、生物学を復習しながら確かなものとし、臨床医工学、医療・福祉機器の基礎をやさしく教授します。

Step 2 目標へのステップ！医学系、臨床工学系、医療情報系、福祉ロボット系、基礎工学系の科目群から進路に応じて選択

解剖学や生理学の医学知識をもったバイオエンジニア、ハイテクに強い医療人(臨床工学技士)の育成のための医学系、医療情報系、基礎工学系の専門科目を配当。臨床工学や福祉ロボットなどの高度な医療・福祉機器の開発に対応できる専門教育を行います。

Step 3 将来に向けてジャンプ！臨床工学技士、医療・福祉機器開発エンジニア、医療情報技術者をめざした専門教育

医療・福祉機器のスペシャリストをめざすために演習・実習を重ね、実践力を修得。臨床工学技士をめざし高度医療機関での臨床実習を実施。さらに、資格取得を強力にサポートし、習熟度に合わせいつでもどこでも学習できるe-learningコンテンツも充実しています。

将来につながる4年間の実学

1st year >>> 1年次	2nd year >>> 2年次	3rd year >>> 3年次	4th year 4年次	将来の活躍のフィールド
			卒業研究	- 臨床工学技士 - 医療・福祉ロボット - 病院・介護施設 - 医療機器メーカー
医学系 解剖学・生理学 基礎医学実習	生化学・薬理学・免疫学 臨床医学総論・病理学 臨床生理学 医学概論と臨床医工学	看護学と介護予防 臨床医学総論 生体計測装置学実習	臨床実習	
臨床工学系 健康と化学	医用物理学・医用機器学 医学概論と臨床医工学 公衆衛生学・医療関係法規	医用画像診断装置学 医用機器安全管理学実習	医用治療機器学実習 生体機能代行装置学実習	
医療情報系 情報工学基礎論 コンピュータリテラシー プログラミング基礎演習	プログラミング応用演習 医療情報学・情報セキュリティ 基礎生体計測装置学	Webデザイン演習 データベース論 医療情報システム実習	医療統計学実習	
福祉ロボット系 機械工学概論	リハビリテーション工学 バリアフリー設計論 組み込みソフトウェア演習	マイコン制御プログラミング演習 ヒト型ロボット製作実習 福祉住環境特別実習 身体運動機能再建工学 インターフェースデザイン	ロボット創造設計学	
基礎工学系 電気回路学・電気基礎理論	電子回路学・電子工学実験 計測工学・システム工学 材料力学・流体力学	電気電子回路演習 制御機器工学		

受験資格を取得できる資格

臨床工学技士

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(数学・工業・情報)
中学校教諭一種免許状(数学)

※「臨床工学技士養成課程」と「教職課程」とを併修することは難しい場合があります。

関連する資格

ME技術実力検定・医療情報技師・バイオ技術者認定
福祉住環境コーディネーター®・基本情報技術者

理学療法学科

Department of Physical Therapy

* 人の身体と医療機器に
詳しい理学療法士

研究室紹介

吉田 正樹 教授

工学博士

「なんでも体験してみよう」が研究室のモットー。制御工学や医用生体工学、福祉支援工学が専門で、これまで多くの理学療法士を育成。吉田先生いわく「数学や物理はあくまで道具。心配はいりません」。



人の体の揺れぐあいを調べる研究・開発をしています。その一つが市販のゲーム機のボードを活用した「重心動揺計」です。いろんな条件のもと被験者の揺れぐあいを測定し、リハビリや医療に役立てるのが狙い。「医療用もありますが値段が高い。だったら自分たちでオリジナルを作ろうということになりました。現在、専用ソフトの開発も目途がついています」と吉田先生。吉田研究室では学生一人・1テーマが原則。理学療法士の枠にとどまらない個性的な学生が集うにぎやかな研究室です。

人の体を傷つけずに
外から体の中を測る方法を独自研究。

実際の理学療法を“知り尽くした理学療法士”が直接、指導します。

人の動作機能を回復させ、社会復帰をうながす理学療法士(PT)。

医療技術と医療機器の高度化にともないPTに求められる知識・技能もハイレベルになっています。PTに必要な医学知識に加えて、本学ならではの工学系カリキュラムをもとに医療機器をも使いこなせるスキルを修得し、実際の理学療法に活かせる実践力と応用力を養います。

学びのポイント

- 01 理学療法は実践の学問です。そのため実習や演習の時間を豊富に設けています。現場での経験を自分のものにする技能を身につけます。
- 02 臨床経験豊かな理学療法士、医師、工学博士、学術博士などの教員が、学生一人ひとりに語りかけるように教育指導しています。
- 03 早期から始まる国家試験対策で学生をサポート。人間性をぐくみ職業倫理をしっかり持つ優秀な理学療法士を全力で育てます。

将来につながる4年間の実学

1st year >>> 1年次	2nd year >>> 2年次	3rd year >>> 3年次	4th year 4年次
生理学		運動系理学療法学演習	卒業研究
解剖学		神経系理学療法学演習	
基礎医学実習		呼吸循環系理学療法学	
機能解剖学演習		小児系理学療法学演習	
理学療法学概論		スポーツ系理学療法学演習	
障害学概論		老年系理学療法学演習	
運動学演習			
	臨床医学	臨床理学療法学演習	
	臨床心理学	総合理学療法学特論	
	義肢装具学演習	総合技術特別実習	
	日常生活活動学		
	福祉環境デザイン論		
	理学療法評価学演習		
	物理療法学演習		
	運動療法学		
		臨床実習	

将来の活躍のフィールド

- 教育・研究・行政関係施設
- 病院・介護施設
- 健康産業・スポーツ施設
- 医療機器メーカー



スポーツリハビリテーション

一般のリハビリテーションが日常生活への復帰を目標とするのに対し、スポーツ活動への復帰を目標とするのがスポーツリハビリテーション。競技スポーツへの復帰はアスレチックリハビリテーションとも呼ばれています。復帰をめざす競技の特性に合ったリハビリプログラムの検討やパフォーマンス向上のための手法などを学習します。

受験資格を取得できる資格

理学療法士

理学療法士進路決定率
3年連続100%

2011年度本学受験者

国家試験合格率
(34名受験32名合格) **94.1%**

快挙

健康スポーツ科学科

Department of Health and Sports Science

* 人々の健康増進や
スポーツの発展をめざす体に負担をかけず筋肉に負荷をかけ
楽しみながら筋力アップ

研究室紹介

大石 利光 教授



前 株式会社コナミスポーツ&ライフ社長。エンジニアとしてフィットネスマシンや人気のゲーム機から家庭用コントローラーまで、手がけた機器は数えきれない。「24時間設計図のことを考えているのか、夢の中で計算間違いに気づくことも度々。だから無心になれる「釣り」が趣味」だそう。

スポーツが体に与える効果を科学的に分析し、フィットネス商品や健康管理システムを研究開発。その一つが高齢者向けの健康増進マシンです。「筋力強化を図るには、ダッシュや全力疾走のような無酸素運動で筋肉に負荷をかけるのが効果的ですが、高齢者には体への負担が大きいため、効率よく安全に負荷をかけるマシンを開発中。さらに結果を数値で表せば、楽しみながら健康管理ができるはず。完成すると世界初の画期的な商品になりますよ」と大石先生は話します。

健康・スポーツ分野で活躍できるスペシャリストを育成します。

科学の目で健康とスポーツをとらえ、医学、栄養学、工学、情報、運動学、教育学、実技などの専門分野から、新たな研究と実践をめざす、いま注目の学科です。

具体的には、生活習慣病の予防や生活の質の向上に取り組める人材、スポーツ選手の指導者、保健体育教諭、メーカーでの機器開発スタッフなどのスペシャリストを育成します。

学びのポイント

01 運動と栄養のバランスをとり、人々の健康維持・増進に取り組める、高度な専門知識と専門技能を4年間で確実に学びます。

02 [生体計測学実習]や[運動生理学実習]を通じて、学生は“科学分析方法”の理論とスキルを身につけることができます。

03 株式会社コナミスポーツ&ライフとの連携によって、実際のスポーツクラブでの実習や研究成果の活用を体験できます。

将来につながる4年間の実学

1st year >>> 1年次	2nd year >>> 2年次	3rd year >>> 3年次	4th year 4年次
機能解剖学	神経科学	スポーツ医学・救急処置	卒業研究 動作解析・シミュレーション実習
スポーツコンディショニング	運動生理学	精神医学	生体計測学実習
エアロビック運動の科学 生活習慣病・健康管理概論	リハビリテーション工学	運動療法学 運動生理学実習	
器械運動 バレーボール ソフトボール スポーツトレーニング	栄養摂取と運動 体力測定と評価 健康づくり運動の理論と施策 陸上競技 バスケットボール テニス エアロビックダンス スキースノーボード・野外活動	創作ダンス 武道 障害者スポーツ 学校保健 健康運動指導実習	
	体育心理学		

将来の活躍のフィールド

- 保健体育教諭(中学・高校)
- エクササイズインストラクター
- スポーツ用品メーカー
- 公務員(地域健康、体育振興など)



資格取得

License

中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)

所定科目の単位を履修し申請すれば、卒業と同時に取得できます。教科に対する専門的知識だけでなく、広く豊かな教養を兼ね備え、生徒に対して愛情を持った実践指導ができる資質能力を養います。

健康運動指導士

保健医療関係者と連携し、安全で効果的な運動を実施するためのプログラムの作成や、実践指導計画の調整をするもので、所定の科目・単位を取得すれば、卒業時に受験資格が得られます。

ジュニアスポーツ指導員

地域スポーツクラブなどにおいて、幼少年期の子どもたちに遊びを通じた身体づくり、動きづくりの指導を行うことができます。所定の単位を取得すれば卒業時にその検定試験の受験資格取得が可能です。

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(保健体育)
中学校教諭一種免許状(保健体育)・スポーツリーダー

受験資格を取得できる資格

健康運動指導士・健康運動実践指導者
ジュニアスポーツ指導員

講習・試験科目の免除がある資格

指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチ・教師・上級教師
スポーツプログラマー・アスレティックトレーナー
スポーツ栄養士・アシスタントマネージャー・クラブマネージャー
など、日本体育協会認定の各指導者資格

デジタルアート・アニメーション学科

Department of Digital Art and Animation

* 自分らしさを
芸術文化産業で活かす

研究室紹介

ナガタタケシ 准教授

アーティスト

映像制作会社に入社。機動戦士ガンダムシードなどのCGディレクターを務める。第10回文化庁メディア芸術祭優秀賞など、多くの受賞歴をもつ。「自分の好きなことを、トコトン突き詰めてください」と若者にアドバイス。



ナガタ研究室では、実写、アニメーション、写真、CGなど複数の技法をミックスして新しい表現を発見しようとしています。なかには実写だけによる映画制作に取り組む学生たちもいて、卒業制作はとてバラエティ豊かです。「異なる技法を複数組み合わせたからといって、いつも新しい表現や世界が生まれるとは限らない。期待どおりの“化学反応”が起きないことも多いんですよ」とナガタ先生。それだけに新しい世界が開けたときの喜びはとて大きいわけです。

いろんな技法をミックスして、
これまでにない新しい表現を開拓します。

創造力と技術力に加え、社会性を身につけたデジタルクリエイターを育てます。

芸術文化産業の世界で、長く活躍できる人材を育成します。

[マネジメント] [アート] [アニメーション]の3つのジャンルから、独自のカリキュラムを編成。

デジタルエンターテインメントの企画・プロデュースからコンテンツ制作まで、それぞれの専門性・独創性を追究すると同時に、コミュニケーション能力に磨きをかけ将来に備えます。

学びのポイント

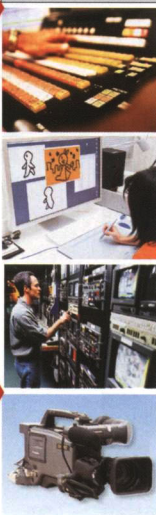
- 01 個人からグループ制作まで体験し、一人ひとりの学生が、自らの独創性や自分らしさを見つけ成長できる学びを実現しています。
- 02 プロのクリエイターが使う最新鋭の機器や設備を提供し、専門分野での「技術性」を納得いくまで追究できる環境を整えました。
- 03 学外のプロと連携した人材育成を重視。四條畷キャンパスのJIAMSでは、本物の仕事を全身で体験しながら社会性を養います。

将来につながる4年間の実学

1st year >>>> 1年次	2nd year >>>> 2年次	3rd year >>>> 3年次	4th year 4年次
キャリアデザイン メディアリテラシー Webメディア演習	コンテンツ開発演習 ミクストメディア演習	ミクストメディア表現論	卒業研究 卒業制作
視覚表現論 視覚表現演習	立体アニメーション演習		
サウンドデザイン演習 静物デッサン 色彩構成演習			
3DCGアニメーション演習		テクニカル技法演習 モーションエフェクト技法演習	
デザイン概論 アニメーション概論 映像理論 音楽理論	プランニング演習1 プログラミング演習	コミュニケーションデザイン演習 インタラクティブコンテンツ演習	
	映像制作 音楽制作演習 セルアニメーション		

将来の活躍のフィールド

- CGアニメーター
- サウンドクリエイター
- グラフィックデザイナー
- 映像クリエイター



先輩たちの活躍

Student file

先輩から技術を学び、
大学から自由な環境と
チャンスを得られました。

お名前 大對 千明さん

本学大学院デジタルアート・アニメーション学専攻 2年
2010年3月 総合情報学部デジタルアート・アニメーション学科 卒業
[兵庫県 篠山鳳鳴高校 出身]

就職
内定

CG(コンピュータグラフィックス)の中でも特に入れ込んだのは、ディフォルメされたキャラクターデザイン。大学は制作に必要な施設が充実している上に、自由に使えることがプラスになりました。内定を得た株式会



社アバンは、東京を中心に展開しているクリエイター集団。学生の間で得られた知識と経験を基礎に、多くの仕事と刺激に出会いたいです。

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(情報)

関連する資格

CGクリエイター検定・CGエンジニア検定
マルチメディア検定・色彩検定®・ITパスポート

デジタルゲーム学科

Department of Digital Games

* エンターテインメントから
社会に役立つゲームまで

ゲーム制作の企画もハードもソフトもデザインも、
全部、学生がやります。

研究室紹介

高見 友幸 教授
工学博士

研究室には世界最大級のマルチタッチテーブルがある。「これ作ったんですよ」と高見先生。このようなハードとソフトとアートをつなげたモノづくりが専門。研究室からは、いろんな大会で受賞する優秀な学生を輩出。

「昔は一人のクリエイターがゲームを作っていましたね。そのころの方が良いものがあったようです」と高見先生。だから研究室では原則として学生が企画・ハードウェア・プログラミング・デザインなどすべてを担い、作品全体を完成させることになっています。たとえば4年生の学生が製作した「マルチタッチテーブルを活用した合奏ゲームアプリ」(写真参照)も、高見先生や大学院生のサポートを受けながら単独で作り上げた。先生は学生の好きなようにさせる方針。「既存の考えから脱却する」といいます。

遊びを超えて、多彩に広がるデジタルゲームの可能性を拓きます！

テクノロジーとアートが、ドラマティックに出会うデジタルゲームの世界。

本学科では、コンピュータサイエンスの基礎、高度なプログラミング、3DCGやサウンドの表現技能を総合的に学び、革新的なデジタル・コンテンツ(作品)や、生活を豊かにする新たなツールを創造できる人材を育成します。

学びのポイント

- 01 デジタルゲーム制作を軸に工学、ソフトウェア、デザイン、アニメーション、企画・シナリオ、マネジメントなど多彩な科目を展開。
- 02 必修の[Career]科目群に加えて、5つの領域に分類された科目群から2つを自由に選択。自分だけのカリキュラムが組み立てられます。
- 03 学年の枠や専門の違いを超えてチームを結成し、ゲームコンテンツを制作するグループワークで実践的な技術を身につけていきます。

将来につながる4年間の実学

1st year >>>> 1年次	2nd year >>>> 2年次	3rd year >>>> 3年次	4th year 4年次
【必修】Career ゲームと社会の接点を深める科目群 ゲーム学 知的所有権 プロジェクト実習1	【必修】Career ゲームと社会の接点を深める科目群 ゲームの社会学 コミュニケーション技法 プロジェクト実習2	【必修】Career ゲームと社会の接点を深める科目群 キャリアプランニング プレゼミ ゼミナール	卒業制作 卒業研究
【選択】Development ソフトウェア開発の技を究める科目群 オブジェクト指向プログラミング演習1 ゲーム制作入門演習 ゲームの数学1	【選択】Development ソフトウェア開発の技を究める科目群 オブジェクト指向プログラミング演習2 情報通信論 データ構造とアルゴリズム	【選択】Development ソフトウェア開発の技を究める科目群 3Dゲームプログラミング演習 ゲームと人工知能 情報セキュリティ	
【選択】System ハードウェアと工学の最先端に触れる科目群 ゲーム工学概論 デジタル回路基礎 論理・離散数学	【選択】System ハードウェアと工学の最先端に触れる科目群 コンピュータアーキテクチャ デジタルインタフェース 人間工学	【選択】System ハードウェアと工学の最先端に触れる科目群 ゲームインタフェース演習 ゲームセンサー論 コンピュータハードウェア	
【選択】Art & Design 芸術とデザインの表現を磨く科目群 グラフィックデザイン演習 デジタル造形 デッサンの基礎・演習	【選択】Art & Design 芸術とデザインの表現を磨く科目群 ゲームデザイン コンセプトメイキング デザイン基礎	【選択】Art & Design 芸術とデザインの表現を磨く科目群 Webデザイン演習 キャラクターデザイン プロダクトデザイン演習	
【選択】Graphics 独自のCGやアニメーションで魅せる科目群 コンピュータグラフィックス基礎論 スクリプトプログラミング入門演習 2Dグラフィックス演習	【選択】Graphics 独自のCGやアニメーションで魅せる科目群 エディトリアルデザイン演習 3Dグラフィックス演習1 2DCGアニメーション演習	【選択】Graphics 独自のCGやアニメーションで魅せる科目群 3Dグラフィックス演習2 3DCGアニメーション演習 モーションプログラミング演習	
【選択】Produce 企画とマネジメントの感性を磨く科目群 コンピュータ入門 メディアビジネス論 問題解決の基礎	【選択】Produce 企画とマネジメントの感性を磨く科目群 ゲームシナリオ ゲーム評価法演習 マーケティング論	【選択】Produce 企画とマネジメントの感性を磨く科目群 ゲームと教育 ゲームマネジメント メディアプロデュース演習	



先輩たちの活躍

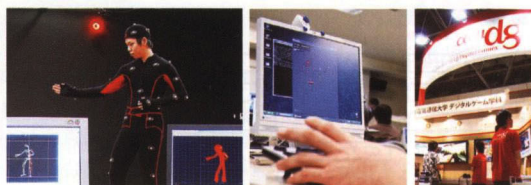
Student file

任天堂株式会社に内定。
リハビリに役立つゲームを
どんどん生み出したい。

梅原 明宏さん

デジタルゲーム学科 4年
[京都府 西城陽高校 出身]就職
内定

高品質の3D・CGゲームを2週間でつくり上げた経験があり、そのことを面接でプレゼンテーションし、評価していただいたと思っています。3Dでキャラクターを創造する授業課題では、モーションを加えることでより魅力的なものにするなど、常に学んだ内容を発展させるよう意識して制作していました。また、外部機関と連携して、手足が不自由な人向けのリハビリ用ゲーム開発にあたるなど、学外での活動にも意欲的に取り組み、良い刺激を受けることができました。



取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(情報)

関連する資格

CGクリエイター検定・CGエンジニア検定
マルチメディア検定エキスパート・色彩検定®
基本情報技術者・ITパスポート

情報学科

Department of Computer Science

* 日々進歩する情報学を
学び社会に羽ばたく

(2013年4月、メディアコンピュータシステム学科より名称変更予定)

研究室紹介

大西 克彦 准教授

博士(工学)



コンピュータに興味を持ったのは小学生の頃。「初めて作ったゲームが友だちに大好評で、この世界にのめり込むようになりました。今もコンピュータは目覚ましく進化し、人間に近づいていると思うワクワクします」

「子どもから高齢者まで簡単に、手のひらで使いこなせるコンピュータがあれば…。こんな願いからスタートしたのが大西先生の研究室です。現在、スマートフォンを利用して1台でどんなシチュエーションでも使える携帯用ナビゲーションを開発中。「車や自転車、歩行者など、速度や経路など全く違う環境でも自動的に案内が切り替わる。たとえば歩行者が使う場合、階段や段差のある場所ではマップが拡大表示され、わかりやすいだけでなく安全に歩けるよう導いてくれる優れモノです」と大西先生。実現は目前のようです。



ありそうでない！？
みんなが簡単に使えるコンピュータを開発。

スマートフォン、ソーシャルネットワーキング新時代の情報技術を切り開く

日々進歩する情報学を学ぶために、本学科には2つのコースがあります。

コンピュータサイエンスコースは、JABEEに認定されたコースになっており、情報システムや情報ネットワークなどを扱う情報処理のスペシャリストを育成します。デジタルメディアコースでは、コンピュータグラフィックスやウェブデザインなどのデジタルコンテンツのデザイン、マネージメントなどを学び、高度情報化社会で羽ばたく人材を育成します。

学びのポイント

- 1年次からの情報社会科目とITキャリア形成科目、3年次での卒業研究で、就職活動の前に社会や経済に関する知見と実践力を身につけます。
- スマートフォンやロボットを題材とした情報システムの先端技術を取り入れた科目から、情報処理技術者に不可欠な知識や技術を習得します。
- 社会で活躍するための演習科目を多く配置。また企業と連携した演習科目もあり、実践力に磨きをかけます。

将来につながる4年間の実学

1st year >>>> 1年次	2nd year >>>> 2年次	3rd year >>>> 3年次	4th year 4年次	将来の活躍のフィールド
テクニカルライティング スタディスキル C++プログラミング実習	問題解決法 テクニカルプレゼンテーション 情報システム実験	卒業研究 キャリアプランニング グループディスカッション	特別研究	- 情報サービス・マネジメント - 情報システム・社会システム - ゲーム・アミューズメント - 教職
デジタルメディアコース主要科目				
コンピュータと社会 ビジュアルデザイン演習 IT活用	グラフィックス技法 GUIデザイン演習 ITビジネスモデル ウェブデザイン演習	情報メディア論 IT産業論 情報システムの構築・運用管理	データマイニング 知識処理	
コンピュータサイエンスコース主要科目				
コンピュータアーキテクチャ Linux演習	プログラム言語論 論理設計・演習 アルゴリズムとデータ構造 情報ネットワーク	ロボティクス Javaプログラミング演習 組み込みソフトウェア開発演習 オペレーティングシステム	グループプログラミング演習 ソフトウェアシステムの検証	

授業紹介



3年次で卒業研究を実施

本学科では、卒業研究を3年次で行います。全員が研究室に配属され、指導教員のきめ細かい指導のもと、納得がいくまでプログラムを書いたり、心ゆくまで“ものづくり”に励むなど、これまでの勉強内容を生かして応用、創意工夫を積み重ねながら、興味のある得意分野をさらに掘り下げていきます。この卒業研究をやり遂げることによって実践力や社会性をしっかり身につけることができ、それを踏まえて就職活動に臨むことができます。

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状(数学・情報)
中学校教諭一種免許状(数学)

関連する資格

応用情報技術者・基本情報技術者
ITパスポート・技術士補・シスコ技術者認定

アセット・マネジメント学科

Department of Assets Management

* 経済や金融の“使える”
専門知識を学ぶビジネス最前線をリアルタイムで体感
大学から国際社会へ直結

研究室紹介

寺田 貢 教授



住友信託銀行に入社。公的資金運用部長、広島支店長、取締役を歴任。専門は多資産の最適化新運用理論。「何ごとにも目的意識を持って取り組みは必ず結果は出せる。経済・金融界の最前線に挑み気持ちで実践を重ね、資格と技術を身につけてください」。

提案、実践型の授業を中心に、証券アナリストや公認会計士などトップランクの資格取得と、コンピュータ技能やデータ解析力の向上をめざします。メディアセンターに、世界の経済・金融情報が瞬時に入手できる「Bloomberg」端末を設置。「研究室ではこれを使い、例えば日々変動する東証一部約1700銘柄の情報や過去データを収集。実際に金融機関で行われているのと同様、世界情勢を把握しながら、今後の日本経済を牽引する企業を解析。経営や財務などの問題を発見し解決する能力を養います」と寺田先生。ビジネス最前線での実用スキルを身につけ、幅広い分野で活躍できる即戦力につなげるのです。

資産運用・管理の知識を身につけ、幅広く活躍ができる人材を育成！

“実践のための学問を！”これが本学科の最大の特徴です。経済学・経営学・法学などの“実用的な領域”をピックアップ。

国際的な視野と社会的責任を基本に「資産運用・管理」に関する、様々な専門知識・資格取得・最新の実用スキルやコンピュータ技能を身につけます。金融業界はもちろん一般企業、地方自治体などで活躍するのに必要な「資格と実用スキル」を持った人材を育成します。

学びのポイント

- 01 ムリのない学習システムで基礎知識を着実に修得しながら、選択の履修コースに移り、専門知識と資格取得の2つを追求します。
- 02 将来、証券アナリスト、ファイナンシャル・プランナー、公認会計士・税理士などをめざす学生を授業や少人数ゼミで全面的にサポートします。
- 03 卒業後、実社会で活用できる「実践的スキル・思考力・プレゼン能力」などを科目、ゼミナールでトレーニングします。

将来につながる4年間の実学

1st year >>> 1年次	2nd year >>> 2年次	3rd year・4th year 3年次・4年次
基礎知識から専門知識へ		
経済学入門	財務諸表分析	金融経済学
経営学入門	証券分析入門	経営財務論
金融論概論	コンプライアンス入門	キャリアプランニング論
証券投資論基礎	ミクロ経済学	市場調査法
PE&BA&SEC&M&Aの基礎	ポートフォリオ理論	証券管理論A・B
投資の社会的責任	株式投資理論	国際分散投資論
マクロ経済学	債券投資理論	デリバティブ入門
		計量経済学
		証券管理論演習
		行動ファイナンス論
		金融工学概論
実社会で役立つスキルを学ぶ		
		ビジネス英語
		ゼミナール
		インターンシップ
資格取得支援として		
簿記入門	簿記演習特別講座	証券アナリスト演習
簿記基礎特別講座	会計学	FP2級演習
FP3級特別講座	FP演習	管理会計論
証券外務員特別講座	簿記2級特別講座	原価計算論
		金融商品マーケティング特論
		保険年金特論
		不動産投資特論
		株式債券投資特論

! 資格取得
License

証券アナリスト

鎌谷 広明さん

アセット・マネジメント学科 3年
[京都府 西城陽高校 出身]



証券アナリスト1次を取得したのは、金融機関で働きたいと思ったからです。その取得戦略は周辺取得から攻め込むことです。そこで1次試験までにFP2級、簿記2級等を取得しました。アナリスト1次合格までには約1年かかりましたが、大学の授業で先生のご指導を受け全科目合格することができました。取得後、証券アナリスト研究会を立ち上げ、自分の勉強方法を後輩に伝えるため奔走している最近です。

FP2級

小木戸 美麻さん

アセット・マネジメント学科 3年
[大阪府 大阪市立高校 出身]



大学のカリキュラムは、1年生から会計・証券分野・法律まで広く知識を吸収できる授業構成になっています。その中で私は相続・資産承継やそこに付随する不動産に興味を持ったので、FP2級等を取得しました。今後はさらに上級のCFP取得をめざすとともに、学内にもCFP研究会を立ち上げ、後輩の育成に寄与したいと思っています。またTOEIC®集中講座を活用し、今後は在学中にスコア800点を目標にしています。

取得をめざす資格

証券アナリスト、ファイナンシャル・プランナー
証券外務員二種、公認会計士、税理士
簿記検定2級/3級、ビジネス会計検定
ITパスポート、情報処理技術者、TOEIC®



学校法人 大阪電気通信大学

大阪電気通信大学高等学校

普通科／進学コース／健康スポーツコース

電子工業科／理数コース／電子情報コース／医療電子コース／デジタルゲーム開発コース

普通科 今、求められているのは子どもたちへの知的・社会的トレーニングです

普通科のめざす教育

1年生「高校生になる」

しっかりした土台なしには、高校レベルの学習は実を結びません。

私たちは朝のトレーニングを通して、英語・数学・国語という基礎科目だけでなく、「聞き取り」「表現」といったコミュニケーション能力についても力を入れ、高校で学ぶための土台作りを実践しています。

さらに、宿泊研修・各種の学校行事・クラブ活動も重視し、集団生活や社会生活を送る上でのマナーや常識などの社会的トレーニングも重要視しています。

2年生「適性を発見する」

2年生では、実際に大学の授業を体験することによって、自身の興味・関心・適性を発見し、間違いのない進路選択をめざします。

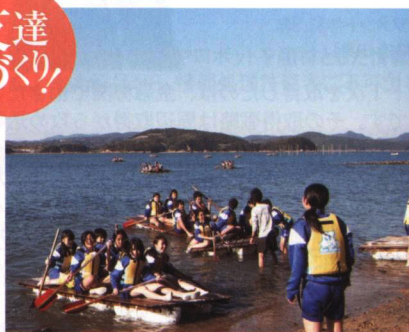
3年生「進路を決める」

子供たち自身の希望や能力・適性に合わせて、自分に適した科目群を選択履修します。そして全員が希望の進路に進めるよう、進学講座・面接指導・小論文指導などを個別にきめ細かく指導していきます。

進学コース・健康スポーツコース 共通

普通科1年

友達づくりは楽しく、学力アップも楽しく！

友達
づくり！

宿泊研修

4月下旬に岡山県の牛窓で2泊3日の宿泊研修を実施します。

飯盒すいさんでカレーを作り、クラス対抗行事で盛り上がるなど、友達と協力してこそ楽しめる行事がいっぱいです。また、いかだ作り体験もあります。これから始まる高校生活に期待をふくらませて、大海原にこぎ出そう！

学力
アップ！

DS授業

漢字検定試験の対策として、ニンテンドーDSを活用した授業を行います。



朝のトレーニング

基礎学力の定着をめざします。その結果によって、放課後に実施する個別指導を徹底して弱点の克服を図ります。

仲間
づくり！

クラブ活動

高校生活を充実させるために欠かせないのがクラブ活動！

放課後はクラブに参加して、充実した高校生活を送ろう！

進学コース

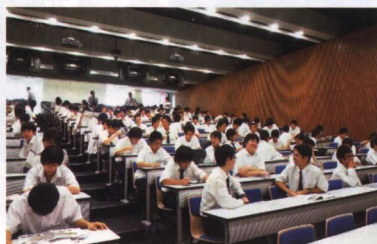
特色ある授業内容が魅力

2年 高大連携

併設の大阪電気通信大学や追手門学院大学との連携授業を実施します。
大学での講義や実験・実習を通して、自分の興味・関心・適性を発見し、進路選択を明確にします。



大阪電気通信大学



追手門学院大学

3年 習熟度別選択学習システム

理工系・文系に分かれた習熟度別選択学習システムを採用することにより、希望の進路・一人ひとりの理解に合わせたきめ細かい指導を行います。



理1 理系大学進学をめざします。

理2 大阪電気通信大学進学をめざします。

文1 大阪電気通信大学文系学科をはじめ文系大学進学をめざします。

文2 文系大学・専門学校・就職など、幅広い分野に対応した学習をします。

健康スポーツコース

スポーツを『科学の目』でとらえる

2年 高大連携

併設の大阪電気通信大学 医療福祉工学部 健康スポーツ科学科と連携し、トレーニング機器と専門器具を組み合わせた授業を実施することによって、スポーツを「科学の目」でとらえます。



充実した外部施設を利用した授業



コナミスポーツクラブの施設を利用した水泳実習

併設の大阪電気通信大学 医療福祉工学部 健康スポーツ科学科を始め、健康科学系学部への進学をめざし、体育専門教科として幅広いスポーツ実技を実施するとともに、運動生理学や栄養学の基礎授業を行います。
また、スポーツを通してマナーや公衆道徳についても学び、スポーツだけでなく多種多様な知識を身につけ、幅広い方面で活躍できる人材の育成を図ります。



意欲のある君をしっかりサポート

めざす職業!!

● 中学・高校の保健体育の先生 ● スポーツトレーナー ● 各スポーツの指導者 ● インストラクター など

電子工業科

充実したカリキュラムで君の夢を全力でサポート

理数コース(特進)



コースの特長

- 国公立難関私立理工系大学への進学をめざす特進コース。
- 早朝15分と7時間目に特別授業を行っています。
- 国公立大学をはじめ、有名私立大学への合格実績があります。

過去4年間の主な進学先

(4年間の卒業生135人中)

徳島大学1、大阪市立大学1、和歌山大学1、同志社大学9、立命館大学11、関西大学3、近畿大学12、甲南大学2、大阪工業大学16、摂南大学2、大阪電気通信大学51など。

4年制大学

進学率

92.6%

難関大学進学に向け、
数学・物理の学習の強化を図る。
現役4年制大学進学率90%以上。

高校入試のときから理数コース志願者は別募集で理数コースの合格点は他のコースと異なります。合格点に満たない場合は第2志望のコースとなります。

7時間目以外は他のクラスと授業の科目は同じですから、2年生のコース編成時に若干の生徒の入れ替えがあります。

専門教科については1年生で、電気・電子・情報に共通する基礎知識・技術を習得し、2年生からは電子技術とコンピュータの学習をしながら大学進学をめざすコースで難関大学進学に向けて英語・数学・物理を強化しています。毎朝15分の早朝テストと7時間目に特別授業を行っています。

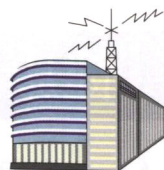
電子工業科を卒業すれば資格が得られるもの

『第三級陸上特殊無線技士』

操作できる範囲

- ① 運輸関係会社などの社内連絡用の無線設備
- ② 銀行など金融機関の警備用の無線設備
- ③ 国や市町村役場の防災対策用の無線設備

電子工業科では授業の中で通信工学・通信技術系の科目を履修しますので、卒業と同時に免許証が交付されます。



電子情報コース・医療電子・デジタルゲーム開発コース 共通

電子工業科1年



電子技術の学習と大学進学を両立。

理数コース以外は高校入試のとき、一括で募集します。それで1年生のときは電子情報、医療電子、デジタルゲーム開発コースをまとめて電子総合と校内では呼んでいます。1年生では学習する教科目はすべて同じでコースの区別はありません。2年に進級するとき、電子情報コース、医療電子コース、デジタルゲーム開発コースに分かれます。分け方は本人の希望、適性、成績を合わせて決められます。このとき、理数コースに入れ替えの条件が合っていれば理数コースを希望することもできます。

1年電子総合時間割例

第2、第4土曜日は学校休業日です。

	月	火	水	木	金	土
1	国語総合	芸術	電気基礎	工技基礎	英語Ⅰ	数学Ⅰ
2	数学Ⅰ	芸術	電気基礎	工技基礎	国語総合	数学Ⅰ
3	地理A	生物基礎	数学A	化学基礎	電気基礎	英語Ⅰ
4	英語Ⅰ	生物基礎	国語総合	化学基礎	電気基礎	英語Ⅰ
5	体育	柔道	数学Ⅰ	保健	地理A	
6	情報基礎	国語総合	H・R	体育	数学A	
7	情報基礎	英語Ⅰ				

電子情報コース



エレクトロニクス・情報技術を
主体とした電子工業科の
基本的コース。



コースの特長

- 電気・電子回路やコンピュータを学習しながら理工系大学進学をめざします。
- 電子工業科の特長を生かし、各種資格取得をめざします。
- 電気・電子・情報の基礎知識・技術を豊富な実験実習をまじえて学習します。

医療電子コース

医療技術と健康福祉工学の両方が学べる全国で唯一の学部、
大阪電気通信大学医療福祉工学部への道

全国唯一の個性派コース。
21世紀の最重要テーマを高校から学ぶ。



工学技術の高度化により、心臓手術で
必要な人工心肺装置などの生体機能代
行装置や生命維持管理装置など、高度
医療を支援する技術が医療の現場に導
入されています。

高齢化社会の到来により、医療分野や
福祉分野における工学技術の果す役割
はこれまで以上に大きくなっています。
医療支援、健康支援、福祉支援など、
医療福祉の支援技術を総合的に学べ
るのが、大阪電気通信大学医療福祉工
学部です。

コースの特長

- 主として併設の大阪電気通信大学医療福祉工学部への進学に有利なコースです。
- 医用電子機器の原理と働きを学習し、医療福祉への基礎知識を習得します。
- 併設大学とともに他の理工系大学への進学をめざします。
- 電子工業科の特長を生かし、各種資格取得をめざします。
- 厚生労働省認定 福祉用具専門相談員講座を本校内で開講

科目の特長

『医用電子基礎』（4単位）

身近な医用電子機器の基本的な原理・機能について学習します。具体的には電子体温計、電子血圧計、心電計、X線撮影装置、電気メス、電動車イス等々の原理・機能について学習し、電子技術に関する基礎的な知識と技術を習得します。

電子工業科 各コースで受験できる 各種検定試験

- ・アマチュア無線技士国家試験
- ・陸上・海上特殊無線技士国家試験
- ・ITパスポート試験
- ・基本情報技術者試験
- ・情報技術検定試験
- ・パソコン利用技術検定試験
- ・第二種電気工事士国家試験
- ・実用英語技能検定試験
- ・漢字能力検定試験
- ・実用数学技能検定試験
- ・福祉用具専門相談員

デジタルゲーム開発コース

日本初。高校でゲームを学ぶ。
ここにしかない、ユニークなコース。



コースの特長

- 主として併設大学の大阪電気通信大学デジタルゲーム学科への進学に有利なコースです。
- 授業以外にも夏休み等にゲーム講座を行います。
- 併設大学とともに、他の理工系大学への進学をめざします。
- 電子工業科の特長を生かし、各種資格取得をめざします。

科目の特長

『ゲームプログラミング基礎』（4単位）

「情報技術基礎」および「電子情報技術」の応用、発展として「ゲームプログラミング基礎」を設けます。ゲームの設計、制作を通して総合的なプログラミング技術を修得します。



ゲーム講座



大阪電通大でのゲーム講座

全国唯一。大阪電気通信大学
デジタルゲーム学科への道

デジタルゲーム制作の現場において、即戦力となるワーカー養成プログラムは、これまでも専門学校などで展開されてきました。しかし、デジタルゲームテクノロジーを核として、新たな産業領域を切り開いていく人材を育てるには、幅広い教養と専門領域の深化、さらには創造力や人間性が必要です。併設の大阪電気通信大学デジタルゲーム学科は、大学として他に先駆けてスタートさせたもので、高等学校の本コースでは強く明確な目的意識を持った人材を育成します。この併設大学デジタルゲーム学科をはじめ、夢を実現できる理工系大学への進学をめざします。

※ 2012年度入試の特待生制度

1 入学金の免除

- 1、入学生の兄姉が本校に在学中の場合は、**入学金を免除**します。
- 1、入学生が双子の場合は、1名分の**入学金を免除**します。

2 入学金の減免

- 1、入学生の父母・兄姉が本校の卒業生の場合は**入学金を半額**とします。
- 1、入学生の兄姉が大阪電気通信大学に在学中の場合は、**入学金を半額**とします。

3 入学金免除、及び奨学金の支給

- 1、中学校の英語・数学・国語の評定平均がすぐれている生徒に対し、入学金を**免除**し、奨学金・**年額20万円を3年間支給**します。又、入学試験の成績が上位20名以内の場合も**入学金を免除**し、奨学金・**年額20万円を3年間支給**します。

（電子工業科受験者は理数コースに限ります）

注）上記の特待生制度の適用を受けようとする場合、1、2については入学試験願書締切日までに、所定の用紙に必要事項を記入して、本校宛に提出して下さい。
3、については、申請の必要はありません。

大阪電気通信大学高等学校普通科受験者の
優遇措置について

大阪電気通信大学高等学校普通科の生徒は普通教科を中心に学んでいます。そして、多数の生徒が、大阪電気通信大学をはじめ、多くの理系・文系大学に進学しています。

本校**普通科専願受験者**については、下記に該当する受験生について、特に**優遇**いたします。（人物面で①～④のうち一つ以上及び成績の項①、②のどちらかを満たしている者）で中学校校長が推薦する者。

- | | |
|-----|--|
| 人物面 | ①出席状況が良好である者（3年間欠席が10日以内である）
②クラブ活動を2年以上続けた者（必修クラブ活動を除くクラブでクラブ顧問が推薦できる者）
③生徒会役員をしたことがある者
④地域活動・ボランティア活動等で社会的評価をされた者 |
| 成績 | ①国語・数学・英語・社会・理科のうち1教科でも優れている者
②漢字検定4級、英語検定4級、数学検定4級のうちいずれか1つ取得している者 |

* 個人報告書及び普通科優遇推薦書を本校事務部へ提出する必要があります。

* 普通科優遇推薦書は本校入試部に申し込んで下さい。各中学校宛に送らせていただきます。

「大阪電気通信大学 クラブ同窓会」

平成24年度 通常総会 議案

平成24年6月23日(土) 10:00～

● 会場：JR大阪駅前 ホテルグランヴィア大阪

会友お誘いのうえ、ご家族でのご出席をお待ちしています。
詳細は裏表紙等をご覧ください。

■ 平成24年度 通常総会議案

- 第1号議案 平成23年度事業報告
- 第2号議案 平成23年度収支決算報告
- 第3号議案 平成24年度事業計画案
- 第4号議案 平成24年度収支予算案
- 第5号議案 平成24年度役員案（各年次は入学年）

第1号議案 平成23年度事業報告

- ◆ 定例・臨時「幹事会」を開催(計6回：4月23日、6月25日、11月5日、1月21日、2月11日、3月10日)。
- ◆ 定例・臨時「三役会」を開催(計3回：6月11日、3月10日、3月31日)。
- ◆ 「友電会との予算・他検討委員会(小委員会)」を開催(計2回：2月25日、3月3日)。
- ◆ 「平成23年度クラブ同窓会通常総会」を開催(6月26日：寝屋川キャンパス)。
- ◆ 「平成23年度クラブ活動目標表明式」を開催(6月26日：寝屋川キャンパス)。
- ◆ 大学祭協賛「平成23年度優秀クラブ活動表彰式」を開催(11月6日：寝屋川キャンパス)。
- ◆ 大学祭協賛「2011 トークショー」を開催(11月6日：寝屋川キャンパス)。
- ◆ 文化会本部主催「リーダーズ・キャンプ」に講師派遣(3月5～6日)。
- ◆ 「ホームページ」メンテナンスおよびリニューアル(4～3月)。

◆ 学生主催行事、各OB・OG会主催行事、学園行事、クラブ同窓会・友電会役員敬弔時等への出席(4～3月)。

第2号議案 平成23年度収支決算報告

※下記に掲載

第3号議案 平成24年度事業計画案

- ◆ 4～3月：定例「幹事会」および「三役会」を開催(年6～8回)。
- ◆ 4～3月：臨時「幹事会」および「三役会」を開催(必要に応じ)。
- ◆ 4～3月：友電会との懇談・委員会開催(必要に応じ)。
- ◆ 4～3月：学生部との懇談会開催(必要に応じ)。
- ◆ 4～3月：「ホームページ」メンテナンスのための協力学生とのミーティング・共同作業。
- ◆ 4～3月：学生各団体(自治会・体育会・文化会・大学祭実行委員会・生協委員会)とのミーティング(要望ヒアリング、卒業後のクラブ同窓会幹事就任への働きかけ、その他)を開催。

■ 平成23年度収支決算報告 (平成23年4月1日～24年3月31日)

(単位：円)

科 目		予 算	実 績	増 減	備 考
収入の部	運営助成金	1,400,000	1,400,000	0	
	優秀クラブ活動表彰式褒賞金助成	300,000	300,000	0	
	寄付金	20,000	10,000	-10,000	高校同窓会
	前期繰越金	33,268	33,268	0	
	合 計	1,753,268	1,743,268	-10,000	
支出の部	会議費	10,000	13,780	3,780	会議開催昼食代
	交通費	300,000	280,280	-19,720	
	事務通信費	50,000	21,407	-28,593	郵送費・事務用品等
	クラブ活動援助金(学生部)	250,000	250,000	0	学生部からの通知に基づく
	大学祭協賛事業費	600,000	465,887	-134,113	優秀クラブ活動表彰式褒賞金・トークショー交通費等
	HP関係費	300,000	486,636	186,636	貸サーバ・通信費・協力学生アルバイト料等
	懇親会費	50,000	36,000	-14,000	総会後二次会等招待者会費等
	慶弔費	100,000	110,000	10,000	各クラブOB会等開催祝い金等
	雑費	93,268	14,079	-79,189	各事業・行事差入れ等
	次期繰越金	0	65,199	65,199	
合 計		1,753,268	1,743,268	-10,000	

- ◆ 4～9月：「各クラブの新入生勧誘」支援。
- ◆ 6月23日：「平成24年度 通常総会」を開催(ホテルグランヴィア)。
- ◆ 6月23日：「平成24年度 クラブ活動目標表明式」を開催(ホテルグランヴィア)。
- ◆ 11月：大学祭協賛「平成24年度 優秀クラブ活動表彰式」を開催(寝屋川キャンパス)。
- ◆ 11月：大学祭協賛「2012 トークショー」を開催(寝屋川キャンパス)。
- ◆ 4～3月：学生各クラブ・団体主催行事(リーダーズキャンプ、他)の支援。
- ◆ 4～3月：学生主催行事、各OB・OG会主催行事、学園行事、クラブ同窓会・友電会役員敬弔時等への出席。

第4号議案 平成24年度収支予算案

※下記に掲載

第5号議案 平成24年度役員案(各年次は入学年)

■ 新任役員

- ・ 幹事：船越 亨(S47 柔道部)

■ 幹事(順不同)

- ・ 幹事：平岡 臨(S42 少林寺拳法部)
- ・ 幹事：中野正三(S40 卓球部)
- ・ 幹事：岡本清孝(S44 柔道部)
- ・ 幹事：宮條研次(S50 ワンダーフォーゲル部)
- ・ 幹事：池田 清(S40 少林寺拳法部)
- ・ 幹事：金野洋明(H06 柔道部)
- ・ 幹事：野田哲治(S37 剣道部)
- ・ 幹事：藤原公彦(S39 ワンダーフォーゲル部)
- ・ 幹事：水谷元也(S43 応援団)

- ・ 幹事：木村功一(S44 軽音楽部)
- ・ 幹事：野田鐘一(S41 日本拳法部)
- ・ 幹事：志村哲樹(S42 剣道部)
- ・ 幹事：大音博司(S42 柔道部)
- ・ 幹事：宿谷幸男(S42 空手道部)
- ・ 幹事：森 和明(S44 電子計算組織研究会)
- ・ 幹事：内野正道(S47 柔道部)
- ・ 幹事：船越 亨(S47 柔道部)
- ・ 幹事：細川雅巳(S48 少林寺拳法部)
- ・ 幹事：岡川正寛(S48 柔道部)
- ・ 幹事：杉野幸規(S52 弓道部)
- ・ 幹事：元花 修(S52 少林寺拳法部)
- ・ 幹事：村上豊裕(H16 柔道部)
- ・ 幹事：竹中浩之(H17 柔道部)

■ 学生幹事

- ・ 常任自治委員会委員長・副委員長
- ・ 体育会本部本部長・副本部長
- ・ 文化会本部本部長・副本部長
- ・ 大学祭実行委員会委員長・副委員長
- ・ 学生生協委員会委員長・副委員長

■ 監査役

- ・ 大塚敏兼(S36 ワンダーフォーゲル部)
- ・ 沖 洋一(S50 電子計算組織研究会)
- ・ 新川拓也(H01 大学祭実行委員会)

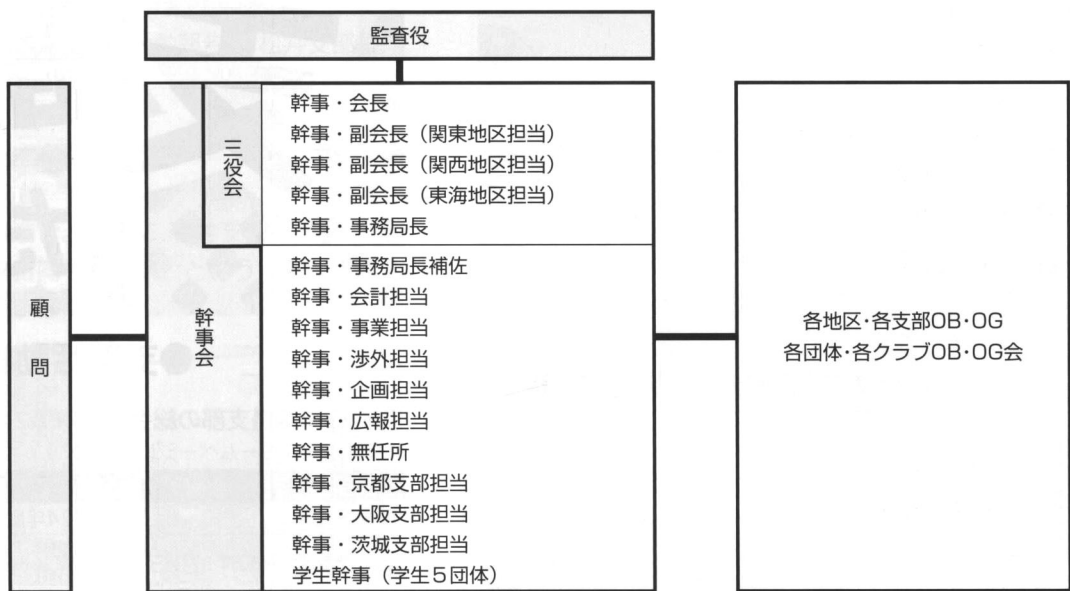
■ 顧問

- ・ 高岡大造(学生部部長)
- ・ 中山 修(元友電会会長)
- ・ 猿渡 洋(友電会会長・前クラブ同窓会会長)
- ・ 新宅 寛(元学生部次長)

■ 平成24年度収支予算案 (平成24年4月1日～25年3月31日)

(単位：円)

科 目		平成24年度 案	平成23年度 実績	増 減	備 考
収入の部	運営助成金	1,260,000	1,400,000	-140,000	友電会指示(前年比10%減)
	優秀クラブ活動表彰式褒賞金助成	270,000	300,000	-30,000	友電会指示(前年比10%減)
	寄付金	20,000	10,000	10,000	
	前期繰越金	65,199	33,268	31,931	
	合 計	1,615,199	1,743,268	-128,069	
支出の部	会議費	10,000	13,780	-3,780	会議開催昼食代
	交通費	300,000	280,280	19,720	
	事務通信費	30,000	21,407	8,593	郵送費・事務用品等
	クラブ活動援助金(学生部)	250,000	250,000	0	学生部からの通知に基づく
	大学祭協賛事業費	500,000	465,887	34,113	優秀クラブ活動表彰式褒賞金・トークショー交通費等
	HP関係費	300,000	486,636	-186,636	貸サーバ・通信費・協力学生アルバイト等
	懇親会費	30,000	36,000	-6,000	総会後二次会等招待者会費
	慶弔費	130,000	110,000	20,000	各クラブOB会・各団体行事開催祝い金等
	雑費	65,199	14,079	51,120	各事業・行事差諸費、予備費等
	次期繰越金	0	65,199	-65,199	
	合 計	1,615,199	1,743,268	-128,069	



大阪電気通信大学クラブ同窓会 会 則

第1条 《総則》

本会は、「大阪電気通信大学クラブ同窓会」と称する。

第2条 《事務局》

本会の事務局を大阪電気通信大学友電会事務局内に置く。

第3条 《目的》

本会は大阪電気通信大学(以下、母校という。)および大阪電気通信大学友電会(以下、友電会という。)と連絡を密にし、会員相互の親睦と研鑽を図るとともに、母校学生のクラブ活動組織を主とする学生団体の健全なる発展に貢献することを目的とする。

第4条 《事業》

本会の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ①会員相互の親睦と連絡
- ②母校の学生団体の健全なる発展と育成を図るための支援事業
- ③その他、本会の目的を達成するために必要な事業

第5条 《会員》

本会の会員は次の通りとする。

①正会員(OBおよびOG)

大阪電気通信大学学生自治会および学生課に登録されている、または登録されたことのある学生団体に在学中在籍した者

②準会員(在学生)

大阪電気通信大学に在学し、学生自治会および学生課に登録されている学生団体に在籍している者

③特別会員(学生団体顧問等)

大阪電気通信大学学生自治会および学生課に登録あるいは登録されたことのある学生団体の顧問の経歴がある教職員または幹事会に承認された者

第6条 《会費》

会費は幹事会で決定し、別に定める。

第7条 《役員》

本会に次の役員を置く。

- ①会 長 1名
- ②副会長 3名
- ③事務局長 1名
- ④幹 事 若干名
- ⑤学生幹事 若干名
- ⑥監査役 3名
- ⑦顧 問 若干名

第8条 《役員の選出》

会長、副会長、事務局長、監査役は幹事会で互選する。

2. 幹事は、正会員の中から総会で選出する。
3. 学生幹事は、幹事会で認めた者とする。
4. 顧問は、幹事会の承認を経て会長が委嘱する。
5. 監査役は、幹事を兼任出来ない。

第9条 《役員の任期》

役員の任期は2年とする。ただし、学生幹事は1年とし再任を妨げない。

2. 欠員補充によって就任した役員の任期は前任者の残余期間とする。

第10条 《幹事会》

本会の目的および事業遂行のために幹事会を組織する。

2. 幹事会は、会長、副会長、事務局長、幹事、学生幹事をもって構成し、会長がこれを招集する。
3. 会長が必要と認めた者を幹事会に出席させることができる。
4. 次の場合には、会長はただちに臨時幹事会を招集しなければならない。
 - ①会長が必要と認めた場合
 - ②幹事会を組織する現総数の3分の1以上または監査役から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
5. 幹事会の議長は会長とする。

第11条 《幹事会の議事および決議》

- 幹事会の議事は、幹事会を組織する現総数の2分の1以上が出席し、過半数で議事を決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
2. あらかじめ書面をもって決議への意志を表

示した者は、これを出席者とみなす。

第12条 《三役会》

本会組織の円滑な運営のために三役会を組織する。

2. 三役会は会長、副会長、事務局長をもって組織し、会長がこれを招集する。
3. 会長が必要と認めた者を三役会に出席させることができる。
4. 三役会の議長は会長とする。

第13条 《総会および臨時総会》

総会は年1回開催する。

2. 臨時総会は、幹事会の決議により必要と認められたとき臨時にこれを開く。
3. 総会および臨時総会は、会長が招集する。
4. 次の事項は総会に提出して、承認を受けなければならない。
 - ①事業報告および収支決算ならびに事業計画および収支予算案の事項
 - ②会則改正の事項
 - ③その他、幹事会が必要と認めた事項

第14条 《会計および会計年度》

本会の会計は会費および援助金、寄付金、その他をもってこれに充てる。

2. 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日をもって終わる。
3. 決算は、毎会計年度終了後3か月以内に事業報告書とともに、これを幹事会および総会に提出する。

第15条 《解散》

本会の解散は、幹事会で4分の3以上の決議を経て総会の承認を得なければならない。

2. 解散に伴う残余財産は、友電会あるいは母校の本会と目的を類似する事業へ寄付するものとする。

第16条 《その他》

本会の目的に反する行為が認められる会員は、幹事会の決議を経て除名することができる。

付 則

1. 本会則は、平成1年6月25日より施行する。
2. 平成3年6月30日改正(大阪電気通信大学クラブOB会)
3. 平成15年11月2日改正(大阪電気通信大学クラブ同窓会)

高校同窓会 緑樹会議案

- ①高校同窓会 2012年度総会議案(案)について
- 1. 2011年度事業報告について
 - 2. 2011年度会計決算報告・会計監査報告について
 - 3. 役員改選について
 - 4. 2012年度事業計画について
 - 5. 2012年度予算案について
 - 6. その他
- ②緑樹会 2012年度年次報告会について
- 1. 2011年度事業報告について
 - 2. 2011年度会計報告について
 - 3. その他

大阪電気通信大学高等学校同窓会会則

- 第1条〈名称〉**
本会は大阪電気通信大学高等学校同窓会と称し、事務局を大阪電気通信大学高等学校内に置く。
- 第2条〈目的〉**
本会は会員相互の親睦をはかり、母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条〈事業〉**
本会は前条の目的を達成するため次の事業を行なう。
①会員相互の親睦
②会員名簿の管理および会報などの発行
③母校発展のための事業
④その他必要な事業
- 第4条〈会員〉**
①正会員 高等学校の卒業生およびかつて設置された学校の卒業生
②特別会員 高等学校の現職員およびかつて母校の職員であった者と幹事会で認めた者
- 第5条〈会計〉**
本会の運営は、入会金、会費、寄付金をもってまかなう。金額は別にこれを定める。
会計年度は、毎年4月1日にはじまり、3月31日に終わる。
- 第6条〈役員〉**
①名誉会長 母校校長が就任する。
②会長 総会にて選出する。
③副会長 2名 総会にて選出する。
④会計監査 2名 総会にて選出する。
⑤幹事 若干名 正会員の中から会長が委嘱する。
⑥校内幹事 若干名 現教職員の中から会長が委嘱する。
⑦会計 2名 幹事の中から互選する。
⑧顧問 若干名 役員経験者の中から会長が委嘱する。
- 第7条〈役員の職務〉**
会長は本会を代表し、会務を統括する。
副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。
幹事は幹事会を組織し、会長のもとに会務を担当する。
- 第8条〈役員の任期〉**
役員の任期は3年とし、再任は妨げない。
- 第9条〈会議〉**
①総会 本会運営の最高決議機関として、毎年5月に開催する。
臨時総会は必要に応じ会長が召集する。
総会の議案は出席会員の過半数をもって決する。
②幹事会 必要の都度会長が召集する。
- 第10条〈総会の承認事項〉**
①事業報告と収支決算 ②事業計画と予算 ③役員の選出 ④会則の改正

以上



●支部活動●

平成23年度各支部の総会日程(平成24年3月10日現在)
詳細は友電会ホームページにも掲載

支部名	開催日	内容・場所
関東総支部		平成24年度開催予定
北関東支部	平成23年6月18日(土)	支部総会 健康ランド「ホテル三光」(川越市)
神奈川支部	平成23年6月4日(土)	支部総会・懇親会 「麒麟横浜ビブレ」工場
	平成23年7月29日(金)	日産自動車横浜工場見学会
千葉支部	平成24年1月28日(土)	支部総会 「船橋ゆとろぎの湯」
茨城支部		
東海総支部	平成23年5月22日(日)	総支部総会 「名古屋通信会館」
	平成23年10月1日(土)	役員研修会
三田支部	平成23年5月15日(日)	支部総会 「しい茸園有馬富士」(三田市)
神戸支部	平成23年4月17日(日)	支部総会 「ホテル神戸東急イン」(神戸市三宮)
	平成23年7月30日(土)	神戸市ロボット講習会 「神戸ロボット工房」
石川支部		平成24年9月再開予定
びわこ支部	平成23年9月24日(土)～25日(日)	設立20周年記念総会 「彦根ビューホテル」
奈良支部	平成23年11月8日(土)	研修会 「兵庫県粒子医療センター」
	平成24年2月18日(日)	支部総会 「奈良商工会議所」
京都支部	平成24年2月25日(土)	支部総会 「ホテル本能寺」(京都)
九州支部	平成23年8月7日(日)	総会・懇親会 「福新楼」(福岡市天神)

友電会は支部活動に重点を置いて活動しています。関東・東海の総支部をはじめ、近畿、北陸、九州に支部を置き、海外では北米支部が活動しています。企業間交流や情報収集に最適です。積極的な参加をお待ちしています。

平成23年度 大阪電気通信大学

**友電会奈良支部総会・懇親会が
開催されました**

講演会 講師：玉置 寛氏(電子物性工学科 5期卒)
平成24年2月19日(日) 於 奈良商工会議所

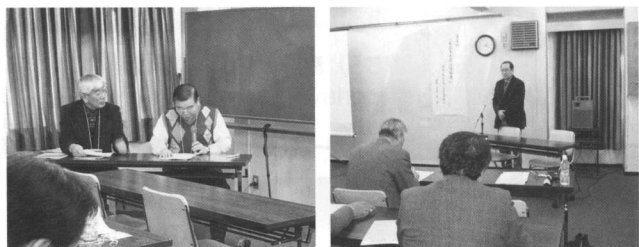
友電会の野田哲治副会長など来賓を含め総勢24名が参加、盛大な総会となりました。兼ねてからの懸案であった奈良県隣の三重県在住同窓の奈良支部参加について、本部や東海総支部などのご指導で援助により、今回の総会には初めて伊賀在住の塩田氏に参加いただきました。奈良支部と三重さんの交流の始まりで、発展が期待されます。

《総会》

総会は吉岡氏の司会の下、議長に藤田氏を選出し議事進行了しました。

- ・平成22年度(23年度含)支部活動報告 …松井支部長
- ・平成22年度収支決算報告 …金谷幹事
- ・平成22年度監査報告 …堀内監事
- ・平成23年度予算報告 …金谷幹事
- ・平成23年度支部方針・役員 …松井支部長

以上の要領で議事を進行。さらに、松井支部長からの『三重県と同窓との発展的合意をしたい』という提案が出席者全員の賛成で承認されました。



《講演会》

講演者は同窓5期電子物性工学科：玉置 寛氏です。

同氏は高知工科大学で教鞭をとられ、昨年3月に定年退職されました。奈良県三郷町に在住されておられるので、『東日本大震災は私達に何をもらしたか』をテーマに講演をお願いしました。講演に先だち、東日本大震災の犠牲者に対し全員で黙とうを捧げ、哀悼の意を表しました。

講演では、地震が発生した状況から福島第1原発を襲った巨大津波、さらに津波の影響による福島第1原発の停止から冷却不能への状況。放出された放射性物質と事故の影響など一連の現象をわかりやすく解説いただきました。

続いて原発事故から見えてきた事象や未曾有の事故が、人々にもたらした変化と廃炉も含めた今後の原子力の在り方や原発以外にも想定される今後のエネルギー政策の在り方、それに伴う今、私達の生き方と地域社会の在り方など多岐にわたる丁寧な解説など、玉置自身の私見を踏まえながらも社会性豊かな内容の講演となりました。

講演の内容は、参加者全員の最重要関心事。講演後の質疑応答も活発に行われて限られた時間では足りないほどで、司会者はその調整に四苦八苦、うれしい悲鳴を上げていました。



《懇親会》

懇親会は恒例の無礼講で行われました。平成23年3月卒の同窓新人・高畑氏の年齢差を超えた参加者との懇談は、年配者に若さを与えていたように思えます。自己紹介の1分スピーチでは参加者の笑顔を巻き込み制限時間に関係なく話される方も多く、楽しいひと時はアッという間に経過、最後に大学歌を声高らかに合唱しました。

『また来年も逢いましょう』。参加者らは再会を約束、会はお開きとなりました。



平成23年度 大阪電気通信大学

**友電会京都支部総会・懇親会が
開催されました**

平成24年2月25日(土) 於 ホテル本能寺

当日は、あいにくの雨模様でしたが総会が始まる頃には止みました。総会の後、島津創業記念資料館を見学しました。病気療養中だった村瀬支部長も元気な顔を見せ完全復活。資料館では、丁寧に分かりやすい女性解説員の説明に参加者全員が満面の笑顔で聞き入っていました。日本初のレントゲン撮影機など、興味深い展示品も数多く拝見しました。同資料館前では、参加者全員で記念撮影しました。

この後、ホテル本能寺に移動し村瀬支部長の挨拶で平成23年度京都支部総会を開催しました。本部からは、川口組織部会長にも参加して頂き、猿渡会長に代わり来賓のご



挨拶を頂きました。本部、支部の行事に若い人達が参加出来る環境造りが今後の課題一と、参加者全員の意見が一致しました。



議長役の安氏の進行で総会はつつがなく終了して記念撮影、奥座に移動し、ここを会場に懇親会を開きました。北森氏の乾杯の発声で懇親会がスタート。鍋を囲んでの大宴会で30分過ぎた頃には会場は先輩、後輩入り乱れてのお酌合戦、京都支部恒例の光景が展開されました。

最後は全員で母校の大学歌を合唱し京都支部総会は閉会されました。

余談ですが、この後、参加者らは三々五々、祇園へと姿を消していったようです。



「九州支部総会・研修会」のご案内

九州支部は、産声を挙げて3年目に入り、まだまだ小規模な会ではありますが、支部役員始め会員皆様のご協力により、何とか軌道に乗ったところです。

そこで今回は、日々変化し、高度化するIT事業の一端を研修し、併せて総会・懇親会を計画いたしましたので、会員各位多数のご参加をお待ちしております。

なお、九州地区に会員登録住所のある方には、別途ご案内いたしますが、転勤、出張等で当地区に在住されている方は、ご一報ください。

日 時：平成24年9月30日(日) 11:00～

集 合：地下鉄空港線「姪の浜駅」唐津側出口午前11時に集合ください。

研修会：株式会社キューデンインフォコムデータセンター(九州電力グループ)福岡市西区

総 会：研修会終了後、総会・懇親会を行います。(場所は、研修会場付近を予定しております。)

会 費：会員5,000円程度(同伴者、家族無料)

連絡先：友電会事務局又は

佐世保市原分町278-5 福田 武(E02)

TEL: 0956-49-8086 Mail: fuku4494@tvs12.jp

トピックス

都倉学長最終講義 教職員ら80人が聴講

平成24年3月27日(火) 於 寝屋川キャンパスJ号館6階小ホール



今年3月、退職する都倉信樹学長が3月27日(火)夕、寝屋川キャンパスJ号館6階小ホールで最終講義を行いました。大学職員やOB、学生ら計80人が聴講、経験と知識に裏打ちされた都倉式授業、に聞き入っていました。

「ラジオで(電子工学に関する)特別放送があった。それを聞いて面白いと思ったのがきっかけ」

演題は「電子工学半世紀」。都倉学長の講義は、自身が電子工学を目指した動機から話し始めました。1957(昭和32年)年、電子工学科が設立された大阪大学を目指した都倉学長は入学を果たします。しかし、電子工学草創期で、十分でない機材や資料。そんな環境の中、都倉学長は先駆者の学問ゆえの苦労と、自身の研究で様々な問題解決という相反する面白さにのめり込んだと言います。

情報工学科を経て計算機言語学講座の担当に。自身の研究とともに学生の指導にも情熱を注いだと言い、都倉研名物の夏休みの新人研修は、今も後任教授に引き継がれているそうです。

電子工学について都倉学長は「戦争に負け、電子工学を始めて(日本が)発展してきたのではないか。日本の富や自信を作り、裕福になる」と、この学問の大切さを話しました。電子機器が急速に発展したことについては「信頼性が高まったから」と分析、記憶量や速度、価格などのデータを挙げて説明されました。



コンピューターと通信の融合ではバーコードのあれこれを説明。コンビニが飛躍的な発展を遂げたのはバーコードのおかげとし、「コンビニ商品でバーコードがついていないものは?」「メーカーコードは好きに決めているのか?」「疑問点はどこか?」といった質問をし、メールによる回答を求めました。

メリットとデメリットにも触れ、「人件費削減、売れ筋商品の把握が可能な反面、フリーターが増えた」としました。

最後に講義のスタイルを解説。「質問をたくさん用意し

安研各期代表者会議開催

日時 平成24年11月3日(土) 午後5時

場所 大阪電気通信大学P号館2階会議室

安 弘特任教授(電子機械工学科)が今年度で退職されます。来年春に安教授の送別会を開催したいと思います。安研の各期代表者は事前会議に出席して下さい。

会議では、「開催先と日時」「連絡体制」「送別会での役割」などを決めたいと思います。

連絡は発起人の辻 佳彦(13期、安研1期)まで。
メールは、ytsusdb@yahoo.co.jp



「日本の発展は電子工学があってこそ…」。

創世記から半世紀に及ぶ電子工学の発展の歴史を講義する都倉学長

適宜問いかける。TPOによって質問を変える」「何で、何で、何で…と順に追ってゆく」「回答はその場で一部もらい、一部は宿題にしてメールでの回答を求める」など、電子工学だけでなく、文章力や外国の専門書を読みこなせる英語力をつけさせる工夫が講義の中に散りばめられていることを紹介しました。

参加者らは、この後、生協食堂での懇親会を楽しみました。

ワングル部OB総会 創立50周年に56人が集いました ～青春燃やしたあの時代を回顧～

平成24年2月26日(日) 於 大阪弥生会館

創部50年を記念した大阪電気通信大学ワンダーフォーゲル部のOB総会が2月26日(日)、大阪市北区の大阪弥生会館で開かれました。1期生から37期までのOBや顧問、大学関係者ら計56人が参加、出席したOBらは青春を山に懸けた学生時代を思い起こし、同期生や先輩、後輩たちと楽しい時間を共有していました。会場には合宿や大学祭などのセピア色をした懐かしい写真も展示され、記念総会に花を添えました。

総会は藤原公彦OB会長のあいさつで開会しました。「50年の間に250人の若者を4年間鍛え、育成して社

「名門・池田潤平会」 同窓の集い

日時 平成24年6月23日(土)

場所 ホテルグランヴィア大阪 懇親会場

電通大が誇る名門卒研室、潤平会の集いが総会・懇親会に合わせ開催されます。久しぶりの集いで旧交を温めたいと考えています。会場では特設テーブルを用意し、池田潤平先生ゆかりの方々をお待ち致します。

世話人 吉 川 博 史 (105、太成学院大学教授)
工 藤 英 男 (109、大阪成蹊大学教授)
平 林 一 夫 (109)



ワンダーフォーゲル部のOB会長交代を告げる藤田会長。後任には坂口さん(右)が承認された

会へ送り出しました」。創部以来のワングル部の誇れる実績を話した後、藤原会長は「栄光のワングル部も活動を停止、休部となっています」と部員の不足で残念な状況のク

ラブの現状を報告、ワングル部再開の協力をOBたちに訴えました。

同部名誉顧問の沖野政弘・大阪電通大名誉教授も兵庫県明石市の自宅から駆けつけました。会場いっぱいに広がった懐かしい部員たちのオンパレードに沖野氏もうれしさいっぱいの表情。一人ひとりの顔を確認するように会場を見まわし、「43年間皆さんと一緒に勉強させて頂きました。今でも明石を出て寝屋川(の大学)へ行き、(授業するための)教室がわからなくなった夢を見ます。ワングルの皆さんと一緒にだったことはこれからもずっと宝です」とあいさつしました。友電会の野田哲治副会長もお祝いのあいさつに立ち、昭和初期にドイツで始まったワングルの歴史を紹介した後、「我が電通大は(創部以来)50周年を迎えました。誇るべき皆様です」と創部以来、クラブ活動に精進してきたOBらの苦労を讃えました。

乾杯の発声は2期生で同部OB、猿渡 洋・友電会会長の音頭で参加者全員が杯を挙げました。猿渡会長はこの日のためにワングル部50年の歴史を綴った写真集を参加者全員分作製していました。乾杯に先立ち、猿渡会長は「皆さんに見て頂きたくて自分にプレッシャーをかけて作り上げることができました。60周年に向け第2集を是非作って頂きたい」と写真集作製の経過と次への要望を訴えました。クラブ同窓会や大学ゆかりの来賓も多数駆けつけました。観野福太郎法人評議員は、体育の授業で運動靴を忘れ



総会の冒頭、特別講演の講師を務めた安教授(手前)はワングルの歴史を綴った写真の展示に見入っていた



60人近いワンダーフォーゲル部OBや恩師らが集った創部50周年の総会

大慌てでワングル部員から拝借した学生時代のエピソードを紹介、会場の笑いを誘っていました。

「先輩にはすごかったです」「座禅を組ます先輩もいたよね」「あの山に登った時は楽しかったなあ」…。丸テーブルに分かれた参加者たちは用意された食事と酒を楽しみ、先輩や後輩たちと学生時代の思い出話に興じていました。入学期ごとの部員紹介や近況報告も行われました。また、この席で、OB会長職が藤原会長から8期の坂口 雅さんに引き継がれることが発表、承認されました。

「蔵王の山男」「ワングルズンドコ節」「新人哀歌」など、総会の締めくくりは苦しい時や楽しい時に歌った思い出の山の歌のあれこれを声高らかに合唱、大学歌も参加者全員で歌い、記念撮影をして閉会しました。

会場内には猿渡会長が作製したクラブ草創期から現在まで写真をまとめた苦心のアルバムが

ら抜粋した60点余りの写真が展示されました。創部間もないバラック然とした部室前での記念写真や上高地、北・南アルプス、金剛山などへの山歩き、苦しかった合宿など、懐かしい写真を前に参加者は若かりし頃の自分や友人の姿を見つけては見入っていました。

総会の冒頭、友電会事務局長で大阪電通大の安 弘教授による「大学の現状とOBへの期待」と題する特別講演が行われました。安教授は入学と就職のいわゆる「入口、出口」の厳しい現状をグラフや写真などを使ってわかりやすく説明、それぞれへの支援の必要性を訴えました。フリーターやニートに甘んじている若者気質について「クラブで叩きあげたら一発（でなおる）なのに」と、大学でのクラブ活動の重要性の再認識が必要なことも話していました。



勢揃いした山男たち。総会で先輩、後輩、同期生らとの友情が、また深まった

●ワンダーフォーゲルOB総会 出席者

No	期	氏 名	住 所	メ モ	No	期	氏 名	住 所	メ モ		
ワ ン ゲ ル O B	1	顧	沖 野 政 弘	明石市	ワングル名誉顧問、名誉教授	ワ ン ゲ ル O B	17	4	福 島 幸 治	加古川市	
		1	安 弘	京都市	教授、友電会事務局長、上高地参加			4	仲 勝 史	三重県	
		2	野 田 哲 治	名古屋市	友電会副会長		20	5	松 岡 邦 彦	寝屋川市	OB総会実行委員
		4	中 西 義 一	大津市	友電会顧問、上高地参加			6	猪 上 淳 巳	奈良市	OB総会実行委員
	5	4	川 口 明 良	神奈川県海老名市	友電会理事、上高地参加			6	青 木 則 夫	西宮市	OB総会実行委員
		4	北 森 弘 樹	奈良市	友電会監事			6	古 田 裕 康	兵庫県	
		4	観野福太郎	東京都	法人評議員、上高地参加			6	藤 川 務	横須賀市	
		5	池 田 清	京都市	クラブ同窓会事務局長、上高地参加		25	7	新 垣 博 幸	尼崎市	OB総会実行委員
		6	藤 本 明	神戸市	友電会理事			7	三谷幸一郎	門真市	
	10	8	玉 井 朗 雄	枚方市	上高地参加、桜撫庵社長			7	岩 尾 成 章	豊中市	
	11	特	岡 村 和 男	寝屋川市	上高地参加、岡村食品社長			7	田 谷 利 明	横浜市	
ワ ン ゲ ル O B	1	1	大 塚 敏 兼	茨城県龍ヶ崎市	クラブ同窓会監事			8	坂 口 雅	天理市	OB総会実行委員(司会)、新OB会長
		1	平 岩 智 志	大津市			30	8	大 島 弘 基	石川県白山市	
		1	小 林 邦 夫	栗東市				8	田 中 輝 男	明石市	
		1	高 松 正 機	藤井寺市				8	藤 元 道 正	岡山県高梁市	
	5	1	中 野 和 則	神戸市				8	仲 川 昌 則	三木市	
		1	堀 中 英 昭	大阪市				8	中 口 健 二	草津市	
		1	藁 科 哲 男	泉佐野市			35	8	山 本 哲	姫路市	
		2	猿 渡 洋	埼玉県鶴ヶ島市	友電会会長			8	原 田 信 雄	高松市	
		2	福 田 義 久	川西市	OB総会実行委員			8	富 木 隆 博	加古川市	
	10	2	吉 田 栄 治	茨城県守谷市	友電会監事			10	中 西 章 浩	橿原市	
		2	荒 木 敏 豪	池田市				15	宮 條 研 次	愛知県豊田市	
		3	中 井 勝	池田市			40	15	石 田 又 久	京都市	山岳写真展開催(3/8~12)
		3	河 原 恒 治	阪南市				35	俣 木 敏 洋	大阪市	
		3	山 田 良 平	池田市				35	中 原 正 之	大阪市	
	15	3	福 井 光 継	豊岡市			35	朝 妻 通 康	長岡京市		
	16	3	宇 澤 史 浩	神奈川県茅ヶ崎市			37	上 辻 哲 也	岡山県備前市		
	17	4	藤 原 公 彦	京都府	ワングルOB会長、OB総会実行委員	45	37	木 和 田 宏	門真市		

大阪電気通信大学高等学校 新旧校長歓送迎会に100人集う

平成24年3月10日(土) 於 守口ロイヤルパインズホテル

「ご苦労さま」そして「よろしくお願いします」



花束を贈られ、笑顔の夢田校長(左)と後任の藤田新校長

大阪電気通信大学高等学校の新旧校長歓送迎会が3月10日(土)、守口市の守口ロイヤルパインズホテルで行われました。高校、大学の関係者のほか、かつての教え子など約100人が出席、今春で入れ替わる夢田保信校長には感謝と惜別、大学の法人事務局長から新しく就任する藤田智一氏には高校のさらなる発展を期待する声が寄せられていました。

会は森同窓会会長のあいさつで始まりました。出雲 肇後援会長は、送られる夢田校長に「何かにつけてお力添え頂きありがとうございました」と感謝の言葉を述べました。次いで、夢田校長と大阪電通大で同期生だったという大学OB組織・友電会の猿渡 洋会長が「新旧校長には大変お世話になりました。夢田校長とは共に勉強した仲、新しく校長に就任される藤田様には友電会の活動でアドバイスを頂きました」と退任、就任の校長に感謝の言葉を贈りました。

猿渡会長は、さらに6月に開催される高校・大学など4団体合同の総会に向け「是非、高校のみなさんと一緒にやりたいと思います」と、積極的な参加を呼びかけていました。

新旧校長のあいさつもありません。夢田校長は、大阪電通大の通信学科を卒業後、外国航路の通信士として世界の海で苦労した話や転職した教職での思い出などを話した後、藤田法人事務局長から校長就任を依頼されたときの心境を「人生のマサカでした」と人生の坂に例えてこう表現しました。在任中については「自分に(校長として)何ができたのか?」と自問するように話した後、45分だった授業時間を50分にしたことを明かしました。

4月就任の藤田新校長は「いつも送る側にいたので緊張している」と事務方から教育現場への転出に不安をのぞかせながらも「教育は先生方に任せ、自分は行政職で頑張りたい」と得意分野での貢献を誓っていました。

式には両氏を慕う関係者がたくさん顔を見せました。昭

和37年卒業の夢田校長と高校での同級生だという岡本多恵子さんは「無事に終わってくれたことがうれしい」と、夢田校長の退任を我がごとのように喜んでいました。かつての教え子で夢田校長に憧れ、教職の道に進んだという教え子は、校則を守らない生徒に対する夢田校長の熱血ぶりを紹介していました。最後の教え子からはサプライズの花束贈呈があり、夢田校長を感激させていました。

新旧の校長2人は、会場内のテーブルを回って出席者と酒を酌み交わしながら歓談、歓送迎会は涙と笑いの中で閉会しました。



テーブルを回って歓談する
夢田校長と藤田新校長も



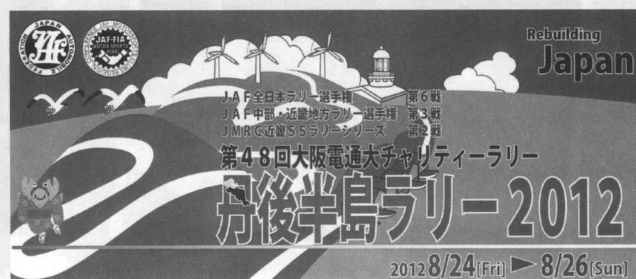
今夏、丹後半島舞台に チャリティーラリー

大阪電通大自動車部48回目の主催
平成24年8月24日(金)～26日(日) 於 京丹後市

大阪電気通信大学自動車部が主催する48回目のチャリティーラリー「丹後半島ラリー2012」が、8月24日(金)から26日(日)までの間、京丹後市で実施されます。

ラリーはドライバーとナビゲーターが2人1組で乗車、公道を走行してタイムなどを競うレースです。今回は、国内のB級以上のライセンス保持者120人(60台)が参加、京丹後市をスタートして丹後半島縦貫林道を周回する約180kmのコースで腕を競います。

友電会は、今開催のレースでこのラリーをバックアップします。メイン会場のスタートゲートに大阪電気通信大学友電会の名前が記される予定です。



海外研修結団式

2012年2月21日(火)

寝屋川キャンパスA-115大会議室

カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)で実施される大阪電通大の英語研修プログラム「平成23年度(第32回)海外教育研修制度」が今年も実施されました。参加する学生らによる結団式は2月21日、寝屋川キャンパスA-115大会議室で行われました。一行は同26日に伊丹空港から4週間の研修に出発、3月26日に帰国しました。

結団式には大学側から都倉信樹学長、岸岡 清学生部長、それに引率の坂本知宏団長(人間科学研修センター准教授)、「友電会」からは事業部の宮崎 孝部会長らが出席、学生は参加する男女24人(2、3年)中20人が出席しました。この制度を担当、推進する宮崎部会長は「自分の感性、五感を駆使して自分の人生に磨きをかけて下さい。研修期間中は目標を2つ3つ持って(期間中に)達成できるようがむしゃらに…」などと励ましました。

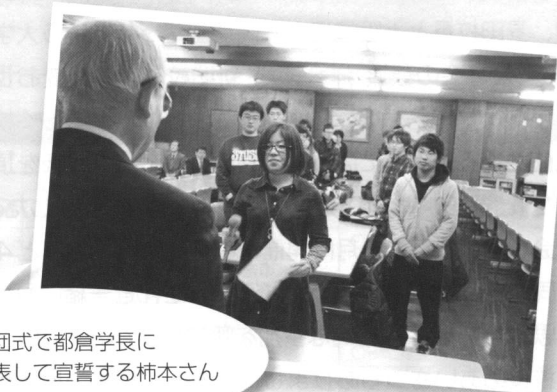
都倉学長も「自分の感性を生かして見聞を」とし、「向こうの新聞を毎日読んでみる、(当地の)10人としゃべるなど目標をたてて」と具体的な例を示して実りあ

る海外研修にするようアドバイス。また、カナダでの生活経験があるという岸岡学生部長は「カナダの人は日本人を尊敬してくれている国民です。とんでもないことはしないで下さい。カナダでは相手でなく(世界の中の)自分を見て下さい。1カ月の研修ですが、タネは心に芽生えると思います」と当地の事情を交えながら話しました。引率の坂本団長は「いろんな局面を自分で突破できるよう見守る。いい経験を積んで頂きたい」としながら「本当に困った仲間に気づいたら知らせて下さい」と研修生同士の絆の深まりに期待していました。

最後に研修参加学生を代表して応用化学科2年、柿本真季さん(21)が、「我々参加学生は大阪電気通信大学の学生を代表する自覚と国際人の自覚を持って礼節を守り、学生らしく明るく元気に、語学の研修と国際感覚の修得を目指すことを誓います」と宣誓しました。

柿本さんは「いろんな文化に触れながら英語の技術を磨きたい。現地ではたくさんの人と話したい」と抱負を語っていました。

海外研修の学生に自身のカナダ留学の経験を話す
岸岡学生部長と都倉学長(右から2人目)と
引率の坂本団長(右端)



結団式で都倉学長に
学生を代表して宣誓する柿本さん

海外研修の学生を前に
「感性を生かして見聞を広げて」と
激励する都倉学長



「いざ、出発」。少し不安な気持ちを隠し、
笑顔で記念撮影(伊丹空港)



第32回 海外教育研修報告

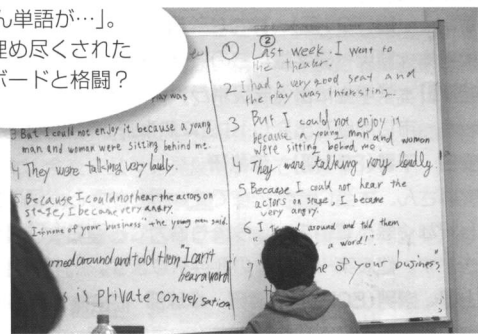
2012年2月26日(日)～3月26日(月)
カナダ・プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)



授業風景です。
「先生の発音は一言も聞き漏らしません」



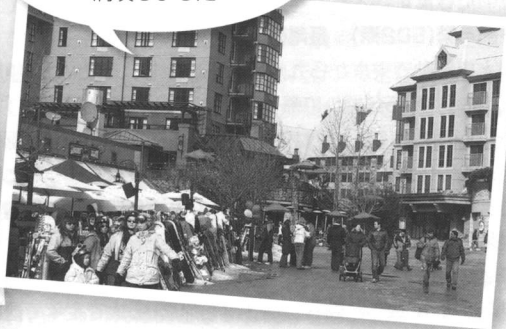
「わからん単語が…」。
英文字で埋め尽くされた
ホワイトボードと格闘？



「ハイ、チーズ」。
珍しい蒸気時計の前で
記念撮影です



語学以外の異文化体験を
満喫しました



人間科学研究センター 坂本知宏 准教授

2月26日(日)から3月26日(月)まで「第32回海外教育研修」に随任教員として参加してきました。研修先はカナダのバンクーバーにあるプリティッシュ・コロンビア大学(UBC)の English Language Institute (ELI)です。本学から参加した学生は24名(3年生が6名、2年生が18名)でした。

私たち一行は26日、伊丹空港から成田経由でバンクーバーへ向かいました。当地には現地時間の朝9時半に着きました。バンクーバーは快晴でした。

現地のことを知るには自分たちの目で確かめるのが一番。早速、バスに乗り込み、市内観光を行いました。学生たちには、見るもの全てが新鮮に映ったようです。その後、ホスト・ファミリーが学生たちを引き取っていったのは17時半頃。とても長い一日でした。

ELIのプログラムは、27日(月)から開始されました。午前中はプレイスメント・テスト、午後からはキャンパス・ツアーがありました。翌28日(火)学生たちは、配属されたクラスにそれぞれ出席しました。Welcome

Lunchも開催されました。

学生たちは、月曜から金曜までELIのクラスに午前9時～12時20分、午後1時～3時45分出席します(ただし金曜は午前中のみ)。厳しい授業の息抜きは週末。土曜日には、アメリカのシアトルや北米最大のスキー場であるウィスラー、プリティッシュ・コロンビア州の州都ビクトリアへのone day tripツアーを敢行、日本では味わえないダイナミックな大自然の息吹と魅力的な異文化を体感しました。

今回のプログラムは、3月23日(金)午前中で終わりました。帰国に際し、フェアウエル・パーティーが開催されました。研修期間中、大きく体調を崩す人はいませんでした。

研修に随任教員として参加し嬉しく思ったのは、学生同士が仲良くなったことと、どの学生も以前より英語力を付けたことです。

友電会、株式会社アイネッツ国際教育ならびに CONTACT CANADA の皆様に深く感謝いたします。



会員の情報交換コーナー「北から南から」は、会員の多くの声に応え事務局と広報部会が担当いたします。ご意見・質問等がありましたら、投稿下さい。

■神田 詔三(E01期) 神村(三)研

航空部大阪電通大及び友電会の発展を祈っております。先般、小沢、水本、河合各氏が定年退職されたとの会誌の記事を拝見し、小生が彼ら3氏と阪大基礎工学部の旧田中研で一緒に過ごした時代が懐かしく思い出されました。

■薄木 一起(F01期) 神村(三)研

東日本大震災への学生たちの貢献を期待しております。

【事務局】本学学生による震災ボランティア隊が8月5日に岩手県宮古市に向けて出発し11日に無事帰ってきました。

■安田 千尋(F01期) 赤松研

幹事さん、本当にご苦労様です。何もかもお世話になりっぱなしで申し訳なく思っています。今後も協力できることは精一杯させていただきます。健康第一に益々の発展祈ります。

■上野 崇男(E02期) 湊研 卓球部

毎年卓球部の同窓会を盛上栄治、表谷準三、中野正三、山口哲生ら各氏と渋谷で新年会を兼ね1月行っています。メンバーの表谷準三氏が1月に他界され、1月9日の告別式に参列いたしました。ご冥福をお祈りいたします。

■日下部 繁(E02期) 長尾研

今回人事異動で東京から九州に転任いたしました。13年間おりました九州に再び15年振りに帰ってきました。68歳ですが「ぜひ来てほしい」との要望に応えさせていただきました。今回が5回目の転任ですが、この年齢で重要なポジションが与えられていることは誠に感謝なことです。私は創立されたばかりの大学2期生ですが、母校の発展を覚え嬉しい限りです。福岡県在住。(教団牧師)

■藤野 雅也(E02期) 林研

大学卒業後40数年、勤務した3Mを無事65歳で定年で退職、3年6ヶ月経過、それまで町内のお世話もできなかったが、その付けが回ってきたのか、役職を4つ受け持っています。毎日が忙しく暮らしています。時間を見つけて大電通大にも協力したいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。末筆ですが、大電通大の益々の発展をお祈りいたします。

■宗谷 利夫(F04期) 松田研

6月18日友電会北関東支部に出席しました。皆様と楽しい1日を過ごし有意義でした。

■岡田 一彦(E04期) 日比研 電子技術研究部

・定年後は庭師として、農業揚水ポンプ技術者として年中忙しく動き回っています。

・近年は海外旅行も楽しんでいます。(6/11~19はスペインへ)

・美味しい米作りに取り組んでいます。減農薬と有機栽培のコシヒカリは関東方面へも出荷しています。

何よりも、元気で頑張っています。京丹後市在住。

■沢辺 伸夫(E05期) 松田研 電子技術研究部

昭和44年卒の電子技術研究部OB9名が何年ぶりかで大阪で食事し、お互いの近況を話し合いました。「でんでんむしの会」として今後1年に1回(次回は2012年4月22日)会うということで幹事を決め、お互いの健康を案じながら別れました。あと二人(三波さんと坂上さん)は欠席で、三波さんと連絡が取れません。

■大野 一廣(F05期) 松田研 空手道部

友電会行事が土曜日開催です。現役で働く多くのOB諸氏は休めず働いています。日曜開催なら容易に参加できるのではないのでしょうか。日曜開催のご検討をお願い致します。もちろん評議員会も同様に日曜

開催をお願いできれば幸いです。

【事務局】理事・評議員には遠方者が多く、日曜開催では翌日の勤務に差し支えが出るという理由で土曜日開催が原則でしたが、今後検討します。

■田代 晃一(F05期) 反田研 航空部

4月に生死の間を2日ほどさまよって来ました。何とか年初の体力に戻りつつありますが、まだ体がふらつき安定しません。薬の副作用です。薬が効くか効かないかは7月末には結論が出ます。それまではアルコールも禁止です。効果があればあと半年続けます。肝がんになっていないとの確認が取れましたので、あと5年は大丈夫と思われます。皆様も早い目の検査をして下さい。手遅れにならないように。

■井上 兼利(E06期) 松田研

4月末に父が95歳で天寿を全うして天国に旅立ちました。母は介護生活を送っているため、まだまだ自身の自由が利きませんが、いずれ近いうちに総会に出席できればと思っています。猿渡会長とは住居も近いことと、北関東地区の懇親会でもいろいろお世話を頂いております。今年は父の死去の後始末や手続きで北関東の総会も欠席させていただきます。皆様方のご健勝とご活躍を心より祈念しております。

■横林 克也(F06期) 湊研 通信研究会

京都にも支部があるそうですが、何か活動はしていますか?

【事務局】すでに11年前に京都支部が発足していますが、毎年11月頃に京都市内で支部総会を行っており、今年も開催する予定です。友電会のホームページ<http://www.yudenkai.org/>をご覧ください。

■大下 正二郎(G06期) 松田研

現在、私は母校の四條畷キャンパス(実験サポート課)で電気実験の技術指導をしています。今年で4年目になります。経験した技術を少しでもお役に立つように頑張っています。昨年からG学科(6期生)全体の同窓会をしています。連絡先がわからない同窓生がいます。協力していただければと思います。

【事務局】友電会事務局に一度ご相談ください。

■高橋 徹(G06期) 沢田研 少林寺拳法部

すっかりご無沙汰しております。総会に出席できずすみません。小生、現在インドネシアに駐在中でございます。今後どうぞよろしく。

■宮本 隆史(H06期) 徳田研 アマチュア無線部

アマチュア無線で頑張っています。JA3YBFの復帰を希望致しております。

【事務局】2009年にOBが「無線通信技術部OB会」を結成しJA3YBFを復帰させています。詳細は2011年3月発行の友電会誌111号に掲載済みです。連絡先は平林 隆さん(E11期 ja3olo@jarl.com)まで。

■下村 孝吉(E07期) 神村(三)研 陸上部

早いものです。総会の出席をいつかはと思いつつ早40年。お世話になります。

■秋岡 幸雄(F07期) 中村(亮)研 デザイン研究会

3月末に定年退職しました。趣味等にゆっくり過ごしています。

■細川 修二(F07期) 日比研

卒業して42年懐かしく「ゆうでんかいホームページ」を見させていただきました。

■田南 佐雅博(H07期) 守山研

昨年、25年間勤めたゲーム会社を退職し、今年4月から特許事務所を京都で開きました。最近は慣れない営業活動をしています。

【事務局】開所、おめでとうございます。ご盛況の程、祈念します。

■高畑 裕(F08期) 林・大野研 通信研究会

支部総会の案内がまったくありません。三重県伊賀地区は東海総支部からですか。それとも、奈良支部からのご案内でしょうか。以前連絡を支部から頂くとのことでしたが、全くありません。伊賀地区にも卒業生が在住していると思いますが、連絡をお待ちしております。

【事務局】両支部に再度確認の連絡をし、また組織部会で検討するように伝えます。

■濱本 猛 (G08期) 室谷研 化学同好会

私は平成17年3月役所を定年退職しましたが、この間某大学院理工学研究科で2年間放射線計測学を専攻し、放射線総合研究所で放射線防護の研修を受けました。この関連で、このたびの3月東日本大震災での未曾有の原子力発電所の災害における東電作業員・消防・自衛隊等の方々の活躍を見るにつけ身震いをしたものです。私が現職であれば、原発事故の放射線防護に関する何らかの任務に就いたものと思っております。そして、改めて原子力災害等の恐ろしさを再認識した次第であります。私は今共済年金を頂きながら、自宅の近隣の市役所で働かせてもらっていますが、日々感謝の気持ちを忘れずこれからも精進したいと思います。そして、一日も早い東北地方の復旧・復興を願っているこの頃であります。

■梶原 修三(H08期) 神村(三)研 卓球部

会員の数が4万3665名という多くの方々を輩出し社会で活躍しているのを誇りに思っています。益々大学が繁栄発展しますよう心から応援致します。三重県在住。

■西山 隆夫(H08期) 川口(正)研 ラジオクラブ

岡山在住です。地方の友電会総会の情報を入手したい。

【事務局】友電会誌またはホームページ“http://www.yudenkai.org/”をご覧ください。ただし、残念ながら岡山、広島地方には友電会支部はありません。支部設置にご協力頂ければ幸いです。

■岡井(広) 幸文(I08期) 石桁研 卓球部

元気で孫守りしています。三重県在住。

■矢野 定夫(F11) 奥野研

神戸で通信の世界にドップリつかって仕事をしています。“大阪電気通信大学”ありがとう！共に発展しましょう。

■鬼原 治紀(G11期) 内田研

ここ1、2年、我々の年代では定年を迎えたか、もしくは迎えるかの年齢である。しかし、この年齢になり気持ちは4、50代であり、年相応の知恵がついたとは言いがたい。未だに我が言動に反省する日多し。

■岡本 清孝(H11) 木村(義)研 柔道部

新入生を含む現役生達の部活参加状況が著しく低い現状を、何とかして大学と協力してやれないのでしょうか。現状の加入率は全学生の16%台です。

■伊藤 道幸(E12期)松田研

会誌112号ありがとう。今年は大学開学50周年記念の年、大学、友電会の一層の発展をお祈りします。6月に入りこちらは過ごしやすいい気候となりました。3月11日は札幌市でも横揺れがしばらく続きましたが、特に影響のある被害はありませんでした。観光客の予約キャンセルが相次ぎましたが、徐々に元の状態へ戻ってくるものと思います。北海道札幌市在住。

■吉永 英二(F12期) 管研 ESSクラブ

陸上無線技術士一級受験での講習会にOBも有料で参加可能ですか？福岡県在住。

【事務局】問い合わせたところ講習は無料です。また、OBでも受講が可ということでしたが、担当は通信工学科の何一偉先生と小南昌信先生で、講習は夕刻からだそうです。一度友電会事務局にお問い合わせ下さい。

■増田 宣規(E14期) 青柳研 電子技術研究部

2010年農業団体職員を退職、現在果樹(梨、柿など)を栽培中心の農業をやっています。鳥取県在住。

■沖 洋一(I15期) 小沢研 EDPSクラブ

会誌112号に記載の通り、4月9日に行われた小沢研OB会は会員数300人余のうち100名弱の出席があり、盛大に開催することができました。さらに言えば、小沢研OB会には友電会理事がいません。それに比べて関西地域の支部総会は会員数が数千人、多くの友電会理事をかかえていながら、役員以外の出席者は数人といったところです。この違いはいったいなんなのでしょう？。

■尾原 道隆(I15期) 水本研

小学校教諭として32年目を迎えました。昨年は初任者研修指導員教員を、今年は少人数指導加配教員として6年算数に教育に力を注いでいます。残り5年間となりましたが、精一杯子供たちに愛情と情熱をもって日々教育に邁進したいと思います。「駅前キャンパス」完成という情報を知り、さらに発展していく母校に、これまで以上に期待が膨らんできました。今後の益々の発展を祈っています。

■上野 英勝(E16期) 超音波研究室 EDPS部

駅前キャンパスの完成おめでとうございます。母校の発展を誇りに思います。大分県在住。

■氏家 真(J23期) 前川研

去年、ボランティアの仕事もなくなり、この機会にヨガと洋裁を習っています。ヨガはタオルだけで何とかかなりそうですが、洋裁の方は頼みの母のミシンが素人仕様のため故障が多く大変困っています。ミシンは歴史が長く、現在の電子ミシンの修理にはかなり高度な技術が必要なようです。しかし家電製品エンジニア資格所有者の私にとっては意地でも直して一着仕立てるつもりでしたが、今となっては基板の取得も難しく、代用の部品も試しましたが無駄でした。やっぱり、新たに製品を買ってやり直した方が良さそうです。父母の遺品が数多く残っている私にはまだ一仕事残っているようです。大阪府在住。

■田中 篤(E25期) 張研 山岳部

大阪府で工科高等学校の教員をやっています。電通大の進学者も毎年数名居り、大変嬉しく思います。魅力的な教育内容を磨き、これからも特色ある研究機関としての発展をお願いします。友電会の皆様には、いつもお世話になり、ありがとうございます。

【事務局】母校は高等学校との連携をより密接に保つために、特に本学OB高校教員との強い連携を図っています。また、現役教員志望学生と話し合える場を築くなど、今後ともご協力をお願いします。

■渡邊 修(K27) 井上研

友電会誌いつも楽しみに見えています。

■森 哲也(F28期) 宮崎研

母校の発展ぶりに、喜びつつ電車内の広告を拝見しています。東京から帰ってきた同期の友人と今度会う予定です。震災で被災された同窓の皆様には心より、お見舞い申し上げます。

■真鍋 顕宏(G30期) 中村(初)研 ギターマンドリンクラブ

現在はクリエイティブディレクターとして広告デザインや広告マンガゲームを専門とするグラフィックデザイン事務所を経営しております。大学を卒業してから、母校にデジタルアート・アニメーション学科が新設されたことと同じ分野であるだけに、今となっては非常にうらやましい限りです。

■吉井 永治(F31期) 奥野研 剣道部

奥野研究室(平成6年度卒業生)は1年に3回程度、同期会(飲み会)を実施しています。卒業して15年を過ぎましたが、続いています。

■小林圭一郎(E32期) 高木研

先日、同級生・同研究室の中部君の結婚式に出席しました。他にも同級生が数人集まり久しぶりに大学時代を思い出し、楽しい時間を過ごしました。

「息の長い復旧・復興への支援が必要だ」

～母校から岩手県宮古漁協への和船 命名・贈呈式に参加して！～

工学部 電子工学科4期卒
学校法人大阪電気通信大学 法人評議委員会常任議長
株式会社スリーシステム 代表取締役社長

観野 福太郎

春を待ちかねる被災地、岩手県宮古市へ2月19日(日)東京・赤坂の自宅を早朝に発った。13時ごろには大阪からの3人、藤田智一理事・法人事務局長、石井徳章教授(学生ボランティア隊隊長)、井野川 一さん(友電会広報担当)と宮古駅前で合流しました。

「昨年8月以来の現地の復旧・復興ぶりをこの目で確認したい」。浄土ヶ浜や田老のスーパー堤防、出崎埠頭…。この日夕刻から予定されていた地元・宮古漁協主催(大井誠治組合長兼県漁連会長)の懇談会前を利用して市内の被災地を車で順番に回りました。



田老のスーパー堤防などを見て回る観野法人評議員。昨年夏、ボランティアで訪れた時と比較するように復旧・復興を確認していた

家屋を津波にさらわれ、今なお土台部分だけが広がる空き地、激しい波の侵入を受け何もかも流されて空洞の倉庫、赤錆が目立つ港の丘のがれき崩落防止ネット。

街中を少し出ると、そこは以前訪れた時とあまり変わらない無残な姿が広がっていました。「被害の少なかった街中と比べると、こんなに復興のスピードが違うのか」。場所によっては、遅々として進んでいない現状を目の当たりにし、改めて息の長い支援の手を差し伸べる必要を痛感しました。

命名・贈呈式を兼ねた懇親会には、先発の早野秀樹(大

学事務局次長)さんを含め、列席させて頂きました。翌日は午前9時から漁港での贈呈・進水式。地元TV局や全国紙など新聞数社の記者が取材するなか、現地在住の菅野和夫さん(3期卒 母校プラスバンド委員会創設者 元宮古工業高校教員)ともども、式に参加させて頂きました。

今回の参加の機会は、昨年8月6日から4泊5日の日程でボランティアに自主参加させて頂いた事がきっかけです。団長の石井教授、友電会事務局から要請され、決断しました。昨年8月の母校主催の学生ボランティア隊への自主参加では、避難所の清掃や支援物資の仕分けと配布作業などを経験、ともに汗を流した我が母校の電通大生の取り組み姿勢の素晴らしさにも感動しました。さらに、院生と学部生との協調した組織的対応や教職員、特に中堅職員の体を張った取り組み、学内・学外の被災地である宮古市御出身OBの多大な現地差し入れ等を含めた物心両面のサポートなど、「これが同窓会活動の原点か!」と痛感いたしました。

2回目となった2月の訪問では「諸経済活動の復興の速さ、夜の飲食街の繁盛振り」や「宮古市含む東北の海岸沿いの主な市の水産業依存度の大きさ」とともに「水産業が基幹産業である東北地区の漁協の役職員の組織力と見識の高さ」「教育現場(小学校から高校までの)の品位並びに見識と現場力の高さ」も知ることができました。

私事ですが、小生の実家は私が母校入学までは、大阪湾で零細漁業を何代も行っていました。今回の大津波同様に、大阪大空襲時で自宅も船も漁具も全てなくし、2年くらい魚の行商で得た金で家業を再開したと、亡き両親からも聞かされていました。幼い時は、その様子が本人にとっても良くわかりました。

小生は育った環境から、被災地の水産業再生への強い思いが自主参加に駆り立てたと思っております。

我々先人の方々が不幸にも、過去に遭遇した大災害の数々を乗り越えて、過去以上の成長をもたらしてきた歴史的事実も、実感できる貴重な機会ともなりました。

母校に主催して頂いた、今回の被災地への催事には深く敬意の念を抱いていると共に、OBが脇役で、側面・裏方で何らかの協力をさせて頂く事も同窓会活動の原点と、体験から学習できました。

小生は二度も貴重な体験をさせて頂いた母校の皆様方、関係諸団体には厚く御礼を申し上げます。



命名・贈呈式で宮古漁業の大井組合長(左から2人目)と記念撮影する観野法人評議員(左端)

豊穰の海へ船出 (宮古OECU丸の命名・贈呈式)

漁業の街・岩手県宮古市の東日本大震災からの復旧・復興を支援する大阪電気通信大学寄贈の和船3隻の命名・進水式が2月19、20日の両日、宮古市の出崎埠頭で行われました。大学側から石井徳章教授(機械工学科)、藤田智一・法人事務局長(現・大阪電気通信大学高校校長)、観野福太郎・法人評議員が宮古市入り。地元漁協からは、同組合長で岩手県漁業協同組合連合会の会長でもある大井誠治氏ら漁協関係者多数が出席、厳粛に行われました。地元でボランティア活動を続ける大阪電通大の学生数人も駆けつけ、式典を盛り上げました。

船は式典の直前、大阪から陸路宮古市まで運ばれました。真っ白な船体の船首に大学名を冠した第1～3「宮古OECU丸」、船尾に「大阪電気通信大学寄贈」と、それぞれ書かれた船には大漁旗が飾られました。



岩手県漁連会長で宮古漁協の大井組合長に和船の命名、贈呈状を贈る石井教授。藤田事務局長、観野福太郎評議員も出席した(岩手・宮古市)



大阪と岩手・宮古をつなぐ交際の握手を交わす石井教授、大井組合長、藤田事務局長



大漁旗をなびかせる大阪電気通信大学寄贈の3艘の和船。それぞれ「宮古OECU丸」と大学の名がつけられた(宮古市の出崎埠頭)

式典は海風が吹くものの青く晴れ渡った埠頭で行われました。式では、藤田局長が「和船3隻を贈ることができたことは大きな喜びです。寄贈への一番強い想いを抱いていたのは福田(國彌)理事長です。今日は欠席しましたが、一日も早い復帰を願っていた

ので寄贈が実現して喜んでいと思います」とあいさつ。これを受け、大井組合長は「想像もつかない大津波でたくさんの船を失いました。ウニやワカメ、コンブ、カキなど沿岸漁業の養殖には和船がなければ仕事になりません。生活が成り立ちません。支援の船は一番(の贈り物)でございます。組合員一同有効に活用させていただいて一日も早い復旧・復興を果たしたいと思います」と感謝の言葉を述べました。この後、藤田、石井、大井の3氏が3隻の船首に張られた紅白のテープをカット、次いでくす玉割りが行われました。現地でボランティア活動が続けていた大阪電通大学生グループ「PiKA PiKAワークショップ」のメンバー5人もクラッカーを持って加わり、ともに祝福しました。5色のテープが舞う船には、3氏らによって航海の無事を祈願する清めの酒が船首



くす玉を割って進水式を祝う石井教授、大井組合長、藤田・法人事務局長(右から)

と船尾に振り掛けられ、残りの酒で参加者全員が乾杯、新しい船出を祝いました。

進水式では3隻のうちの1隻が、クレーン車で引き揚げられ、出崎埠頭の海に降ろされました。大津波などなかったように穏やかな宮古の海に降ろされた船はしばらくの間、打ち寄せる静かな波にゆらゆら揺れていました。見守っていた参加者からは期せずして拍手が起きました。

「小さな大学でもやれることがある」。こうした福田理事長の熱い思いを乗せた船の寄贈が昨年夏に決まってから数カ月。被災地から遠く離れた大阪からの熱い支援の実現に地元マスコミも注目。全国紙や地元紙、地元テレビ局から命名・贈呈式を取材に駆けつけました。

飛行機とバスを乗り継ぎ、雪の岩手入りした藤田、石井、観野3氏は20日の進水式に先立つ19日、宮古市内で贈呈和船の命名と贈呈状を大井組合長に贈りました。大井組合長からは、沿岸漁業をはじめとする地場産業の復旧・復興への思いと、現状が説明されました。この席で石井教授は「この日を一番待ち望んでいたのは92歳の福田理事長。もっと早く寄贈したいと思っていましたがようやく願いがかないました。さらに、式典を前に親しく意見交換できたことは大変うれしい」とあいさつしました。



昨年夏、ボランティア訪問した宮古市立鉾ヶ崎小学校を再訪した石井教授、藤田 法人事務局長(右手前から)と同小卒業生の大阪電気通信大学事務局・早野秀樹次長

藤田氏ら大阪電通大からの使者一行は、宮古市に入った19日午後、被害の大きかった浄土ヶ浜や粉々になった田老のスーパー堤防跡などを見て回りました。昨年夏、ボランティア活動で現地入り

している観野氏は当時と比較して「市街地は復旧が進んでいるのだが、少し離れた地域はまだまだ進んでいない。これからも支援が必要ではないか」と、感想を述べていました。

帰阪前、3氏は石井教授らが昨年夏、ボランティア活動で訪れた宮古市立鉾ヶ崎小学校と大阪電通大卒業生が教鞭をとっていた県立宮古工業高校(浸水被害にあった)を訪問、校長らと交歓しました。地元では昨夏以降、大阪電通大生がボランティア活動が続けており、鉾ヶ崎小訪問の際には、極寒の校庭で実施された「PiKAPiKAアートワークショップ」メンバーによるパフォーマンスに感激しきりでした。

宮古工業高校では、同校で教鞭をとっていた地元出身で大阪電通大OB、菅野和夫・豊かな三陸の海を守る貝事務局長も出席しました。藤田氏が法人事務局長から電通高校長に就任することから工業高校系の高校同士の交流に話が及びました。さらに、宮古工業高から大阪電通大への積極的な進学への誘い話もでるなど、今後に期待できる有意義な訪問となりました。



大電通大卒業生で、県立宮古工業高校の菅野和夫・元教諭(手前左から2人目)を伴い、同校を訪問、藤原 育校長(同4人目)と歓談する石井教授ら

東日本大震災支援の歩み

母校は東日本大震災の支援活動の一環として、岩手県宮古出身の早野秀樹事務次長ら卒業生の住む宮古市へ昨年8月5日から7日間、学生ボランティア隊26名と教職員8名を派遣しました。10日には、「復興は地場産業から」と漁船3隻を地元漁協に贈呈しました。26名は8月11日午前7時、支援先の岩手・宮古市からゴリラバスで寝屋川市の母校へ帰ってきました。法人本部、藤田智一法人事務局長(当時)や学園関係者らが出迎えました。引率した機械工学科教授、石井徳章隊長は「災天下の中、全員よく頑張ってくれました。宮古市の方々に皆さんの心が通じたことでしょう。皆さんは、私たちの誇りです」と隊員をねぎらいました。

母校は被災のため入学後わずか1カ月で退学を余儀なくされた学生に入学金・授業料全額返還、3年生で全壊の被害を受けた学生には授業料免除措置、2年生で半壊の被害を受けた学生には見舞金を、それぞれ支援しました。友電会は、被災学生に対し見舞金を送ったほか、パソコンとプリンター各4台を贈呈。

今年2月6日には、福田國彌理事長も出席してマリン大阪で宮古漁協に寄贈する和船の命名式が行われました。同月15日から26日には、宮古市の災害復興支援活動チームから本学の学生ボランティアチーム「PiKAPiKA」に支援要請のあったワークショップを現地の鯉ヶ崎小学校などで開催。光で描くアートは、子供たちを夢中にさせました。

和船の命名・贈呈式は同月20日、宮古市の出崎埠頭で行われました。藤田事務局長や石井教授、観野福太郎・法人評議員も駆けつけました。学生ボランティアチーム「PiKAPiKA」は、3月にも陸中海岸国立公園浄土ヶ浜ビジターセンターで「PiKAPiKA」作品を上映するなど、息の長い支援を続けています。



♥ 母校の支援活動

月日	支援活動内容		備 考
3月12日	東北・太平洋沿岸地震災害対策本部の設置 第1回対策本部会議の開催 第2回対策本部会議の開催 第3回対策本部会議の開催	都倉学長(本部長)	経過報告と今後の対応について協議 経過報告と今後の対応について協議 罹災者に対し、学費減免措置の実施を決定
3月14日	岩手県立大学宮古短期大学部を訪問(被害状況の確認と支援要請の有無)	早野次長	
3月21日	宮古市立鯉ヶ崎小学校を訪問(被害状況の確認と支援要請の有無)	早野次長	
3月22日	被災地(岩手県宮古市)被害状況確認	早野次長	
3月22日～23日	寝屋川キャンパス中庭付近で、大気中の放射線量を測定開始(平日毎日)		
3月25日	東北・関東大震災救援隊派遣対策本部の設置	福田理事長(本部長)	
4月5日	義援金【第一陣】を寝屋川市を通して日本赤十字社へ寄付		義援金金額 242,959円
4月14日	放射線スクリーニング活動(福島県)	溝井先生	
4月14日～15日	放射線スクリーニング活動(福島県)	溝井先生	
5月14日	義援金【第二陣】を寝屋川市を通して日本赤十字社へ寄付		義援金金額 362,313円
5月18日	FD・SD講演会「原発事故と放射線」の開催	福田工學部長、元場先生	
5月19日	FD・SD講演会「原発事故と放射線」の開催	福田工學部長、元場先生	
6月5日	本学文化会 五月祭において集まった義援金を寝屋川市を通して日本赤十字社へ寄付		義援金金額 2,386円
6月17日～19日	放射線スクリーニング活動(福島県)	溝井先生	
6月29日	義援金【第三陣】を寝屋川市を通して日本赤十字社へ寄付		義援金金額 44,339円
7月18日	市民公開講座「原発事故と放射線」の開催	福田工學部長、元場先生	
7月22日	本学体育会自動車部より大阪電通大チャリティーラリー in丹後において集まった義援金を寝屋川市を通して日本赤十字社へ寄付		義援金金額 40,000円
8月5日～11日	東日本大震災被災地支援ボランティア 出発	石井先生(隊長)	学生:25名、教職員:8名
8月8日	鯉ヶ崎学童の家を訪問	石井先生、早野次長	
8月9日	宮古市立鯉ヶ崎小学校、岩手県立宮古工業高校(岩手県立宮古商業高校内)訪問	石井先生、早野次長	
8月10日	宮古市漁業協同組合を訪問 目録贈呈	石井先生、早野次長	和船3艇の寄贈
8月11日	東日本大震災被災地支援ボランティア 帰着		
8月24日	復興支援ポロシャツの配付開始	渡部先生(デザイン)	
10月6日	東日本大震災被災地ボランティア活動報告会の開催		
10月19日	復興支援ポロシャツで集まった義援金を寝屋川市の東北地方太平洋沖地震復興支援基金へ寄付		義援金金額 220,599円
10月22日	宮古市立鯉ヶ崎小学校学習発表会へ出席 目録贈呈	石井先生、早野次長	グランドピアノ運搬車1台、ブライトヒーター3台の寄贈
11月19日	市民公開講座「放射線と原子力の今後」の開催	福田工學部長、元場先生	
11月30日	岩手県立宮古工業高校へ目録贈呈(郵送)		ベダル昇降移動式作業台3台、加湿器3台、渡り廊下用スノコ板
1月21日～22日	岩手県宮古市におけるPiKAPiKAプロジェクト事前打ち合わせ	ナガタ先生、早野次長、池田、学生3名	・11月16日にM.A.D(宮古災害復興支援活動チーム)からPiKAPiKAの要請 →ナガタ先生に相談→快諾 ・現地視察ならびに実施に向けての打ち合わせ
2月6日	和船3隻の命名式	福田理事長、藤田法人事務局長、池宮財務部長、石井先生、早野次長	マリン大阪にて進水式は2/20(月) 宮古漁港にて
2月15日～26日	岩手県宮古市におけるPiKAPiKAプロジェクト現地ワークショップの開催	ナガタ先生、早野次長、学生6名	
2月16日	金浜地区 仮設住宅地にプチワークショップの開催	ナガタ先生、早野次長、学生6名	
2月17日	鯉ヶ崎地区 仮設住宅地にてプチワークショップの開催	ナガタ先生、早野次長、学生6名	
2月18日	鯉ヶ崎小学校にてワークショップの開催	ナガタ先生、早野次長、学生6名	
2月19日	浄土ヶ浜ビジターセンターの視察 宮古魚市場にてプチワークショップの開催	ナガタ先生、早野次長、学生6名	
2月20日	宮古漁業協同組合にて進水式	藤田法人事務局長、石井先生、早野次長、学生5名	和船3艇の寄贈
2月21日	浄土ヶ浜にてPiKAPiKA 実施	学生5名	早野次長帰阪
2月22日	鯉ヶ崎小学校ならびにラサ煙突(工場跡地)にてプチワークショップの開催	学生5名	磯鶏幼稚園の下見&挨拶
2月23日	金浜地区にて夜間のプチワークショップの開催	学生5名	
2月24日	磯鶏幼稚園にてワークショップの開催	学生5名	
2月25日	金浜地区、鯉ヶ崎地区にてプチワークショップの開催	学生5名	
3月3日～5日	岩手県宮古市におけるPiKAPiKAプロジェクトM.A.D 事務局長金野氏 本学にて打ち合わせ	ナガタ先生、早野次長、学生6名	音入れ、上映会&展示会の打ち合わせ
3月9日	鯉ヶ崎小学校にてPiKAPiKA上映会を開催 PiKAPiKAフレームの寄贈(学生の手作り)	ナガタ先生、早野次長、学生2名	鯉ヶ崎小学校の生涯学習3.11集会～乗り越えて未来～の中で上映を実施
3月11日	陸中海岸国立公園浄土ヶ浜ビジターセンターでPiKAPiKA作品上映会の開催	ナガタ先生、早野次長、学生2名	
3月12日～31日	陸中海岸国立公園浄土ヶ浜ビジターセンターにて、作品上映と写真展を開催		

「宮古OECU丸」3隻が 岩手・宮古漁協へ

豊穰の海へ船出 宮古OECU丸の命名・贈呈式



宮古市でボランティア活動する電通大生もクラッカーを持って、進水式を祝った。

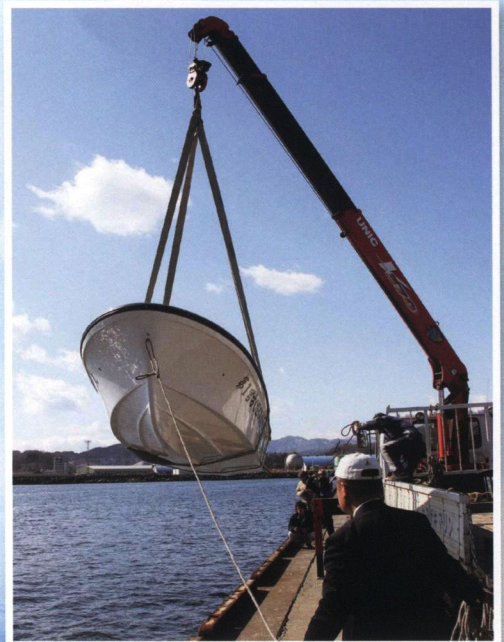


寄贈した和船に清めの酒をかける
石井教授



清めの酒をかける
藤田 法人事務局長

漁業の街・岩手県宮古市の東日本大震災からの復旧・復興を支援する大阪電気通信大学寄贈の和船3隻の命名・贈呈式が2月19、20日の両日、地元・出崎埠頭で行われました。式には、大学側から石井徳章教授(メカトロニクス基礎研究所所長)、藤田智一・法人事務局長、観野福太郎・法人評議員が出席、地元漁協組合長で岩手県漁業協同組合連合会の会長でもある大井誠治氏ら漁協関係者が出席しました。真っ白な船体船首に大学名を冠した和船は、くす玉割りやテープカットなどの式典の後、宮古の海に静かに船体を降ろしました。



クレーン車でつり上げ、陸から海に移される
第1宮古OECU丸



取材に訪れたマスコミの前で清めの酒をかける大井組合長



宮古市の海に着水した第1宮古OECU丸。
復旧・復興への「第一歩。だ

平成24年度 友電会 総会

緑樹会・高校同窓会・クラブ同窓会・友電会 合同懇親会開催

平成24年6月23日(土)

於 ホテルグランヴィア大阪

友電会では、「平成24年度通常総会・合同懇親会」を平成24年6月23日(土)に開催します。
会場は、「ホテルグランヴィア大阪」です。記念講演会などを予定しています。

合同懇親会は、母校・教職員OB会「緑樹会」、「高校同窓会」、「クラブ同窓会」、「友電会」
の4同窓会共催でホテルグランヴィア大阪20階の大宴会場で開催いたします。

平成24年度 友電会通常総会

【開催概要】

- ▶ 日 時：平成24年6月23日(土) 11:40~12:20
受付 11:00~
- ▶ 会 場：ホテルグランヴィア大阪(JR大阪駅前)
- ▶ 講演会：テーマ「学園の将来を語る〜心はひとつ〜」

《講演者》



大阪電気通信大学

橘 邦英 学長



大阪電気通信大学高等学校

藤田智一 校長

- ▶ 懇親会：ホテルグランヴィア大阪20階の大宴会場
- ▶ 会 費：6,000円(同伴者、学生、緑樹会員は無料)

津波の語り部

岩手県立宮古工業高校の生徒招待
大阪電通高校生と交流

出欠連絡と委任状送付のお願い

総会の出欠の有無をお知らせください。欠席される場合は同封の委任状に必要事項を記入して返信をお願いします。
FAXかEメールでもかまいません。締め切りは6月19日(火)
とさせていただきます。(FAX、メールは総会前日の22日(金))

※「委任状」は友電会ホームページからの返信のみ有効です。

友 電 会 <http://www.yudenkai.org/>



商都・大阪の表玄関 JR大阪駅直結

